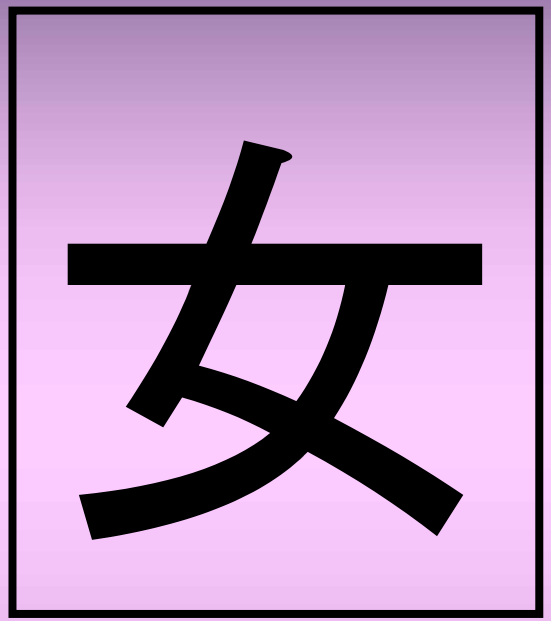
07年度　コラムプラネット　第2セッション



エントリー作品数　41

上位　17作品　をお届けします。

■そして船はしずかに地上に降りる。名残のセッション「想」を奏でながら。
■ご投票は3月2日の30時までにどうぞ。

テーマ：女

投票総数：210件

順位	ポイント	投票数	作品タイトル	作成者	作者コメント	コメント数	最新投稿時間
1位	37	15	靴	kunipi	有	32	12/15 22:51
2位	33	13	アルカイック・スマイル	シマエナガ	有	24	12/13 0:56
3位	28	13	雨ニモマケズ	輝	有	43	12/17 21:59
	24	10	AVを借りに行ったときのことである	めふめと2世	有	46	12/12 13:11
	23	12	ベストフレンドの「パートナー」	ken	有	25	12/13 1:15
	21	11	ー内なるあなたとー	ノエ	有	24	12/15 0:49
	20	12	サドルになりたい	けっちゃん	有	30	12/13 20:10
	15	8	妹よ	かぴばら	有	26	12/12 7:51
	14	8	Yの悲劇	kirie	有	25	12/10 3:55
	14	8	メビウスの輪	King　Power	有	19	12/10 5:45
	13	6	ないしょね　マミイ	インギリー	有	18	12/11 18:7
	12	6	恋愛トラブルシューティング#153：彼女の機嫌の直し方	わがし	有	41	12/11 12:17
	11	6	Women Only	ピチョット	有	27	12/11 17:2
	11	5	漢字から読み解く「女」	るらら	有	26	12/10 3:50
	10	5	まだ見ぬ娘	go19	有	18	12/9 21:24
	10	5	男のプライド	コーサク	無	29	12/15 17:16

	10	6	私は爆弾？	活	有	17	12/12 8:0
	9	6	努力に果てに	シュトルムティガー	有	30	12/10 0:9
	9	4	かしましツアー	けろた	有	22	12/18 1:17
	9	7	我が家の天使	contax139	有	19	12/16 19:46
	8	4	現代「魔女」物語	スマイリー	有	18	12/10 21:28
	8	4	パートくのいち・静香奮闘記！！	Bloomoon	有	19	12/16 23:41
	7	3	女のチカラ	ロココ	有	17	12/10 0:9
	7	4	息子へ	てん	有	16	12/12 23:32
	6	3	あのね崩壊序曲	琥珀	有	18	12/14 23:51
	6	3	Lessons Learned	かちかち	有	21	12/10 4:51
	5	3	異国の母たちへ	がらがらどん	有	22	12/20 8:30
	4	2	素敵な人	きゅうぴー	有	32	12/12 12:23
	4	2	告白	バートルビー	有	27	12/16 10:42
	4	2	ブルーな空	bagi	有	20	12/10 3:46
	4	2	女のカンと男のサガ	ゼットン	有	21	12/10 1:24
	4	2	女の子ってムズカシイ	鳥	有	35	12/12 2:12
	3	1	いい女って？？	Yuu	無	20	12/10 0:12
	3	1	空白の女	プーギン	有	16	12/10 14:13
	3	2	裏切りの果てに	parakeet	有	24	12/10 0:1
	3	1	引力	みつきんぐ	有	21	12/15 17:3
	3	2	田舎のバス待ちの女達	ながちゃん	有	22	12/11 23:49
	3	1	差出人は言えない。かもしれない。	suburbanian	無	27	12/10 14:27
	1	1	サザエさん	貧保 耐三	有	22	12/10 14:0
	1	1	筆者は病んでいない	RIRI	有	17	12/10 20:39
	0	0	女をえらぶ基準	354e14thave	有	21	12/10 14:21

靴

総合順位：1位
合計ポイント：37 Point
作者：kunipi
作者コメントを読む

僕の名前は、加藤りく。明野小学校の２年生。
僕は明野第二団地の４０１号室で、
お母さんと二人で暮らしている。
僕にはお父さんがいないけど、
僕のうちではそれがずっと当りまえのこと。
だから別に気にしていない。

夏休みの真ん中ごろ、お母さんが突然僕にこう言った。
「りく、お母さんね、結婚することにしたの。」
「けっこん？」
「そう。りくにお父さんができるのよ。」
「お父さん？」
「それでね、りく。結婚したら栗田っていう名字になるから。りくも一緒にね。」

２学期に入ると、すぐに運動会の練習が始まった。
僕のゼッケンの【２年３組　くりたりく】を見て、
クラスのみんなが気づいたんだ。
僕が一番恐れていたことを。
「くりたりくって、どっちから読んでもくりたりく。」
「ほんとだ、ほんとだ。面白い。」
「変な名前。くりたりく、くりたりく。」

僕は、何も言い返せなくてその場で固まった。
下をうつむいたら運動靴にも【２－３　くりたりく】。
なまえペンで【かとうりく】を塗りつぶして、
その上に書いた【くりたりく】。
それを見たとたん、大粒の涙があふれ出した。

２年生になってからは学校で泣かない記録更新中だったのに。
校庭のジャングルジムから落ちたときも、
サッカーボールがおなかを直撃した時も。
何度も練習してから書いた
【くりたりく】の上に涙がぽとぽと落ちた。
なんだか名前も一緒に泣いているみたいだった。

遠くのほうから担任の柿沼先生の声がぼわーんと聞こえてくる。
「せんせぇ、えいいち君たちがりく君にへんな名前って言ったの。
そしたら、りく君泣いちゃった。」
先生への言いつけ係は、いつもミホちゃんの役目だ。

柿沼先生は、僕の所にきてポケットテイッシュを
ジャージのポケットから出すと、
「ほいっ」て渡してくれた。
先生は、僕の坊主頭をいつものようにぐりぐりとなででくれた。

おっきい手。あったかい手。
僕はもっとそうしてもらいたかった。
ほんとはずっとずっと前から、
誰かにそうしてもらいたかった。

あれから２０年が経ち、僕は２８歳になった。
あの頃、母さんはいろんな意味で限界だったんだな、と思う。
祖父母の反対を押し切って、２０歳で僕を産んで一人で育ててきたけれど、
僕の養育費と比例して、将来の漠然とした不安も増えていたのだろう。
残業が多くなり、学童へ迎えにくる時間もだんだん遅くなってきたことを、
算数で時計の勉強を始めたばかりの僕は気づいていた。
そんなとき、父さんと出会って。そして結婚しよう、って。
栗田になってから気づいたのだが、母さんは、驚くほどよく笑う女性だった。

ついこの間、年末は彼女を連れて帰るから、と電話をしたら
電話の向こうの母さんは、なんだかとてもうれしそうだった。
きっと、得意のちらし寿司をたくさん作って
父さんと妹の加奈子と一緒に、僕たちを温かく迎えてくれるだろう。

やがて僕たち二人の靴の隣に、
小さなかわいい靴が玄関に並ぶ日もそう遠くはないだろう。

作品印刷　　コメント印刷
作品に対するコメントを下さい。
コメント登録

投稿者	コメント
ken 11/26 14:20	おもしろいです。でも、後半はいらないかも。
Bloomoon 11/26 16:2	＞kenさん 後半がないと、「女」のテーマじゃなくなっちゃうかも
インギリー 11/26 17:42	テーマとされた「女」が見えてこない。 りく君の心境の変化は、良く描けていると思います。 それが強調されてしまって、「女」が霞んでいるように感じます。
鳥 11/26 20:5	「靴」ってタイトルはどうなんでしょう。 靴が登場するのは最後の2行だけで、しかも話の軸に関わるわけではない。 むしろ先生の手の方が印象的でした。

けっちゃん 11/26 20:27	たぶん作者さんは「女」から「お母さん」をイメージしたんですね。私もいろいろ考えましたが、その選択肢は全く出てきませんでした。 最後にいきなり妹が出てくるあたり憎いですね。もしかしたら、そっちがテーマだったのかもしれませんね。
茜 11/26 21:13	けっちゃんさんのコメントのおかげで、うっかり「妹」を見落としてた事に気づきました。危ない危ない。 確かに、憎いですね。この家族にも２０年間いろいろなことがあったんだろうなあ、って、思わず考えちゃいましたから。 インギリーさんのおっしゃった「りく君の心境の変化」は、あたしにはちょっと唐突に思えました。 前半が「りく君」で、後半は「お母さん」という「女」の話で、ちぐはぐになっているように感じます。 前半の部分で、子供のりく君から見たお母さんというものを描写しておいて、それについて２０年経って思い返してみれば・・・・・とすると、心境の変化も描けて、「息子から見た母」という形で、「女」というものも描けたのではないでしょうか？ 作者さん、いいテーマを選んだなあ、と思います。家族からちゃんと「女」として見てもらえるお母さんは、幸せなんじゃないかしら。
ノエ 11/26 22:48	すごい面白い！！！！！！ 擬態語、擬声語の使い方も思いもよらない使い方。。 あえて難癖（？）つけるなら・・・・。 題は別のがいいかなぁ？と「誰かにそうしてもらいたかった。」のあとの空白が大きすぎると思ったくらいです。。
大黒様 11/27 1:27	人間が最初に接する女は紛れも無くお母さんだなぁと思わされました。 いろいろ細かいところは突っ込みたくなりますが、全体的には面白かったです。
kirie 11/27 21:52	テーマについては茜さんの仰るとおり、子供のりく君から見たお母さんを描写すると「女」が際立った気がします。 苗字が変わったことによるイジメのくだりは、子供の視点を捉えて上手く描かれていると思いました。子供って、その純粋さが故に相手を傷つけることを平気で言ったりしてしまうんですよね。大人になったら何て馬鹿げてたんだろうと思うんですけど。自分も小学校の時、友達同士でひどく傷つけあったことがあったので、なんだか切なくなりました。
contax139 11/28 11:58	「靴」？というタイトルに興味を持って読んでみました。 そこで、「くりたりく」という靴も泣いているという表現や、玄関に靴が並んだ姿についての描写がいいなと思いました。 きっと、子供の頃の主人公の玄関には母親の靴と自分の靴だけが並んでいて、やがてお父さんができて、３つになって、、、、という映像も読み終わって再び浮かんできました。お母さんの靴の描写もあって良かったかもしれない。
ピチョット 11/28 14:52	【くりたりく】の上に涙がぼとぼと落ちた。 なんだか名前も一緒に泣いているみたいだった。 というところが好きです。女としての母の選択を 大きくなって理解することができ、また時を経て 女を母に紹介する物語の流れがよいと思いました。
Begonian 11/28 17:47	まぁ、頭を過ぎったブラックな妄想達は全部気のせいだったってことにするとして。 全体としてはよくまとまっていると思うのですが、ガシッと心を掴まれるような、ここぞ！というところがありませんでした。 見せたいものが多すぎて、結局どれも見せきれなかったという感じでしょうか。 最も伝えたいもの、お母さんの件だと思うのですが、そこにピントを絞ってみたらもっと良くなったかと思います。
めふめと２世 11/28 17:56	靴という題名は、りく君の人生の歩みである本文の内容を意識してのことかな、と読みました。りくと言う名も、りく→陸で、靴との関係を意識したもの。ひらがなにしたのは、少し直接的すぎるのを避けたのでしょうか。そのような中で先生の手が対比的な存在として表現されていて、「誰かにそうしてもらいたかった。」という幼いりくのさびしさが、非常に印象に残るようになっている気がします。 茜さんもおっしゃっている唐突さは、このようにさびしさを表現しながらも、今のりくがお母さんを普通に受け入れているとこにあるように思います。りくの靴は健やかな歩みを辿ったということなのかな。。。

SAWAA 11/28 22:41	内容が良いとともに、「靴」に伏線が張られているのが面白かったです。 幼少の頃に「女」のせいで涙を落とした「靴」が、 20年後の今「女」とともに幸せを運ぶ「靴」となっている せっかくの伏線なので、最後まで読んだときにもっとはっと気づきやすい表現にできたらより良かったと思います。
鳥 11/29 0:17	何やってるんだろう。 涙を落とした運動靴をすっかりよ見落としていましたよ。ダメだなぁ。
ほろほろ 11/29 4:9	ええ話や～。 微細な描写が話の本流に結びついていて、 とっても繊細で骨太なお話をありがとうございました。 『２年生になってからは学校で泣かない記録更新中だったのに。』 は、イチオシフレーズに推薦させていただきます！
ながちゃん 11/29 21:35	小学生のりく君に自己投影しながら読みました。 〈先生への言いつけ係のミホちゃん〉と、りく君、その後の関係が気になります。
シマエナガ 11/30 14:3	「栗田になってから気づいたのだが、母さんは、驚くほどよく笑う女性だった」という一文に全てが集約されているように思いました。 　最初は「くりたりく」の話が長すぎるように感じたのですが、この一文のお陰でバランスが取れているのではないか、と思い直しました。
プーギン 12/2 17:45	いい文章だと思いました。まず、りく君の気持ちがよく描けている。とてもかわいい。なまえペンで書き直した名前を見るところ。 柿沼先生もいい先生。この先生は女の先生でしょうか。 大人になってから、お母さんの生き方を振り返るところ。ここでお母さんが一人の女性として浮上がってくる。リアリティがあると思います。
コーサク 12/3 22:57	描写がとてもうまいと感じました。 タイトルについては結局のところ真意はどうなのかわかりませんが、個人的にはシンプルでいいと思います。
でもどり 12/5 15:43	登場人物と小道具（名前、靴）が、上手く調和しているように感じました。何よりちゃんとそれを感じさせる表現力が、すごいです。 せつない気持ちからあたたかい気持ちへ。 １つの文章の中で、２つの感情を揺さぶられました。
スマイリー 12/6 13:54	今日では離婚が増えひとり親世帯も増えています。そして再婚も増え、子どものいる人同士の再婚によるステップファミリーも増えています。ステップファミリーは外見からわからないために、そのサポート体制は今後の大きな課題です。重松清さんの作品を呼んでいるようなほんのりした感じでした。
星イッテツ 12/9 22:36	おもしろかったです。 興味深く読めました。
あゆむ 12/10 0:8	泣くってなんだったか。あたしはすっかり忘れてしまった。 泣くことができるのは、涙を受け止めてくれる人がいるからなのかもしれない。
まち 12/10 2:36	「・・・声がぼわーんと聞こえてくる。」 ここの表現が好きです。 泣いている時に聞こえる人の声という体験が、新鮮なフレーズで、すごくよく表せていて、何よりかわいらしい。いいと思います。 あと、 女性の登場人物をそこ此処に配する書き方もあるのだなぁと感心しました。
daikonsalada 12/11 10:49	心がとけそうそうな作品です。やませていただいてありがとうございます。

作者 12/11 17:14	＞まちさん 「ぼわーん」、気づいてくれて ありがとうございます。 泣いた時って、人の声が いつもと違って聞こえますよね？！ それが「ぼわーん」。 来年の流行語大賞を狙っています（大嘘）
作者 12/11 17:17	＞スマイリーさん 深い考察、ありがとうございます。 この作品からそこまで考えていただき 感謝です。 重松清さん、読んだことないので 今度チャレンジしてみます。 Thank　you！
354e14thave 12/13 0:53	すごいよくできてる話だと思います。実話なんでしょうか。他の方もコメントされているように、後半はあんまりいらないかもしれません。（そうすると女でなくなるか・・・）一番おめでとうございます！
作者 12/14 7:38	＞あゆむさん とてもすてきなコメントを ありがとう。 他のコメントを見ていても 思ったのですが、とても 感性が豊かな方、と思いました。 大切にしてくださいね。 レスになってるかなあ。。 「涙は人間の作ることのできるいちばんちいさな海です」 寺山修司
あゆむ 12/14 20:58	褒められてしまった。いやぁまだまだ修行中の身ですよ。 時間がかかってもみんなに返事を書こうということなのでしょうか。コメントを大切にしようとする気持ち素敵ですねぇ。
kunipi 12/15 22:51	＞あゆむさん 読み手あっての書き手、だと 思っています。 コメントは宝物です。 ただ、コメントを 消化吸収するのに 時間がかかってしまい、 おたおたしております。。。

ＴＯＰへ

アルカイック・スマイル

総合順位：2位
合計ポイント：33 Point
作者：シマエナガ
作者コメントを読む

関西に住んでいた時、仏像にはまった。奈良や京都に毎週のように通い、さまざまな仏様を拝んだものだ。
お寺と言えば京都だろうが、優れた仏像は奈良の方がずっと多く、また大寺院だけでなく湖北の山里の小さな寺で見事な仏様に出会うこともあった。

仏には性がないという。男でも女でもないわけだが、仏像には明らかに男女の違いがある。堂々たる体躯を持ち、厳しい表情を湛えた像は男性だし、しなやかな体型にやさしい微笑みを浮かべた像は女性としか思えない。慈悲の仏である観音様に‘女性’が多いのも頷ける。
人気のある仏像はいろいろあるが、どうも‘女性’像に分があるような気がする。長い長い髪の毛とほのかに紅い唇を持つ法華寺の十一面観音、いかめしい如来様の両脇でなまめかしく腰をひねる薬師寺の日光・月光両菩薩、不思議な笑みを浮かべた秋篠寺の伎芸天、セクシーとしか形容詞の見つからない湖北・渡岸寺の十一面観音…　私が男であるせいもあるが、次々に思い浮かぶ。

仏像は仏を人間の姿を借りて表現したものだ。しかし、人間の姿をしている以上、作り出した仏師がイメージした、あるいはモデルにした、実在の人物がいた像は多いのではないだろうか。現に、法華寺の十一面観音には光明皇后を写したという伝説があるし、‘男性’像だが法隆寺夢殿の救世観音は聖徳太子の似姿とも言う。
特に‘女性’像は、その人が仏師にとってどんな女性だったのか、とても気になる。像を眺めていると、いろいろな物語が思い浮かんでくる。悲しい別れ、実らなかった恋、甘く幸福な新婚生活、にぎやかな子育て…
モデルになった女性と、像を彫り上げた仏師に会うことができたら、様々なドラマを聴くことができるに違いない。

私のいちばん好きな仏像は中宮寺の弥勒菩薩である。法隆寺東隣の小さな尼寺、池の中に浮かぶ本堂にいらっしゃる飛鳥仏だ。和辻哲郎に絶賛されているので、ご存じの方も多いだろう。
穏やかでやさしい仏様だ。右足を左足の上に乗せ－いわゆる半跏－、わずかに右手の指を頬に当てている。両眼を柔らかく閉じた顔には、かすかな微笑－本当にかすかだが笑っていることはわかる－を浮かべている。「アルカイック・スマイル」と呼ばれる、何とも形容のできない謎の、しかし暖かい微笑である。
この像を前にすると、自分でもよく分からないが気持ちが落ち着いてくる。自らの弱さや愚かさ、現実のつらさといったものが、弥勒の微笑によって許され、浄化されて、静かに心のあるべきところに納まっていくような気分になる。
嫌なことがあると、早起きして斑鳩を訪ね、参拝客のまだ少ないうちに拝んだものだ。１時間近く前に座っていたこともある。弥勒はもちろん何もおっしゃらないが、その静謐な姿を見ているうちに、心の波立ちがいつの間にか収まってしまうのだ。

私には、この弥勒菩薩が２０代後半から３０代前半の女性に見える。心は純粋なままだが、世の中のさまざ

まなこ－良いことも悪いことも、美しいことも醜いことも－を知った上で、それを静かに受け入れているように思われる。全てを受け入れ、許すには、少女ではいささか若すぎるのかも知れない。
　１４００年の昔、今は名前も分からない仏師は、だれに似せてこの像を彫ったのだろうか。母の面影か、かつての恋人か、それとも励ましてくれる妻か…
　もしかすると、現実の女性ではなく、求めても得ることのできない、実在しない女性の理想像を、仏の形で遺したのかも知れない。完璧な姿と、全てを包み込むようなアルカイック・スマイルに接していると、そんな気もしてくる。
　仏師に会って聴いてみたくてならない。「この人は誰ですか？　あなたにとってどんな人だったのですか？」

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
ピチョット 11/26 15:10	やさしい文体で作者の人柄が伝わる気がします。私も中宮寺の菩薩半跏像は好きです。思惟の右手のしなやかな指先はまさに女、それも母性を感じさせます。個人的には「２０代後半から３０代前半の女性」と年齢にこだわり、「全てを受け入れ、許すには、少女ではいささか若すぎるのかも知れない。」というところに無理にもっていった感がありました。最後のといかけ部分が素敵です。中国の仏師さんだったかもしれないという説もきき、作者さんと同じように私も仏師さんにあって聞いてみたいところです。
ノエ 11/26 23:5	あ～、観音菩薩様は本来男だそうですよ。。 ちょびひげあるし。。 ただ、変化で女性にもなるらしいです。。 まぁ、仏教というものが男尊女卑てきな思想をもっているらしいので仕方ないのでしょうが・・・・。
Bloomoon 11/26 23:36	キリスト教だったらマリア様となって、ほんとの「女性」になるんですが、仏様のように、性が曖昧だからこそ沸いてくる神秘性というのもあるのでしょうね。 少し専門的な内容を含む文章ですが、夢中になって読みました。
Begonian 11/28 18:5	この手の予備知識は皆無なもので、画像検索片手に読みました…。 なるほど、とても興味深い話です。いとも容易く引き込まれてしまいました。 啓蒙系の文章としても、見事なお手本だと思います。
Asagi 11/29 0:10	落ちついてながらも抑揚のきいた、とても心地よい作品でした。それぞれの話題への導入のしかたがとても素敵です。いいなあ。 　弥勒菩薩像の年齢については、この限られた行数で言い切るのは難しそうだとは思いました。ここに出てきていない理由はたくさんあると思いますし、きっと自分のほかには誰にもわからない、直感のようなものもあるでしょうから。 　わたしとしては、最後の最後で「実在しない女性の理想像を仏の形で遺したのかも知れない」としてしまったのは、すこし拍子抜けしてしまいました。仏像に秘められた家族や恋人の物語に思いを馳せながら進んでいたので、あれ？というかんじ。 　結びの書きかたとしては十分に綺麗なんですが、うーん、なんとなく、もったいないような。
ほろほろ 11/29 4:32	中宮寺の弥勒菩薩の描写、お見事でした。 文章で仏像を表現するのは難しかったでしょうが、 うまくいっていると思いますよ。
きゅうぴー 11/29 12:52	私も仏像が大好きなので、とても好感のもてる文章でした。 せわしない世の中で、せわしない奇をてらったような文章が多い中で、穏やかな気持ちで読むことができました。お寺めぐりをご一緒したい気分です。
きゅうぴー 11/29 12:53	私も仏像が大好きなので、とても好感のもてる文章でした。 せわしない世の中で、せわしない奇をてらったような文章が多い中で、穏やかな気持ちで読むことができました。お寺めぐりをご一緒したい気分です。

ながちゃん 12/1 0:3	修学旅行で京都、奈良で廻って以来、幾度と無く関西には行きましたが、仏像に何の感慨も抱きませんでした。 やっぱ花より団子です。 従って予備知識無し男の私ですが、この作品を持って弥勒菩薩に会いに行きたくなりました。 勿論、団子も忘れずに。 追伸　詠み人知らずの詩程、ミステリアスで引きつけられます。
イッパイアッテナ 12/1 15:29	ピチョットさんの言い方を借りたら、やさしい文章だと思いました。 やわらかく読者を包み込む感じ。読んでいてほっとできる感じ。 母性に近い安心感を読み手に与える感じ。 アルカイック・スマイルをまさに文章で表現したといっても過言ではないと思います。
sum1 12/1 20:10	文章全体に溢れる、やわらかく優しい印象こそまさしく、 著者が仏像を前にする際の感情なのかなと思いました。 とても読みやすく、文中に多数登場する仏像のそれぞれに欠かさず説明が添えられているおかげで、 仏像のことをよく知らない私でもイメージがつかめます。
kunipi 12/1 21:55	中宮寺の弥勒菩薩さま、私も好きです。 最近仕事で、身を削ることが多いので この文章を読んで、 会いに行きたくなりました。 比較対照される、京都・太秦の広隆寺の 弥勒菩薩さまもとても好きです。 中宮寺は、たしか記憶が正しければ 座って弥勒菩薩さまを 拝観できるんですよね。 大和しうるはし。
るらら 12/4 1:4	たしかに、仏師がなにを思って、あるいはどういった方々がモデルとなって、お仏像様たちが作られたか、気になりますね。考えたこともなかったです。 女性の仏様の微笑も、見る人を引き込む、といった点で、女性が学ぶべき対象だったのかと勉強になりました。
茜 12/4 16:5	そういえば、紅天女の主人公って仏師だったなあ。と、なぜかガラスの仮面を思い出しました。だって地元の図書館に全巻揃ってたんです。 仏像って言う、題材がいいですよね。お話聞いていると、とても穏やかになれます。本当の仏師さんに聞いたら、「心を無にして彫りました」とか言われそうだなあ、と思いつつ、でもホントは誰のこと考えてたの？なんてついつい聞きたくなってしまいますね。仏像の見方が、ちょっと変わりそうです。
スマイリー 12/6 14:19	私は初めて京都・広隆寺の弥勒菩薩を見たときに、その美しさに魅了されました。仏像は光の当たり方によってさまざまな表情を作り出します。３次元の立体が持つすばらしさですね。仏像を見て作者やモデルのことも気になりますが、私の場合はそこに投影される自分の姿が面白く感じられます。
けろた 12/7 16:31	流れるような文章ですね。とてもすんなりと読めて、とても美しいなと思いました。「アルカイック・スマイル」に最初抵抗がありましたが（意味を知らなかった・・）、ぴったりおさまっていますね。仏に性がないとは知りませんでした。
316L見習 12/7 22:1	心が穏やかになっていく文章でした。 言葉を強めることなく静かに、それでいてしっかりとした考えが表されていると思います。 私は小学校の時に京都、奈良に修学旅行に行きましたが、そのときは歴史的な知識が皆無だったので、正直仏像などの文化遺産については何の感慨も抱くことが出来ませんでした。 高校になって日本史を勉強した後ならもっと楽しめたのに…と、今では残念に思います。
tkm 12/9 14:12	非常におもしろく読ませていただきました。仏像というマニアックな題材に関して淡々としかし実感を込めて書かれている、作者さんの人間像が浮かんできそうな文章ですね。終わりの一文も良かったです。

あゆむ 12/10 0:10	仏師たちは現実の人物を表現したのか、それとも、実在しない人物を表現したのか。現実で理想の人に会うことができず、理想が強さを増していき、菩薩を彫るにいたったのか。ついに現実で理想に会い、それを残すために菩薩を彫ったのか。
す氏 12/10 5:10	作者さんの仏像に対する思い入れが伝わってくるよい文章だと感じました。 説明が丁寧だったので、アルカイック・スマイル＆仏像なら（広隆寺の）弥勒菩薩という位の知識しかない私でも面白く読むことができました。 ほんの少ししか触れていませんが、湖北の仏像が印象的だった様子がよく分かります。弥勒菩薩以外の仏像にも興味を引かせる書き方が印象的でした。
daikonsalada 12/11 10:59	「観音菩薩様は本来男だったけど、1000年前(中国歴史の宋の時期)、優しさをたとえるために民間で観音菩薩を女性化にしたらしい」という話を聞いたことがある。 疑問句を文章の終わりにするのはとても面白いと思います。
kunipi 12/11 17:5	シマエナガさん。 こういう文章って、書くの難しいですよね。 すごいと思います。 私は、地名と その場所の説明に疲れて 創作に逃げています。 作者コメントもみやびどす～ 縦書きにして読みたい、と 私も思いました。 次回作、期待しております。
イッパイアッテナ 12/12 7:23	あぁ、daikonsaladaさんのコメントで気づいてしまった。 最後の疑問文は、段落空けして一つだけ浮き上がらせたほうが、より鮮明になっていいんじゃないだろうか。 決め手になる文章が、埋もれているような気がして… (でも、一方で、その埋もれ具合がこの文章の、アルカイックスマイルさを演出しているような気がしてならないというのもあるんだけれど。)
354e14thave 12/13 0:56	東工大っぽくない内容で好きです。よっぽど仏像のことが好きなんですね！普段回りにいる人には、気付かない引き出しがある気がします。

ＴＯＰへ

雨ニモマケズ

総合順位：3位
合計ポイント：28 Point
作者：輝
作者コメントを読む

雨ニモマケズ
風ニモマケズ
雪ニモ夏ノ暑サニモマケナイ
厚化粧ノテクヲモチ
欲バリデ
決シテ満タサレズ
イツモナニカニイカッテイル
一日ニマルチビタミント
チョコレートト赤ワインヲトリ
アラユルコトヲ
ジブンチュウシンニカンガエ
キクミミヲモタズ
ソシテワスレル
都会ノ瀟洒ナマンションノ
ソウジフユキトドキノ部屋ニイテ
東ニ忠告シテクレル人アレバ
ギャクジョウシテワタシハワルクナイトイイ
西ニ電車ノ空席アレバ
ヒトメモハバカラズオシリ突撃シ
南ニ悩メル人アレバ
行ッテイワナクテモイイコトマデイイ
北ニケンカヤソショウガアレバ
行ッテハナシヲサラニフクザツニシテ
人ガシアワセノトキハクヤシガリ
不幸ノトキハコッソリワライ
ミンナニアノ人ハチョットトイワレ
ホメモセズ
カンシャモセズ

　　そういう女に　あたしはなるまい

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
Bloomoon 11/26 15:32	さすがにカタカナ多すぎてきつい。 でも、カタカナの嵐と最後の一行との対比が、このコラムの見せ方なんだろうな。
わがし 11/26 21:26	いやあ、読むのしんどくて思わずスクロールしたのですが、ああ、なるほどぅ、と思いました。うまいっ！　ただ、読むのには時間かかるなぁ。
ノエ 11/26 22:39	この文章は絶対縦書きですね。。
みつきんぐ 11/27 18:6	読むのは大変でしたが、最後の１行がすごく際だちますね。 たしかに、そういう女にはなりたくない・・・
contax139 11/28 12:18	反面教師。 女は案外男の目より、女の目を気にしているのだなと思いました。そして、女のほうが女をよく見ているとも思いました。一番たくさんの女が描かれているのがこの文章のおもしろい所だと思いました。
ピチョット 11/28 16:26	宮沢賢治の原文と対比してよみました。原文がカタカナだったからカタカナにされたと思います。この発想が面白いと思いました。現実このような人がいそうなのが怖い！！
RIRI 11/28 16:36	瀟洒（しょうしゃ）…『あかぬけている』の意 この漢字だけ読めなかったのでリズムがちょっと崩れました。明らかに他より難しい部類の単語で浮いているなあと思ってしまったのですが、ひょっとして私が知識不足なだけですか？ カタカナ主体なのはパロディの元ネタを考えれば仕方無いというかある意味当然だと思うのでむしろ好印象です。原文はラストまでカタカナ主体ですが、まあこの作品においてはラストだけひらがな主体にしたことで印象が強まっているなあと思いました。なので好きです、この文章。
きゅうぴー 11/28 17:19	カタカナは確かに読みにくいけれど、いやな女性をよく見ていると思います。私もこんな女には絶対なりたくないと、同感です。
琥珀 11/28 20:24	宮沢賢治を使うのはちょっとズルだなあ・・・でも、許すよって見せちゃうのが賢治なのかな・・・賢治やっぱりすごい！ 　それから、厚化粧で空席ぶんどる女になんてなりたくないよね。でも何でそんな女ができちゃうんだろ・・・ 　　などと・・・と感じてしまった今日この頃です。
SAWAA 11/28 23:0	最後の一言が最高です！ 確かに縦書きの方が良かったかもしれないけど、 この作品は紙面でよりも画面上で読んでよかったと思います。 紙面だったら最後のオチが最初に見えてしまいますから。
ほろほろ 11/29 3:7	僕は作中の女の人も人間らしくて好きだなあと思いつつ、 「そういう女に　あたしはなるまい」と思っている人に限って 意外とそういう所がありはしまいか、と思いつつ・・・・・・。 いやはや、良い眼をお持ちですね。
シマエナガ 11/30 14:9	賢治のこの詩が大好きなので、パロディは個人的には歓迎できませんが、大変面白い内容だと思います。と言うか、少し歳を取ると、こうした場面に死ぬほど遭遇することになりますから。 　私は間違いなく筆者は男性だと思っております。

橘 11/30 22:33	たしか宮沢賢治は亡くなる直前にこの詩を書いたんですよね(・・*) この「そういう女」は長生きしそうですが（笑） 大変楽しく読ませてもらいました(^ ^*) どれも「たしかに！」って思うんですけど、 これだけの「イヤな女」の特徴をどうやれば並べられるのか… それを考えるだけでもなかなか難しいと思いました。 細かいことを言わせてもらうと… 『一日ニマルチビタミント 　チョコレートト赤ワインヲトリ』 これはそんなに問題有なことではない気が… 原作にリズムが即さなくなってしまいますが、 『一日ニマルチビタミンヲトリツツモ 　毎日ノ酒トタバコハカカサズ』（あんまり上手い例ではないですが…） のように、健康と不健康を対比させるともっと良かったかもです。
琥珀 11/30 23:17	橘さん、流石です。 でも、賢治を使うには、 もっと覚悟が必要です。 東工大はきれいです。 ・・・等といってみる。
sum1 12/1 19:8	旧かな遣いでないカタカナ文は、慣れないせいか読みづらいです。 もっとも、RIRIさんが仰せの通り、ラストをひらがなにすることで効果にする為なのでしょうが。 よく読むと、厚化粧（サプリメントも？）を除けば、男女両方にあてはまる話ですね。
茜 12/2 0:33	オシリ突撃も女の人っぽいかな？と。 このことばで、「おばちゃん」を想像してしまったのですが、だとしたら、チョコレートと赤ワインよりは、お饅頭と煎餅の方が似合いそうです。 マルチビタミンより、金魚運動やってそう。 もうちょっと、「そういう女」のイメージをしっかり固めてから、当てはめていくと良かったのかもしれません。元の詩の逆を書くだけではなくて。 ・・・・・って、結構レベル高そうなんですが。
けっちゃん 12/2 13:14	誰でも知っている賢治の代表作をこのようにパロディにしてしまう大胆さ、いいと思います。 もしかして作者さんのお付き合いしている方は、「そういう女」なのかな・・・と思いました。作者を特定するような行為はご法度と知りつつも、私もこの作者さんは男性だと思います。
mu 12/2 13:51	粋ですね。 読みにくいけど読みました。 寿司屋の湯のみに書いてありそうなパロディですね。 現代女性の姿を描いています。 反省します。自分を振り返って。
イッパイアッテナ 12/2 16:20	作者は男なのでしょうか、女なのでしょうか。 この作品に出てくる女性は、嫌な女の象徴として書かれていますが、これは男から見て嫌なのか女から見て嫌なのか、どっちにあたるのでしょう。 (人間的に嫌な奴には違いないのですが。) 女性の嫌な側面をびしばしと追及しているものの、女性の内省なのか、男性の苦言なのか、どっちか方向性がわかりづらかったのが残念でした。 (ようは、男性が皮肉を言いたかったのか、女性が自虐したかったのか、いまひとつはっきりしないということです。) 宮沢賢治(一発変換されない!?)のパロディとしては、やや質が低いかなぁっと思います。(パロディを作りやすい文章ですから、総数の問題で難易度はあがりますよね。)

イシルドゥア 12/2 20:1	昔、小学校の時の卒業アルバムで、教頭先生が２１世紀版雨にも負けずなんて書いてたなぁとかしみじみ思い返しました（いや、それは別に普通に教訓的な文章でしたよ？） 　これを書いたのが男か女かって、あまり意識しちゃいけないんでしょうけど、印象的に大きな違いがありそうですよね。正直、ただこき下ろしてるような文章ってあまり好きじゃないんですが、なぜだか最後平仮名になっているところを読んで評価がひっくり返った自分がよく分からない。 　話題になっているマルチビタミンのくだり、チョコレートを見て違うこと考えてたりしました。この文章から想定される女性像とは違うんですけど、女子って、なんでダイエットダイエット言いつつ、大抵飴とかのお菓子を常備してるんだろうなぁ？とか。個人的に永遠の謎です。
vista 12/2 22:24	読むのが大変だった。 文章的には面白かった。
コーサク 12/3 23:0	ここまで凝った文章をこんな長く書いた根気に完敗です。 うまいです。
ノエ 12/4 12:10	有名な詩のパロディーは、基の詩の印象を利用できるのでよくもあり悪くもありですが、カタカナ、ひらがなの使い方など、顧慮されているようで感心しました。 まぁ、パロディーであるがゆえに評価も甘くなったり、酷になったり。 これはどちらでしょかねぇ。。
琥珀 12/4 14:15	「そういう女に　あたしはなるまい」といってるけど、どういう女なのか、ちょっと『ワカンナイ』。 「欲バリデ　決シテ満タサレズ　イツモナニカニイカッテイル」「人ガシアワセノトキハクヤシガリ　不幸ノトキハコッソリワライ」あたりに焦点を当て、「女」の正体を暴き出す覚悟が欲しかったなと思います。 『ワカンナイ』の陽水ほどでないにしても・・・。
kunipi 12/4 20:30	いやー。 何度読み返しても 完成度の高い作品だな、と。 見事な本歌（詩？）取り。 リズムも、本編に限りなく 近くなるように 工夫されていると思います。 このアイデア、すごい。脱帽です。
けろた 12/5 12:14	宮沢賢治の原文は、カタカナ書きであることと、独特のリズムが作品の核になっていると思います。そういう意味で、これでもか！ってなほど「いやな女」像を同じテイストでうまく表現されていると思います。 小学生の姪が音読で原文を何度も読んでいたのですが、この作品を教えてあげたら、げらげら笑いながら覚えちゃいそうです。声に出して読むと完成度の高さがわかります。
ながちゃん 12/5 17:53	昔はカタカナは男の仮名、ひらがなは女の仮名でした…って重箱のすみを突いてみたくなる冬の夕暮れ。 宮沢賢治はこんな所で自分の作品が、パロディであんなふうに変えられるとは思っていなかったでしょうね。 内容は、オモロイっちゃオモロイけど、くだらねーっちゃくだらねー（苦笑） 羅須地人協会に行ったんさい！ 「賢治は、教師をやっているだけではダメだ、一人の農民として農民とともに生きようと決意したのだった…」下らない意地は無意味だと気づかされるぜ。 と、知ったかぶりしてみる。
はつね 12/9 12:39	ここまで書いたのなら最後までカタカナを突き通して欲しかったです。 いわゆるスイーツ脳の批判ですよね。 筆者の方が女性として自らに戒めたのか、男性が女性を否定しているのかは分かりませんが、良き女性になれることを期待しています。
いそしぎ 12/9 21:0	非常に挑戦的で痛烈、言い過ぎなくらいだからこそ面白い、そんな気がしました。 オシリ突撃。
やむ 12/9 22:7	最後のオチに驚かされたと同時にホッとしました。 こういうステレオタイプ的な嫌な女をただ批判するのではなくて、「そういう女に　あたしはなるまい」と、自分も油断していたらこうなってしまいそうだから気をつけよう、と決意して書かれているのが微笑ましく感じました。

星イッテツ 12/9 22:41	読むのが大変でしたが、色々な具体例が書かれていて共感がもてました。
あゆむ 12/10 0:7	雨ニモマケズ。そんな女になるまい。 あなたの理想の女性はかよわいのだろうか。
鳥 12/10 0:10	昔宮沢賢治の『雨ニモマケズ』を諳誦したことがあるのですが、 それを思い出しながら爆笑しつつ読みました。 最後だけひらがなになっているのもいいですね。 なんか一人ボケツッコミを見てるような感じです。
daikonsalada 12/11 11:1	とてもきれいな詩ですが、カタカナが多くて読むのはちょっと大変だった^^;
kunipi 12/12 21:1	パチパチ。 輝さん、作者コメント拝見しました。 いやー。「これって私のこと？」 それくらいうまく「女」が書けてました。 お・み・ご・と。 私は、ネイチャー●イドの マルチビタミンを こよなく愛しておりますし、 ワインも大好きです。 チョコのみならず、甘いものは別腹です。 毎晩、寝る前に本作品、暗唱します。
あゆむ 12/12 23:27	そうですか、この読みにくさはわざとではなかったのですか。 読みにくくして適当なとこで下にスクロールしてもらうようにしたのかと思ってました。 あたしも全部は読んでなくて一番下読んで、あぁなるほどと思った人です。
354e14thave 12/13 1:6	雨ニモマケズ風ニモマケズの後にこんなに続いてたとは。こういうのもありなんですね。個人的にはこれを一番にしたかったです。二番おめでとうございます。
354e14thave 12/13 1:7	失礼。三番おめでとうございます。
イッパイアッテナ 12/13 19:34	女性の自虐ネタだったのかぁ!? やっぱ、自虐スキーは男女限らず東工大の性なのでしょうかね（涙 ＞虎の威を借る狐 本当に偉いのは、虎の威を狩ることができる狐だと思いますよ。 (僕個人としては、本歌取りっていう表現がいいかなぁっと思います。)
輝 12/14 12:40	＞kunipiさま 暗唱って・・・笑。 電気毛布の下でナイトキャップかぶって唱えてる図を想像しちゃいました。 正しい（楽しい）心がけかも・・・？かさねがさね恐縮です。 ＞あゆむさま わたくし、そこまでの悪党じゃないんです、笑。 できれば読み飛ばされたくないですしねえ。 だからこそ、今回、 カタカナ障害物を乗り越えて最後まで読んでくださった方がいることに心ぬくもってます。 ほんと、うれしかったです。 ＞354e14thaveさま なんと有難いお言葉！次回、失望させちゃわないようにせねば。。 ＞イッパイアッテナさま え？そうなん？東工大って自虐しちゃうひとが多いのですか？ 最後のは、おほめの言葉と受け止めたのですが、なんだかムズムズしております。
あゆむ 12/14 21:3	なんで読みにくいのだろうと思ったけど、行間が一切ないためかもしれません。行間なしになりたくない女性像を一気に書いてるために、読者を追い込む感がある気がする。でも、結果としてそれが作品のよさになっているんですよね。 う～ん、文学って皮肉だ。

イシルドゥア 12/16 19:37	すっごく今更ながら ＞作者さん ＞教頭先生 うちの教頭先生、珍しく女の先生だったりしたんですけど、アルバムにそんなの書いてて、「ＴＶゲームの誘惑にも負けぬ　強い心を持ち」とかなぜだか噴出した覚えがあります。 なんというか、ユーモアの分かる先生でした。教訓的ではあるけど、ユーモアも忘れないみたいな。 多分、アルバムで心に残ってる先生の文章って、それだけかも（苦笑
琥珀 12/17 21:59	>あゆむさん、文学って何ナンでしょう？ 　あたし、文学的なんとかって評されることがあったんですが、文学とは無縁だったので、ホントに、お聞きしたいです。

ＴＯＰへ

AVを借りに行ったときのことである

合計ポイント：24 Point
作者：めふめと2世
作者コメントを読む

※性表現とまではいかないまでも、
　タイトルからご想像できるような一部の方には不快と思われる可能性のある表現を含んでいます。

AVを借りに行ったときのことである。
といっても別に勇んで借りに入ったわけではない。
たまたまレンタルビデオ店に行ったら、旧作半額サービスをしていて
「あら」と思い、「どれ」とピンク色のすだれをくぐってみただけのことだ。
携帯に半額クーポンが画面メモされていたという見事な偶然も重なった。

別にここでAVのよしあしを語るのような下劣な行為をしたいのではない。
考えてみたいのはあのピンク色のすだれだ。
だいたいどこのレンタルビデオ店も、「世界」と「世界」を分ける区切りはすだれで行っていると聞く。
「聞く」と表現したのは、僕としてはあまりにもそういう場を訪れる体験が少なく

個人的体験のみを根拠とするにはサンプル数が少ないからである。
サンプル数が少ないのは仮にも研究者の卵としていたたまれないところがあるが
仮にそうだとしたら次のことが言えるだろう。

『すだれが「世界」と「世界」とを分ける区切りとなるためには、
その店を訪れる万人にとって、それがそうだという認識の共有がいるのではないか。』

いわゆるスキーマとかいうやつだ。
しかし、そのスキーマは特に女性の場合、いつ獲得されるのだろうか。

と、脳ではこれほどの高尚なことを考えながらも、
僕の手はディジタルヴィデオディスクと称される円盤を一枚セレクトしていた。

「やれやれ」

僕は理性というものについて考え込む哲学者のような神妙な顔つきで
下界に戻り、レジへと向かった。事件が起こったのはその時だ。
レジの店員が女性、しかも同じ世代に属するだろうと思われる人だったのである。

僕は困難を抱えた。別に、恥ずかしいから、ではない。
むこうも雇用契約を結んだ店員である。そのような業務は慣れているだろう。
それに、そういった行為を恥ずかしがるような時期は２０を越える男子として既にとうに過ぎている。
では、困難とは何か。それは、恥じらいをいかに「表現」するかである。
僕は常々電車の中で、周囲を気にすることなくグラビアページを見るようなオヤジにはなりたくないと思っていた。
恥じらいは社会の中の一つの特異点である。
合理性を越えた特異点を認めることにこそ僕の目指すロマニズム的生き方である。
恥ずかしいか否かではなく、

「恥じらいを、表現しなければならない」

これは政治的な戦いなのだ。

僕は店員の性別を観察するように、レジの前を二度三度通り過ぎてみた。
興味も無い恋愛映画の棚をのぞいてみた。
明らかにとれることのないＵＦＯキャッチャーもやってみた。
僕のこれまでの人生の中でこのような表現が求められる機会はあまりない。
はたから見ればさぞ滑稽な行動だっただろう。しかし、何事も経験である。

もう、いいだろう。

十分に、恥じらいを、表現できただろう。

そう思いレジに向かった僕に、衝撃の事実が飛び込んできた。
彼女の胸につけられた札にある「研修中」の三文字。

「恥じらいを、表現するのは、むこうだったのだ」

本来あるべき攻めと受けの立場が真逆だったのだ。僕は立場を間違っていた。
己の行動を悔いた。とにかく悔いた。
シチュエーションとして秘めていた場のポテンシャル、損失した効用は如何ばかりの程だろうか。

その時僕は気付いた。
長い長い己の誤りのせいで、手の平に汗がでるほど掴んでしまった一枚のAV。
それは、女教師ものであった。

ボタンは最初からかけ違っていたのだ。

まぁ女教師のカーディガンのボタンはかけられてすらいなかったのだが。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
紫雲 11/26 13:45	AVを借りる時に恥ずかしい理由を考えてみたことがあるんですが、自分の性癖を知られるのが恥ずかしいのだと気がつきました。 なぜ恥ずかしいのか、というところにもう少し突っ込んでみると無駄に哲学性が上がって面白かったかもしれません。
わがし 11/26 14:49	ふえー、男の人ってこんなこと考えながら借りてるんだー。面白いなあ。女にはわからんなあ。
貧保 耐三 11/26 18:48	すだれを出る瞬間が一番恥ずかしくないですか？？
わがし 11/26 19:49	なんでそんな思いをしてまで借りるのか、というところまで言及していただけるとより参考になります
鳥 11/27 3:11	私はAVなんて借りたことも見たこともないのでなんともいえませんが、 ここに描かれた状況って、 生まれて初めてコンドームをコンビニで買う高校生のような、 なんか端から見れば面白おかしい状況ですねw ところでDVDはDigital Versatile Disc(Versatile=多目的)の略ですよ。
インギリー 11/27 10:22	タイトルって、これ… 工夫も何もないように感じます。 女性というテーマで、もっとイメージを膨らませて書くことはできないのかな。 女性と聞いてまず頭に浮かぶのは「アダルトビデオ」なんでしょうか。いくら理屈を並べても…なんか悲しい。
ピチョット 11/27 10:29	男性特有の考えのような気がしました。ただ以前車椅子の若い男性がすだれをはいっていって、外で年老いた母親らしき人が待っているのを目撃したことがありました。少し胸につまるものがありました。この作品が「女」という題材にむすびつくのは「研修中」の女性？AVの女教師？理解できなくてごめんなさい。
わがし 11/27 11:14	＞鳥さん、 ＞コンビニで買う高校生 ねえ、それってデフォルトで当たり前なの？　えー、びっくり（っておまえはいつの人間だ・・・）ちょっと研究室の子たちを見る目が変わってしまう・・・。 ＞ピチョットさん、 どっちも、ではないでしょうか。店員さんが女性だったというのが、やっぱ恥ずかしいのかな。
バートルビー 11/27 14:38	「たまたま旧作半額」というところがいじらしい。 今の時代、ネットで色々見れますよね？ だけれども、あえてレンタルという男性心理が知りたいです。
作者 11/27 17:31	女性の方のコメントが多く勘違いされているようなので１点だけ。 自分以外の男性はこのようなことは考えていないと思います。 お間違いなく。

RIRI 11/27 17:53	この話はそんな小難しいことを言っているようには思えませんでした。 AVを借りる時の恥ずかしさや、理解の無い人からの弾圧を誤魔化すために頭の中で謎の理論を展開しているのが前半、いざ借りようと思ったら店員が女性だったという、よくあるコミカルなシーンをこの主人公なりに対処しようとしたのが後半、ってだけの一種のコメディじゃないでしょうか。 『携帯に半額クーポンが画面メモされていたという見事な偶然』に「どんだけ正当化してんだよ！」というツッコミを読者に入れてもらったり、『興味も無い恋愛映画の棚をのぞいてみた』に「あるある（笑）」という相槌を打ってもらったりすることを求めた作品だと解釈しました。それ以外に何かありますか？　あえて深読みするなら『AVを借りるときの男の心理と苦労なんて女には分かるまい』という隠しメッセージがあるんじゃないでしょうか。（って、なぜ借りたことも無いのに熱弁してるんだ自分は） で、文章が上手で個人的にはかなり楽しめました。このノリは好きです。
kirie 11/27 21:18	まあ、男というものは得てしてこういうものなのですよ、多分。自分はＡＶ借りに行った事は無いですが（とゆーか、借りる勇気が無い）、借りるとしたらこんな行動をとってしまうかもしれません。
作者 11/27 21:52	男性の方にも１点だけコメントを。 kirieさんの言葉を借りて以下にこのようなテンプレートを用意しました。 「自分はＡＶ借りに行った事は無いですが」
茜 11/27 22:10	最初に読んだ時は、あんまりノリが良くない気がしたんですが、もう一度読み直してみると、なかなか大げさにごちゃごちゃ考えてくれてますね。 なんで最初はそう思わなかったのかな？と考えてみたら、最初の※付きの文が思い当りました。これがあったから、どんなセクハラだ？！と身構えてしまってノリに入っていけなかったのかも。 この作品、たぶん題名が一番セクハラだと思うんですよね。 だから、何も本文の前にあんな注意書きつけることはなかったかと。だめな人なら題名で逃げるのではないかしら？ 作者さんが用意したテンプレートに、男性心理の一端が表れてそうで面白いです。
わがし 11/27 22:12	＞作者さん、 えっ！！！　衝撃の事実！　借りに行ったことがない！ それでここまで書けるんかい！（本当？） ・・・ああ、でも今ってon lineの店ありますもんね（笑
イッパイアッテナ 11/27 23:0	「自分はＡＶ借りに行った事は無いですが」 使ってみました。そもそも、レンタルビデオの会員カードもっていない借りることなどできないんですがね(苦笑 これは男に対する苛めなのではないでしょうか。 文章がうますぎて、不快感を感じる暇もなく、文章を全部読めてしまうので、結果的ににやりと笑ってほしい男だけでなくて、女性陣まで普通に読み終えちゃいますから。 わざわざ、こんな問題作投下しないで欲しいなぁ。作者さんは絶対性格が悪いと思う。 才能の無駄遣いを通り越して、才能の悪用だと思います。 ったく.... ＞インギリーさん それは作者さんの優しさです。 女という点にもっと強調をしたかったら、BL本を買いに来る少女という、より生々しい描写だってできたはず。 そこを恥を忍んであえて男という生き物(←自分が、じゃなくて男がっていう点注目)をダメな風に書く作者さんは、とてもいい人だと思います。 (作者さんはコメントで否定していますが、これは作者さん自身の性癖というより男の性としてしか読めないような文章構成かと) ＞わがしさん 違います。 作者さんは、絶対行ったことあるであろうに”行ったことがない”とコメントに加えるチキンな男読者をわざわざテンプレートを作って皮肉っているんです。

	＞作者さん あんたは、敵だ!?
インギリー 11/27 23:10	＞イッパイアッテナさん レスをありがとうございます。 すみません、おばさんなので… 「BL本を買いに来る少女」の解説をお願いします。
鳥 11/28 0:46	＞イッパイアッテナさん 「BL本を買いに来る少女」は生々しすぎるwww 「AVを借りにきた男」なら全国どこでもあり得そうな風景として考えられるけど、 「BL本を買いに来る少女」はどう考えても池袋しか思い浮かばないwwwww
ほろほろ 11/29 3:18	「自分はＡＶ借りに行った事は無いですが」、 なんといいますか、『針のむしろ』感？　『痛し痒し』感？ その辺りの感覚を良く描いていただいて、ありがとうございました。 「ＢＬ本」というのは、 ボーイズラブ、すなわち男性同士の性描写がある本のことですね。 最近は大きめな書店ならば地域を問わず置いてあると思います。
作者 11/29 14:32	>>イッパイアッテナさん フォローありがとうございます。 世界の全女性に比べると、僕が今まで出会った女性はとても少ないでしょう。それをもって「女」というテーマで語る、それこそ文中に書いた僕が嫌うオヤジ的な感じがして躊躇したというのが本音です。個人の体験を普遍的物語のように語ることはしたくない。これが少ないながらも私がこれまで出会ってきた女性及びそうでない全ての女性への態度のつもりです・・・ なんてことは全く考えていませんよ。 僕にとって「女」とはシチュエーションであって、フィクションではないです。「女教師のカーディガンのボタンはかけられてすらいなかった」が仕掛けです。
輝 11/30 20:34	冒頭のR指定（？）に、それこそピンク色のぴらぴらをくぐるような緊張感でもって読み始めました。 が。 指定解除、です。 ちゃんとユーモア下ネタになってると思います。 無論こういう話題は相手を選んでしまうものですが、たとえば、 通勤途中のOLがくすりと読める“Ｒ２５”のエッセイレベルにはなっているのでは？ まあ、日経には載らないでしょうが。 さて、ここから苦言。 漢字ワード、カタカナワード、形容ことばの多用には、少し食傷気味となってしまいました。 今作の意図的なスタイルとして読むべきなのかもしれませんが、 「既にとうに過ぎて」「如何ばかりの程」「合理性を越えた特異点」等、ところどころつまずきました。 作者さんは博識でスラスラ書けちゃう方なのでしょう、でも、 そぎ落とすこともしてみたら、ひとつひとつのことばの力がもっと生きてくるのではないかなあ。 次回作も、期待。
インギリー 11/30 21:20	＞ほろほろさん 解説をありがとうございます。 一つ勉強になりました。。。。
ながちゃん 11/30 23:42	題名も目立つし、やたらコメントが多からどんなモンかと覗いてみればこんな程度かよ！ 冗長過ぎだわい！ ってまあオモロいんやからええんちゃう（笑） あのヒラヒラが、ラブホやモーテルの駐車場の入り口にも付いてるヤツにまで考察が飛べば、社会学的でそれなりの評価したいと思ったが… 次、頑張んなはれや

イッパイアッテナ 12/1 15:20	＞インギリーさん すいません、返信遅れました。 ほろほろさんのおっしゃる通りの内容です。 で、具体的にどのようなシチュエーションになるかという疑問とかは、お客様の個人情報云々の問題になるのでご勘弁ください。 ただ、大手でないビデオ屋にとってAVが貴重な収入源であるように、本屋にとってもBL系列は貴重な収入源であるということだけお伝えします。 (池袋ではない本屋でバイトしていたものより。) ＞女はシチューションであって、フィクションでない。(作者さんコメント) ……素晴らしいお言葉です(汗 たぶん、そこがリアルを追求したサドルの作者さんとの違いではないでしょうか。
vista 12/2 22:26	最後の1文が地味に面白いですねw
作者 12/3 15:56	>>紫雲さん 五・六枚ぐらいを「がばっ」と持ってるおじさんには憧れますよね。 >>わがしさん いや考えてない。フィクションだよ。 >>びんぼっちゃまさん 「あら、こんなかわいい子がまぁ」みたいな顔されますよね。 >>わがしさん 誰しも表現したいという欲求はあるのではないでしょうか。 >>鳥さん 多目的・・・素晴らしい名前ですね。 >>インギリーさん 期待したのはそのリアクションです。 >>ピチョットさん 泡風呂パターンも聞きますよね >>わがしさん 僕も見る目変わられたいです >>バートルビーさん 僕の場合シチュエーション含めての消費ですね。 >>RIRIさん わりと古典的ですよね。隠しメッセージはありますが僕は女性に対してそんなに傲慢ではありませんよ。 >>kirieさん 自己投資は必要ですよ。 >>茜さん その点反省しております。有難いご指摘です。次は気をつけます。 >>わがしさん 男はフィクションです。 >>イッパイアッテナさん 僕はそんなやさしくもないって。 >>インギリーさん 僕はBL本にはくわしくありませんし書けません。 >>鳥さん みたことないし生々しいかわかんないな。見たことあるんですね？ >>ほろほろさん

	フィクションが現実より現実であることは往々にしてあるということでしょうか・・・ >>輝さん その一行目こそ成人指定じゃないですか。 言葉についての苦言は、まぁある程度内容との関係で意図的ですけど、僕自身がペラペラだってことで。 >>インギリーさん いや勉強しなくていいと思いますが。 BL自体はかなり昔からあったらしいですがどうなんでしょう。 >>ながちゃん まぁそっち方面やったら関西の方にはかなわないですよ。ホンモノ見せたってください。 >>イッパイアッテナさん 僕はサドルの方もシチュエーション派だと思います。見せ掛けてるだけで。文学作品に見せかけた娯楽大作とかいうやつです。 >>vistaさん 最後の一文はキーです。
作者 12/3 15:58	誤>>ながちゃん 正>>ながちゃんさん
kunipi 12/3 21:56	「AV」っていう語句に これだけ反応するみなさんの反応。 これぞ、まさに作者さんの思うツボ、 のような気がしています。 余談ですが、今年の夏 「UV（ケア）してる？」と言おうとして 「AV（ケア）してる？」と言ってしまい 失笑を買いました。 人は、心にもないことは いいませんからね。 深層心理としては、 見たいのでしょうね。。。きっと私。
kunipi 12/3 22:35	「AV」っていう語句に これだけ反応するみなさんの反応。 これぞ、まさに作者さんの思うツボ、 のような気がしています。 余談ですが、今年の夏 「UV（ケア）してる？」と言おうとして 「AV（ケア）してる？」と言ってしまい 失笑を買いました。 人は、心にもないことは いいませんからね。 深層心理としては、 見たいのでしょうね。。。きっと私。
ハイパー・ワイハー 12/4 13:55	「自分はＡＶ借りに行った事は無いですが」 作者さんは自分だけと言ってますが、６０００万人いる男のうち、５８００万人はこの通りだと思いますよー。 ＡＶコーナーとラブホの暖簾は、また違う。 決定的に違うのは、それを何人でくぐるか。
鳥 12/4 21:43	＞見たことあるんですね？ 「自分はBL読んだ事は無いですが」 「女の子向けの」少女漫画とかすごいとか聞きますからねー。 あくまで伝聞の域を出ませんが。。。

Begonian 12/5 22:22	自分はＡＶ借りに行った事は無いですが、こういう下らないことを仰々しく語る作品は好物です。 あと、自分はＡＶ借りに行った事は無いですが、最後の一文はあまり好きじゃないです。 いえ、ただ個人的にはそういう趣味がないってだけです。 最後に、念のため。 確かに作者さんにとって、黙って見ているというのは耐え難いことかも知れません。 ですが、「作者さん」という存在がその作品においての「ジョーカー」であることを、どうか忘れないで下さい。
レロニラ 12/8 0:4	講義のグレーゾーンに挑戦する作者様の勇気に敬意を評します。 内容としては、分かるような分からないような… 恥じらいを表現しようなんて思った事ないですね。私は堂々といっちゃいます。 ただ日常的な状況を文学的に表現しているユーモアとそれを可能にしている言葉遣いのセンスはすごいと思います。
レロニラ 12/8 0:4	講義のグレーゾーンに挑戦する作者様の勇気に敬意を評します。 内容としては、分かるような分からないような… 恥じらいを表現しようなんて思った事ないですね。私は堂々といっちゃいます。 ただ日常的な状況を文学的に表現しているユーモアとそれを可能にしている言葉遣いのセンスはすごいと思います。
はつね 12/9 15:28	18歳以下厳禁な本を買いに、1時間以上もかかるようなコンビニへ走る中学生のような青い青春が描かれていて面白いですね。 バイトしている人に聞いたところ、「誰が何を借りようが気にならない」といっていましたけど。 最近のネット世代ではこういう初々しい出来事もないのかも知れないですねぇ・・・。 次の戦いでは、ジャンルを間違えないように気をつけてください（笑）。
めふめと２世 12/9 15:30	>kunipiさん UV・・・Under 18 videoってやつですね。 >ハイパー・ワイハーさん 私は残り200万に入りますね。 >鳥さん BLってのは同人市場だけかと思ってましたが一般ルートも席巻してるんでしょうか？ >Begonianさん おっしゃることはわかりますが、あまり教条的にせずに匿名性のメリットを有効に生かしてもいいと思うのですが。これまでの発言は意味の無い羅列ですのでジョーカーとしての発言は一切ないです。 >レロニラさん 私などロマン主義の残滓にすぎないということですか。なんと手厳しい。。。
作者 12/9 15:32	訂正 めふめと２世→作者
Begonian 12/9 17:22	＞作者さん おっしゃる通り、匿名性のメリットを活かすのはいいことです。大いに賛成します。 そこで、例えば「名前を変えることなく何食わぬ顔で自分の作品にコメントする」というのはいかがでしょうか。 わざわざ名前を「作者」に変えてまでしてつけたコメントなのですから、「意味の無い羅列」だなんて軽んじないで欲しいのです。
作者 12/9 18:8	>「名前を変えることなく何食わぬ顔で自分の作品にコメントする」 私としてはこれは自分以外にコメントしてくれた人を軽んじてる気がするけどな。たとえその場ではわからなくても、完全に並列の関係としてコメントすべきだとは思わない。 作者が作者コメントを軽んじても問題ないと思う。
星イッテツ 12/9 22:35	DVDのタイトルとデザインが変われば、恥じらいを表現する必要もなくなるんですけどねぇ。
３匹ヤギの 12/10 1:21	AVの感想も是非聞きたかったです。

作者 12/10 1:55	>>星イッテツさん しかし、パッケージだけをヒントに「判断する」というあのピリピリ感が失われるのは嫌ですねぇ。 >>３匹ヤギのさん 私みたいな素人ではまだまだでした。どうしてもパッケージにだまされてしまいます。
Azalea 12/11 22:22	あまりにコメントが伸びているので ちょっとなあと思っていたのですが、 まさか罵倒されたかったなんて！　なんというMな方でしょうか。 ちょっと、考えられませんでした。 そのためにこういう文章にするあたりはとてもすごいと思います。 こういうコメントを前提とした試みはすごいなあと、つくづく。
鳥 12/12 2:32	BLについてはお近づきになったこともないしお近づきになる気もないので詳しいことはわかりません。 噂でちらちらともれ聞こえてくる程度ですかね。 さて、作者が結果発表前に自作品にコメントを入れることについてですが、 私はなるべく多様な読み方を読者にしてもらいたいという意図から、 「作者」としてコメントすることはしないようにしています。 作品中に描かれない裏設定や表現の意図をうっかり喋ってしまったりしたら台無しなんでね。 作者であることを隠して自分の名前でこっそりコメントを入れるのはここの作者さんと同じ理由で反対ですね。 あと、「工作員乙ｗｗｗ」っていわれたり結果発表で名前がバレたあとで当該コメントが「白々しい」って思われたりするのもいやですしね。 この辺は講義版でも同じスタンスで、セッション中に自作品に対するコメントはしないことにしています。 ディスカッションの流れの上で自作品に対してコメントせざるを得ない状況になった場合は、 当たり障りのないことを言って逃げますｗ
イッパイアッテナ 12/12 7:37	うーーん、予想通りのMな作者さんでした(笑 罵倒しようにも、文章自体があまりふざけた調子じゃないので、これって真面目につっこんだら負けだよね。という雰囲気があったのが、女性陣からの熱い鞭が来なかった理由じゃないのでしょか。 (あとは、ぐえっへっへ、って感じなエロスが足りないんだと思います。) どうでもいいですが、メフメト二世のイニシャルもMですね。 ＞追記 あと、やはりサドルの作者さんとは性格的に違うんじゃないかなぁっと。 ああいうのは、エンターテイナーとしての喜びに身を打ち震えるタイプだと思われるので、蔑みに心が躍るタイプじゃないと思うんです。
	>>Azaleaさん >あまりにコメントが伸びているのでちょっとなあと思っていたのですが 自分も他人の文章として見たら、そういう反応だったと思います。 ちなみに「女教師もの」＝船長によって罵倒されるがこれの最終目標でした。上手く行ったかどうかは。。。 >>鳥さん そこは僕は文章の種類によってと思ってます。小説系なんかは作者がでるのはあまりよくない。リアリティの担保を実体験とすると特にそれ以上突っ込めなくなるから。他作品でのコメントでも一部気になるものがあるのだけど、小説系はそこに特に意識的にあるべきだと思います。 今回の場合、作者コメントへの伏線を張る必要があって、それで自作品にコメントをつけてみたのです。Mコメントが不自然にならないよう多めになったけど。じゃないと後だしになっちゃうからね。 >>イッパイアッテナさん 理想としては、意図を見抜いてそれでもあえて罵倒してくれるのがシチュエーション的に

めふめと２世 12/12 13:11	理想ですね。 ぐえっへっへは、僕はそういうタイプじゃないし難しいです。 メフメトの名前は・・・トルコの人に申し訳ないな～と思うけどPlanetを侵略して荒らしているという面ではふさわしいかな。 サドルの人は、あのタイトルが怪しいと思いました。高みに登った者のみがわかる感覚ですね。 で、イッパイアッテナさんの指摘にあるように、少し真面目な話をするとこれは文章の表面をなぞる読み方に対するトラップでもあったわけです。 なぜこのようなことをしたのかというと、前回、多様な解釈の名の下に、作者さんに対する配慮がないコメントが見られたと思ったので。多様な解釈を認めるということは、どの解釈も１００％文章を完全に捉えるものではない、ということ。だから、やはり自分の読みに対する謙虚さが必要だと思います。 それは別に、全ての作品を誉めることではなくて、最低限の礼儀を持ってコメントすることではないでしょうか。コメントの多様性より、作品の多様性を維持することの方が僕は大事だと思いますし、それが結局コメントの多様性に繋がると思います。 と考えて作ったのだけど、あまり引っかかりませんでしたね。まぁただこのトラップを入れたことは次に生きてくるはずです。匿名なので全ての作品にトラップがある可能性があることになりますし。 イッパイアッテナさんがおっしゃった僕は性格が悪いというのはここまでわかるようにあってるので問題ないです。。。

ＴＯＰへ

ベストフレンドの「パートナー」

合計ポイント：23 Point
作者：ken
作者コメントを読む

僕にはベストフレンドがいる。名はクリス。男のアメリカ人だからたぶんクリストファーかクリスチャニアンの略だろう。一回聞いたことがあるが忘れた。

彼は一見完全な白人だが、日本人の血が入っている。母方のお祖母さんが日本人である。お祖父さんが船乗りで、横浜で恋に落ち、そのままお祖母さんを連れて帰った。しかし、お祖母さんはその後一回も日本に帰京することなくアメリカで子供を育てた。時は第二次世界大戦の前後、反日感情が高まる中、お祖母さんは全くのアメリカ人としてクリスのお母さんを育てることにしたのかもしれない。だからクリスのお母さんも、ましてやクリスも全く日本語をしゃべらない。

僕が仕事でニューヨークへ行ったのはもう１０年前。その時、仕事上必要にもかかわらず、コンピューターでエクセルが使えなくて、しょうがなく、毎週火曜日の夜、大学で社会人向けのエクセル講座を履修していた。その時に、大学のトイレの中で「お前は日本人か？」声をかけてきたのがクリスである。
彼は、自分に日本人の血が流れているにもかかわらず、日本語も話せず、日本人の友達もいなかったことに不満を感じていた。だから、僕を教室で発見したときに小躍りして喜んだようだ。

僕らはすぐに親しくなり、大学の帰りによく酒を酌み交わし、日本のことアメリカのこといろいろと話し合った。彼は日本のことを驚くほど勉強しており、日本人の僕が知らない知識も沢山持ち合わせていた。

彼は、端正な顔立ちで、かなりの二枚目。歳は３０を少し超えたぐらい。非常に細やかな心遣いが出来る男であった。大恋愛の末、２０代のロシア人「パートナー」と暮らしていた。しかし、結婚はしていないという。また、大学の帰りに僕と飲みに行く時、彼は必ず「パートナー」に電話をかけ、承認をとっていた。「こいつ若いのにもう尻にしかれている」というのが僕の印象であった。

彼は二度、僕の自宅に遊びに来た。ぜひ「パートナー」も一緒にと誘ったが、残念ながら都合が悪いと来ることはなかった。

僕の帰国が決まった。クリスは「パートナー」の手料理をご馳走したいので自宅に来るように誘ってくれた。但し、一人で来てほしいとのことだった。
僕は、金髪のロシア美人に会えるのを楽しみに彼の家へいった。
そして、彼の「パートナー」が「男」であることを初めて知った。
しかし、「パートナー」の手料理は大変美味しく、その上、部屋をすべてキャドルライトで演出してくれ、僕には最高の夜であった。

彼は、日本人がホモセクシャルに対して大きな偏見を持っていること、ましてや僕に小さな子供がいるので、「パートナー」を僕の家族に会わせるのは遠慮したという。
僕は異性を愛せない人に対する理解がないわけではない。しかし、今までそのような人と親しくなったこと

はなかったのも事実である。僕は彼の心遣いにあらためて感謝した。

　同性同士のカップルを見ると、どちらが男役でどちらが女役かとつい思ってしまう。しかし、クリスのカップルはそれを超越していた。そしてそれが最も自然であった。

　クリスは今でもその「パートナー」と幸せに暮らしている。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
Bloomoon 11/26 15:16	感動しました。女性の登場人物はいないのですが（クリスの家族は説明だけなので）、こんなテーマの使い方もあるんだなぁと。
インギリー 11/26 17:49	タイトルを、もう少し工夫した方がいいと思います。 字余りというか、パッと見て意味がわかりにくい。 カタカナ言葉が並ぶと、ちょっと… 「お祖母さん」「お祖父さん」「お母さん」「お父さん」という言い方も、「祖母」「祖父」「母」「父」でいいと思います。 何度も出てくると、くどい感じ。 「母方のお祖母さん」より「母方の祖母」と言った方が自然です。
ノエ 11/26 20:13	完成していますね。読み応えがありました。
わがし 11/26 20:48	これは実話っぽいですねえ。説得力あり。
バートルビー 11/27 13:25	英語圏ならではなのかな？と思いました。 日本語だと相手のことを「妻」「奥さん」「女房」「彼女」と呼ばずに、「パートナー」だとか「同居人」というと法律婚が認められないカップルなのか、でなければフェミニストなのかな、など色々考えてしまいます。
ピチョット 11/27 14:30	「女役」を生きている人のほうがより「女」なのかもしれない。「女」にうまれても、結婚・出産を経験したくないという女性も多い現実。人生なにが幸せかと考えたとき、よきパートナーとめぐり合えることが幸せになるのかなと思ってしまった。
みつきんぐ 11/27 16:34	私も感動しました！ 良いパートナーと出会いたいと思いました。
ほろほろ 11/29 2:47	いや～、沁みる話ですね～。 すごく面白かったです。 １点、 「クリスさんのカップルの、 男役、女役を超越していて、自然である関係」というのは、 もうちょっと具体的にいうと、どんな関係だったんでしょうか。 こどものいる家族みたいだったのでしょうか？ 長年連れ添った夫婦みたいだったのでしょうか？
Begonian 11/29 17:12	野暮なことを言いますと、テーマ「女」というよりはテーマ「男」ですよね。 とまぁ、それぐらいしか文句のつけどころが見つからないわけでありますが。 作者コメントなりで、もっと深く話を聞いてみたくなりました。
めふめと２世 11/30 16:20	>僕は異性を愛せない人に対する理解がないわけではない。 作者さんの立場がわかりやすくていい表現だと思いました。

がらがらどん 11/30 16:46	やはり日本では同性愛者への理解が足りない気がします。 義務教育でも、家庭内でもそういう話題はタブー視されてるのが現状です。 同性愛であっても愛し合っているなら、まわりからケチをつけられる筋合いはないですね。 なんだかスッキリしました。
go19 12/1 18:29	良いお話ですね。実話か創作かは関係なく、面白く興味深く読ませていただきました。 すごく完成されていて、ぜひとも改善すべき点は思いつかないのですが、ちょっとだけご提案があります。 「母方のお祖母さんが日本人…お祖母さんは全くのアメリカ人としてクリスのお母さんを育てることにしたのかもしれない。」の部分は、クリスが日本語をまったく使わないことを述べる為にあるのだと思いますが、もう少し短くても良いと考えます。「船乗り」「横浜」「大戦」「反日感情」は、この文章に出てこなくても、この文章の主旨を損なわないと思います。他にも、「エクセル」「大学のトイレ」も無くて良いと考えます。 参考になりましたら幸いです。
アボガド 12/3 15:42	日本も早くこういった環境が自然になるといいと思います。
kunipi 12/4 20:15	この作品、あたたかいですよね。 他者への配慮、っていうのでしょうか。 こまやかな気配り、っていうのでしょうか。 そういう雰囲気を、文章全体から感じます。 おそらく、作者さんの経験したことなのだと 思いますが、 お互いに尊敬しあうことのできる 関係って、いいですね。 面白かったです。
茜 12/4 22:40	前半部分が得に楽しかったです。 クリスさんの魅力が伝わってくるみたいでした。 でも、彼の「パートナー」が「男」だと知るところから、妙にかけ足になってしまったような気がします。 だからなんだか、とってつけたようだな？と思ってしまったんです。 もう少し、ここを丁寧に描写してほしかったな、と思います。ほろほろさんの言う、「男女を超越したってどんな関係？」でもいいですし、パートナーさん何かお話したのなら、どんな話をしたのか、ちょっとエピソードが入ると、バランスも良くなったんじゃないかな、と思います。
けろた 12/5 12:6	クリスさんの細やかな配慮が、「女」らしさを感じさせました。 「パートナー」の表記について、最初に読んだときは違和感がなかったのですが、二度目に読んだときは「」付で、予想外の結末が示唆されているように思えました。あえて「」をはずしてしまってもよいのではないでしょうか？
ながちゃん 12/5 22:11	この作品は「女」だ「男」というより、「女らしさ」をクリスの「非常に細やかな心遣い」にオーバーラップさせている。 目の付け所の良い、文章的にも読み応えのある作品かと思います。 しかし… 作者はクリスの「パートナー」が「男」であると知った時、心に違和感を感じなかったのでしょうか？普通の日本人男性なら絶対感じる筈です。たかが１回「最高の夜」を過ごした位で、そんなに簡単に同性愛者のソフトな理解者に変貌するものですか？ その心の揺れが分からない。 作者が、全てを受け入れる度量が有ったから？ クリスが「非常に細やかな心遣いが出来る男であった」から？ 本場のアメリカに居たから？ 分からない！ 予備知識の無い人に理解させるには余りにも綺麗事過ぎる。 アメリカやヨーロッパは、極東より同性愛者への偏見も少なく、彼等の権利を擁護する制度も、それはそれは日本なんぞより遙かに整っている。 「日本人がホモセクシャルに対して大きな偏見を持っている」のも確かだが、日本人以上にホモセクシャルを毛嫌いし、排除しようとする危ない団体や宗教団体も欧米にある。 単純に述べれば、日本人の差別は、知らないモノへの反感と蔑視であり、欧米のそれは、隣人への知りすぎている上での嫌悪感で、簡単に《日本－同性愛者への差別が根強い》《欧米は同性愛者を全面的に受け入れて》いて『クリスは今でもその「パートナー」と幸せに暮ら

	している。』と作者の個人的に素晴らしい一夜位で言って良いものか？
橘 12/6 17:29	江國香織サンの『きらきらひかる』にもホモセクシュアルのカップルが登場しますよね(・・*) 誰を好きになるかは本人の自由なのに、「一般」から外れてしまうと叩かれるのは、 日本の中に根強く残ってますよね。きっとアメリカにも残っていますが… 『間違い』ではなくて『違い』なんですよね。 そういう区別のない『パートナー』って言う表現は、自分も好きです。 文章のテーマも、構造も、すごく上手いと思いました(^ ^*) ただ、作者サンが招待されたときのことを、もう少し詳しく書くと良かったかもしれません。 初めて「男」であることを知った場面の驚きや、 それが食事を進めて行くとともに落ち着いて行くような心情描写がある方がいいかもしれません(・・*)
tkm 12/9 14:2	物語としてしっかり読めました。「女」というテーマに対してこのアプローチという視点も秀逸。ただ一番最初のパートナーにいきなり「」が付いてたのでそこでタネがわかってしまいました。「」は種明かしまで付けない方が良かった。あと「同性同士のカップルを見ると～」の２行はいらなかったのでは。
いそしぎ 12/9 20:4	実際に女性を登場させずして、見事にテーマを描ききっているので、恐れ入りました。 とても読みやすかったです。
ken 12/11 9:59	皆さん、おほめの言葉、ご批判の言葉、いろいろとありがとうございました。この話は、私の４人の友人（いづれも男）について合作したものです。ですので、事実に基づいたフィクションです。しかし、４人のうち２人はホモセクシャルで、１人はしっかり今でもパートナーと暮らしています。そのパートナーが男というのは、彼の自宅に行ってしっかり知ったのですが。前々からホモセクシャルだろうという感じがあったのであまり驚きませんでした。本当に仲の良い友達という感じです。
daikonsalada 12/11 11:8	この文章を読んで、私も同性愛に対して偏見を持っていることに気づいた。 人を愛する自由は人間として最も基本な権利ですね。
Azalea 12/11 22:30	偏見といわれるかもしれないのですが、 やっぱり受け入れられないのです、こう書いてあっても。 これはとてもいい話ではあるのですが どこかで苦労はたくさんしていると思うのです。 コメントにも有りますが、排斥的な運動も世界中にあります。 実話を元にうまく描かれていると思うのですが 私としては納得がいかないのです。 偏見かもしれませんが、私のような人も説得させられるような （少なくとも、論理的な段階でもかまいません） 文章にしてほしかったです。
イッパイアッテナ 12/12 8:8	けっきょく、よくわからなかった。に一票。 たぶん、同姓のカップルという概念が理解できないからかなぁっと思います。（同性同士の「愛」って、友愛と恋愛の違いが明確になっているの？というのがいまいちわからっていないので。） ただ、小説全体の雰囲気は良かったなぁって思います。 （とくに、大学帰りに飲みにいくときに、了解をとるってあたりが。同姓と付き合っているパートナーからしたら、確かに作者と飲みにいくのは、異性とサシで飲みに行くようなものだから、許可を取るという配慮はいるかもねっと。）
354e14thave 12/13 1:15	これって実話ですか？そうじゃなかったらすごいと思います。 クリスはたまたま日本語が話せないんですね。私は2003年～2004年アメリカに住んでいたのですが、当時の主観的な印象では日本と何がしかの関係のある多くのアメリカ人は、高校の授業や大学で日本語をマイナーでとっている人が多かった感じがします。ちなみに偏見も入りますが、日本語をメジャーかマイナーでとっていたアメリカ人の多くは男性で、アニメがきっかけの人が多いように思えました。

ＴＯＰへ

ー内なるあなたとー

合計ポイント：21 Point
作者：ノエ
作者コメントを読む

ひざの上で小さくうずくまったあなたの寝息はわたしのよりも少し速く、
腕につたわるあなたの体温は陽だまりのように柔らかかった。
あなたがわたしの鼓動で目が覚めぬようにと息を凝らし、
伝わるあなたのぬくもりに私は眠りに誘われる。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
わがし 11/26 15:27	これすごくいい作品だと思うんです。ところが私の読解力のなさで、どう読んだらいいのかがわからんのです。もう2段落くらいあると、こんな私にでも何かがわかるのかもしれません。
サンダーバード 11/26 23:33	読む人によって、あなたとわたしが決まるという点が面白いです。
ken 11/27 14:49	雌の猫でしょうか？温かいものを感じました。
ピチョット 11/28 13:33	陽だまりで白い子猫（あるいはハムスター）をひざにのせ、やわらかい毛の手触りを感じながら内なる自己をみつめようとしているのでしょうか？ついつい眠りに誘われてしまいそうになるくらい癒されているあなたを想像しました。
ひぃ 11/29 0:35	一目見てなんだか「形」がきれいだなと思いました。でも確か中央ぞろえの機能はなかったはず…。レイアウトにこだわりを感じます。 文章が温かく、それが「形」によって広がっていく感じ。
ほろほろ 11/29 0:54	『あなた』は動物とは限らないのでしょうが、 ペットを飼ってらっしゃる読者さんにとっては たまらない作品なんじゃないでしょうか。 『ネコなどとの生活の幸せ』の一面を すごくうまく切り取っていると思います。 おしあわせに！
きゅうぴー 11/29 12:57	短くて、でも暖か感じがつたわって、いいですね。サンダーバードさんではないけれど、愛する人とこんな時間が持てるといいなぁ、と思いながらよみました。

めふめと２世 11/29 21:30	内なるってどういうことなんだろう？？？
hanson 11/29 21:36	はじめ女性が座って生まれて間もない子供を抱いている淡い情景が浮かびました。 ただ、引っかかるところが結構あって（形とか、タイトルとか）、コメントにも意味深なものもあり、実はもっと深いのかなという予感がしました。
ながちゃん 11/29 23:46	ポエムな作品ですねえ。 小春日和の縁側が目に浮かびます。 庭の木の枝には熟し過ぎた柿が１個寂しげに揺れ、 空を見上げれば、渡り鳥が『く』の字で飛んで行く… 空想が膨らみますなあ。
unknown 11/30 12:16	私は最初は母親が子供に膝枕をしている絵が浮かびました。 でも多くの人がおっしゃる、猫が浮かぶというのもすごく良くわかります。 様々な想像が膨らむ素敵な作品だと思いました。
めふめと２世 11/30 16:44	赤ちゃんなのかな、と少し考えてみました。 昨日みたとき、下の文に行くほどあなたがわたしの体に近くなってく（ひざ→腕→鼓動）気がしたんですよね。でも、最後のぬくもりでわからなかった。けど題名をヒントに、あなたが内側にまではいっちゃったとするなら、上手くいくなと思いました。 私の内側に入れるのは赤ちゃん。なのでこれは、下の文に行くほど赤ちゃんの時間がリバースするようにできているのではないか、そんな感じに読みました。全体が下すぼみなのも、それぞれが並列じゃないことを意識してるのでは？？？ 以上、完全に勘違いかもしれませんが、旨いです！
がらがらどん 11/30 17:18	「わたし」と「あなた」が誰(何)であれ、その間にある深い愛を感じます。とてもあたたかい作品ですね。 余談ですが、作品から情景を想像したら残念ながら母と愛犬が出てきました。
茜 11/30 22:58	いろんな感じ方があっていいなあ、と思いながら、皆さんのコメント見てました。 あたしは、「胎児」だと思いました。 胎児の寝息？とか、ちょっと不思議に思うこともあったのですが、でも、読むとやっぱりそんな風に感じるので、あたしにとっての正解はそれなのでしょう。 それぞれにとっての正解が見つかる、いい作品です。 レイアウトが他のブラウザで壊れてしまわないか気になるのですが、このくらいは大丈夫でしょうか？
parakeet 12/4 0:45	これは…猫ですか？ 「ひざの上で小さくうずくまったあなた」で猫かと思ったんですが、 うちにたまにくるノラ猫は寝ないので…。
紫雲 12/5 12:22	猫？子供？
Begonian 12/5 18:27	想像の翼を広げたくても、空が広すぎてどこへ向かって飛べばいいのかわかりません。 もう少し標となる言葉が欲しいです。
橘 12/6 18:53	きっと眠っているのは赤ちゃんですよね(・・*) テーマが「女」であること、「小さくうずくま」っていること、 「寝息が速い」（赤ちゃんの心拍数は成人に比べてかなり高い。理系的（苦笑））を考えると、 母親が膝の上に赤ん坊を寝かせている場面が自然でしょう。 ゆっくりとした時間のながれる、幸せなひとときが伝わってきます。
あゆむ 12/10 0:6	わたしのひざの上で彼はすやすやと眠っている。日が差し込み二人を照らす。 眠りによって夢と現実の境目があいまいになる。 内なるあなた。わたしの内にいるあなたなのか、それともあなたの内にいるあなたなのか。
す氏 12/10 3:23	テーマの「女」に直接関連した言葉ではなく、抽象的な「あなた」という表現を用いることで、全体の柔かい印象を引き立てており上手いと思います。 だんだんと短くすることで、眠りに誘われ意識が無くなっていく様子を表現している、と個人的に読ませていただきました。

あゆむ 12/10 9:38	この作品はノエさんでしたか。作風ちがうけど前回詩を書いてたの二人しかいないからなぁと思っていました。 もうちょっと書いてほしいとの意見がいろいろとありましたが、あたしはこれでいいと思います。読者によっていろいろと想像できるのがノエ詩のいいところですからね。コンテスト中には書かなかったけれど、あたしは世界に残されたのはもう二人(もしくは、一人)だけだったりするのかと思いました。だから、外の描写はないのかなと。 ところでこのレイアウトは何ですか？何か意味があるんかと思ってみたが意味はなさそう。ないなら敢えて逆三角形にする必要もないかなと。
ノエ 12/10 17:30	あゆむさん＞ 作者のコメントを書く前に「ノエさんでしたか」とは、前回の作品をわたしの名前とともに覚えていていただいたようで、非常にありがたく思いました。。 作者としてのコメントは、帰宅してからにしようと思います
あゆむ 12/14 21:9	たしかに横そろえで段々になってると違和感があるかもしれません。行ごとに文字数少なくして逆ピラミッドをわざと作ったのかと思ってましたが、文字数はたまたま少なくなっていったのでしょうか？ この作品は女性が語り手なので、むしろ女→中性のほうがいい気がします。今気づいたのだけど、最後だけわたしが私になってますね。何回か見てるのになんで気づかなかったんだろう。
ノエ 12/15 0:49	えぇ～とですねぇ。。 「作者コメント」にすこし書きましたが、わざと文字数を減らしていくようにしました。。 なので、最後の行だけ「わたし」は「私」なわけです。。 誰もそんなところに気が付かないと思ってたら・・・・ あゆむさん、スルドイ！！！ 母性は男でも理解できる感情であると思うので、「わたし」は男でもありだと勝手に思っています。。 なので、作者的には、「中性」→「中性」なわけです。。

ＴＯＰへ

サドルになりたい

合計ポイント：20 Point
作者：けっちゃん
作者コメントを読む

いつもの様に駅までの道を歩いていると、一人の女子高生が颯爽と隣を駆け抜けていく。制服の女の子に敏感に反応してしまうのは、やはり年のせいなのだろうか。そんなことを考えながらも、目ではしっかりとその後姿を追っている。

・・・あんなに丈の短いスカートでよく自転車に乗れるものだ・・・

風でスカートの後ろの部分がヒラヒラと踊っている。

スカートの後ろ？・・・

良く見ると彼女のスカートはお尻の下に敷かれていない。どうやら彼女はパンツで直にサドルに座っているようだ。なぜそんなことができるのだろうか。

その日以来自転車に乗っているスカートの女性を見ると、必ずお尻をチェックするようになった。すると実に多くの女性が直にパンツでサドルに座っていることが分かる。男の私からすれば、まったく想像できない世界である。いくら自分の自転車とはいえ、日々風雨に晒されているサドルに下着で座るなんて。風呂上りに下着一枚でプロ野球を見るのとは訳が違う。そこは紛れもなく外であり、下着で座る場所ではないはずなのに彼女たちは違和感を感じないのだろうか・・・。

皆さんはパンツで自転車に跨れますか？

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
わがし 11/26 14:51	へー、そうなんですかー。私は自転車に乗るときはジーンズなのでよくわかりませんが、たぶん「直パンツ」OKだと思います。寒いな、と思ったら、毛糸のパンツくらいはきますけど、うん、たぶん。

ピチョット 11/26 15:38	私もお尻冷えないか心配する派です。ただ今どきの女子は計算していると思います。ちゃんと「見せパン」はいてると思います。 下着の上に2枚履き？かな。とにかく「女」でこの作品というほうが・・・・？でも「サドルになりたい」というお題にあるように男性心理を素直に表しているのだと理解しました。
鳥 11/26 20:39	「サドルになりたい」ってタイトルがうまいなぁと思いました。 昔どこかの文章で「（楽器の）マウスピースになりたいと思ったことない?」なんてのを読んだことがありますが、 それを思い出してしまいました。
ノエ 11/26 22:30	最近の女の子、、、、「かわいい」と「エロい」の区別がついていないと思わせる場面が多いような気がします。。 芸がない芸人が「はだか」と「下ネタ」にはしるのに似ている気がする。。 ちょっと悲しい。。
貧保 耐三 11/26 22:45	スカートが短いから座ったら直パンになっちゃったのではないでしょうか？
大黒様 11/27 1:30	おもしろい！ 「どうやら彼女はパンツで直にサドルに座っているようだ。」 此の一文は爆笑でした。
輝 11/27 17:42	すなおに「くすっ」とできました。 着眼はやや「下」なのに、真面目に考察されているところがニクイです。
茜 11/27 21:55	貧保 耐三さんの説に一票。 膝上のスカートで乗ると、サドルとお尻に挟んでいてもずれてひらひらします。自然にそーなっちゃったのでしょうね。 スカートって、巻きつけてるだけで体をちゃんとカバーしてないので、それを履きなれてる女の子は、男性に比べると、下着が外界に触れることに対して違和感が少ないんじゃないかと思います。 ま、見られても困るので、特に短いスカートはスパッツ必須ですけど。 輝さんの言うように、かなり真面目に考察されていますよね。だから、着眼の割にいやらしい感じはしなかったです。 でも、ふと、読み終わって題名に戻って、あたしも「くすっ」てしてしまいました。
SAWAA 11/28 23:13	タイトルがバカだなぁと思いつつカワイさがありますね。 しかも本文の内容を的確に表せていて、読む気にもさせられます。
イッパイアッテナ 11/29 0:30	タイトルが、タイトルが、タイトルが… 文章の中身はまともなのに、「皆さんはパンツで自転車に跨れますか？」って、普通のことを言っているはずなのに、タイトルがすべてを…素晴らしくしてますね。 すごいいいコラムだと思います。(たぶん、僕は壮大な勘違いをしている気がしますが、あえて自分の中ではそのままに) ＞一人の女子高生が颯爽と隣を駆け抜けていく。 なっ、俺の前は走らせねぇ。っといつも意地になって追い抜いてしまうので、後ろ姿に着目したことはなかったです。 これからは、ぐっと我慢して、女子高生のスカートとサドルに注目してみようと思います。 ＞大黒柱さん 初め読んだときは、さらりと読み流していたのですが、あらためて言われると、笑いが止まらなくなってしまいました。
ほろほろ 11/29 1:12	わかるわかる、わかります！ これが、今ネットで使われている 『けしからん！』っていう言葉のエッセンスなのだと膝を打ちました。 『パンツで直にサドルとは、けしからん！』 でも、本音はタイトルの通りなんですよね。 沁みるわ〜。 僕も、パンツで直にサドルは、けしからんと思ってたんですよ！ ていうか、こんなコメントを書いている 僕の株はどんどん下がっているのではないか。 ほろさぽずリーダーとしてどうかと思う今日この頃。

イッパイアッテナ 11/30 4:34	今日、頑張って追い抜かないで観察してみました。 謎は解けた!?そうか、ストッキングか!? この寒い空の下、女性たちの肌を守るストッキングの意外な効果。 ナイロンは偉大なのです。 ＞追記 正直、AVは敵と言っておきながら、なんでこの作品にはこれだけノリノリなんだろうと、 自己矛盾に陥っている今日この頃。 ＞追記２ たぶん、生々しさがないからなんだろうなぁ。 たぶん、おバカだからなんだろうなぁ。 ＞追記３ これは、フィクションです。
AVの作者 11/30 15:40	AVの作者ですが、これを読んだとき作者さんは同じシチュエーション的な人種、いや僕以上で「やられた」とだと思いましたが。 同じだとするとわがしさんのコメントは作者さんにとってがっかりだったでしょうね。
かちかち 12/2 18:13	フツーのおじさんの感覚が的確に表現されていていいですね。いろいろと考察はしているものの、本音はタイトルに凝縮されているということですか。
紫雲 12/5 12:40	サドルに生まれ変わっても男性に買われちゃ仕方無いですね
でもどり 12/5 15:31	ご意見ごもっとも。タイトルも秀逸ですね。 作者さんの素直な気持ちと疑問が伝わってきました。 一番気持ちがシンクロしたのは、冒頭です（笑） しかも、今の時期の女子高生、寒そうですよね。 紫雲さんのコメントに笑わさせていただきました。
クリリン 12/5 22:29	スカートで自転車乗ってさらに立ちこぎしちゃう子もいますよね。 たくましいですよね。
Begonian 12/6 16:53	でもあれってやっぱり寒いから何かしらはいてるらしいですよ。 ところで世の中には透明なサドルもあるとかないとか。 まったく何に使うんでしょーねー？見当もつきません。
かぴばら 12/7 11:45	タイトルで引き付けて、中身は比較的まじめな考察という、非常にいいコラムだと思いました。
レロニラ 12/8 4:11	皆さんの意見とは逆に、私は内容とタイトルが非常にミスマッチだと感じました。内容は真面目に現代の若者に対する疑問や意見を表現しているのに対し、どう考えてもこのタイトルは（本文には無い）厭らしい発想からしか出てこないですよね。タイトルには賛同させて頂きますが、この内容に付ける事には賛成しかねます。
King　Power 12/9 1:33	僕はこのタイトル、良いと思いますよ。 中身とのギャップがありつつ、そのギャップに納得できると言うか、想像しやすいと言うか、って感じで。
tkm 12/9 13:54	僕も高校生の時に気になっていました。そして「あれはサドルを隠しているのだ」という理解に落ち着きました。そして女性からしてみれば風呂上がりに下着一枚でプロ野球を見るのも理解できないでしょう。
ロココ 12/9 15:26	あんな状態なのに、風邪でスカートがひるがえって丸見えっていう光景に出会ったことがない。ものすごい技ですよ。
いそしぎ 12/9 20:26	ちょっと危険な香りのタイトルに、あくまで冷静な語り口。 とても読みやすかったです。 敏感に反応してしまうのは、年のせいではなく若い証拠だと思います。

suburbanian 12/10 3:31	文章をまじめに読んでみると、タイトルの「サドルになりたい」理由をまじめに考えてしまいます。 普段外皮（ズボン、スカート等）によって保護されている（清潔でありそうな）ものに触れられる喜びか。 男性がパンツ一丁でまたがるサドルにもなりたいのか。 ・・・・・・ ん～
鳥 12/11 1:41	タイトルに「サドルになりたい」と書いておいて、 作者コメントで「私はサドルになりたいだなんて一度も思ったことはありません」だなんてひどいなぁw そういうことであれば、私の「マウスピースになりたいと思ったことない?」というコメントは、 誤読に分類されるべきなんでしょうねw それにしても「上の下着を(ry」とはものすごいぶっちゃけぶりですねwww
イッパイアッテナ 12/12 7:45	そうですねぇ。っと作者コメントを見てうなずいてしまいました。 やっぱ、女性はスカートが皺にならないように巻き込むべきですよね!?細かいところ、気にすべきですよね。 サドルよりもそっちのほうが、よほど男性的な心理ですよ、まったく。 っと、思っていたら、 ＞私は上のほうの下着を… 恐れ入りました。
ノエ 12/12 12:14	なるほど～と、現代の若者の考えにややびっくり（ってじじくさいけど）、わたしの世代だと、スカートで自転車ってありえなかったような記憶があります。。
354e14thave 12/13 1:18	共感します。サドルになりたいとは思いませんが、よく丸見せで自転車こげるよな、と時々気になります。好きか嫌いかは別としていつもつい凝視してしまいます。
鞦韆 12/13 20:10	座り皺って、スカートをしっかり巻き込んでその上に座ってもつくと思うんです。皺のつき方が違うだけで。むしろ、座り方を工夫すれば、巻き込まないで座った方が皺がつかない気すらします。別に比較実験をしたことがあるわけでもないので、単なる印象ですけれど。 ちなみに、ロングスカートで自転車に乗るのも、それはそれで大変ですよ。この文章の論点とは全然関係ありませんけれど。

ＴＯＰへ

妹よ

合計ポイント：15 Point
作者：かぴばら
作者コメントを読む

私の妹は、都内の「おしゃれな人が多そうなイメージ」の大学に通っている。
その例外にもれず、妹も格好には気を配っているようで、おしゃれに比較的無頓着な私に向かって「カーキ色のパンツを買ったほうがいいよ」など、わざわざご丁寧に服装の指導をしてくれる。
これだけならかわいいものだが、仕舞いには「うちの大学には、こんな服着てきてる人いないよ」とか言い出す始末。
しかし、どうしてもこれらの言葉を素直に受け取ることはできない。

私の知っている妹を紹介しよう。
家に帰ってくると、ただいまのあいさつもせずに自分の部屋に直行し、毎日お決まりの高校時代のジャージとパーカーに着替える。そして次は洗面所に10分ほどこもり、決して化粧をした顔を私や母に見せない。
しかも脱いだ服は部屋の中に脱ぎっぱなし。ハンガーというものを使わないらしい。

おかげで「おしゃれな妹」をほとんど見たことがないのである。
そしてもちろん、私に向かってこれらの指導をするとき、妹はいつもジャージ姿にノーメイクなわけで、いつも私は「あんたに言われたくないわ！」と言い返していたのである。

そんなある日のこと、私が１人で繁華街を歩いていると、人込みの中に見慣れた顔を見つけた。
妹だ。
しかも男と手なんか繋いで、仲むつまじそうに歩いている。
　（おいおい、あいつ彼氏いたのかよ…）
そして気取らない感じだが、きちんと着飾っている。
私は迷わず後をつけることにした。気づかれないように距離を保ちながら。

彼氏らしき人物は見たところ、感じのよさそうなやつだった。
それよりも、妹の楽しそうなこと楽しそうなこと。私は軽い嫉妬の気持ちを覚えた。
　（こうして見ると、あいつもなかなかいい女なのかもな）
そのときの姿は、あの「妹」ではなく、１人の「女性」だった。

　（…さて、今日はもう帰るか）
用事半ばにして、私は家路についた。

そして遅くに妹も帰宅し、いつものように部屋に直行して着替え、メイクを落とすのであった。

この日の出来事は、私と私のごく親しい友人の心の中に、堅くしまったままである。
妹の様子も何も変わらない。

ただ一つ変わったのは、私のクローゼットの中に、カーキ色のパンツが加わったことだろうか。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
Bloomoon 11/26 15:36	「ごく親しい友人」には言っちゃったのかよっ！ …というツッコミはさておき、 お兄さんと妹の物語ですよね？なかなか妹思いのお兄ちゃんだなぁと。でも、妹の彼氏さんに嫉妬しちゃうお兄さんって、実際にいらっしゃるんでしょうか
わがし 11/26 21:25	言っちゃったのかよっ！　と私もつっこもう。 だからこれきっと、腹違いの兄妹の話・・・（以下略
ken 11/27 14:48	女性は変身しますね。魔でしょうか。楽しく読みました。
ピチョット 11/28 10:53	お兄ちゃんのいない私はへぇ～という感覚でよみました。 「カーキ色のパンツを買ったほうがいいよ」・・・カーキ色のパンツが加わったことだろうか。で締めくくりになっていたので、「彼氏いるの？」とかいうさぐりの会話から妹とのやりとりとか聞いてみたい気がしました。
きゅうぴー 11/28 15:46	ほほえましい光景ですね。姉妹っていいですね。でも最後の三行の意味がすこし不明。何故堅くしまったままなの？それが大人の関係ということでしょうか。一人の「女性」にいい影響を受けて、あなたもすこし変化したということでしょうか。
鳥 11/28 19:9	あ、そっか。きゅうぴーさんのコメント読むまですっかりお兄ちゃんの視点で読んでました。 たしかにもしかしたらお姉ちゃんの視点かもしれませんよね。
ほろほろ 11/29 10:35	妹と女性との境界線にスポットを当てていただいた点、 面白かったです。 家族にとっては妹は女じゃないっていうのは、 妹にとってもそうなんじゃないかと感じました。 だからさっさとメイクを落としちゃう。 家族に対してメイク姿を見せるのは、たまらなく恥ずかしいものがあるんじゃないか、 と。
輝 11/30 12:40	とてもうまくまとめられているなあ、という印象です。 どこか破綻、というか意外性があってもよかったのかナ、とも思いましたが。 ところで。 タイトルを見て、 　いもおーーとよーーーーー　♪ と歌いそうになったのはわたしだけかしらん。 作者さんはこの歌をご存知だったのですよね？！
紫雲 11/30 16:11	何も変わらないはずだった。 このことは「私と私のごく親しい友人の心の中に、堅くしまったまま」のはずだったからである。 とか、思わせぶりなこと（私の文章では結構微妙ですが）を書いて終わらせたほうがこういうネタでは面白いのではないでしょうか。 美談で終わらせるのよりも、ポイントが稼げるかも・・・

Asagi 12/1 3:7	なんとなく、コメントを見ていると結末の部分に意見が集中しているような。 　わたしとしては、ピチョットさんがおっしゃったように、妹と「私」のちょっとした雑談とか入っているのが好きです。 　「ねー、彼氏いるの？」「んー」とか、ゆるい感じで。 　結びがあっさり終わりすぎている気がして、それが議論の原因だと感じました。 　そこまでの雰囲気が良かっただけに、なんとなく尻切れとんぼ。
茜 12/2 16:14	姉と思い込んで読んでました。別にどっちでも読めるんですが、兄と思って読んだ方が、あたしはしっくり来る気がします。 「妹も女なのか」と気付くのは、姉よりは兄っぽいです。ほろほろさんの言う「妹にとっても家族は男でない」というのも、語り手を兄にした方が表現できそうですしね。 もし作者さんがそのつもりなら、「兄」だってこと、明記してしまった方が良かったのかもしれません。 ・・・・・それならそれで、「嫉妬」ってどうなんだろうとも思うわけですが。 姉は弟に嫉妬なんてしませんが、兄って違うんでしょうか？
イッパイアッテナ 12/2 17:32	うちは弟しかいないのでわからないのですが、妹が大人になったって感じた瞬間って、こんな感じなんでしょうね。(弟だと無性に腹が立つだけですが。) まぁ、ごく親しい友人に言っちゃった気持はわかります(笑 兄貴、きっとショックだったんだろうなぁ。 ＞茜さん あれです。 父親が娘を手放したくない気持ちと似たようなものじゃないでしょうか。
あお 12/3 17:33	「私」が兄なのか姉なのかで文章の印象がかなり変わるように思うのですが。気になる。。
ハイパー・ワイハー 12/4 13:59	いや、普通に姉じゃね？ で、「ごく親しい友人」には言っちゃったのかよっ！ って、言ってみる。
でもどり 12/5 15:49	結局なカーキ色のパンツを買ってしまった、 強がりな「私」に女性らしさを感じてしまいました。 ・・・って、あれ？　「私」って兄？ 妹とファッションやメイクの話をしてるから、 てっきり「私」も女性かと・・・。
Begonian 12/5 21:34	「嫉妬」は、ただ単純に「私」が独り身だからでは？ 本文は、物足りない！ 妹のキャラクターを立たせるとか、会話を増やすとか、もっと魅力的できる余地は色々見つかります。 「私」の性別が明記しなかった意図はわかりませんが、個人的にはあまり好きじゃありません。 特別何か意味を持つというほどのことでもないわけですから。
みつきんぐ 12/6 16:30	（おいおい、あいつ彼氏いたのかよ…）や（こうして見ると、あいつもなかなかいい女なのかもな）で、勝手に「私」は兄かと思っていましたが、よく読返してみると、姉にも思えますね・・・
けろた 12/7 16:11	作者さんが、「姉」なのか「兄」なのか、そこが謎になってしまったところがかえっておもしろいです。私は「姉」だと思います。「姉」と仮定して読んでみると、「妹」なんだけど「女」としてのライバル意識のようなものを感じるのです。
bagi 12/8 14:51	姉と兄どっちなんでしょうね。 彼氏を感じのよさそうなやつって表現してるという部分を見ると兄なのかなと思うし、軽い嫉妬を感じているという部分を見ると姉なのかなと思ってしまいます。
pooh 12/8 21:27	ドラマを見ているようです。多くの家庭にはこのような妹がいそうですが、そのような妹らしさを文字でよく表現できてよかったです。もっと妹と仲良く、互いに補えば？

Julio 12/10 2:44	兄と思って読みました。姉ならば、洋服の指導だけじゃなくメイクについても最初に言及しているはず。ただ、どちらなのかを曖昧にして描くことで、読み手の環境に合わせて感情移入し易い効果があるのかもしれません。あと、自分にも妹が居るが、迷わず後は付けないですし、嫉妬も全く感じないです。なので、後半は少し違和感を感じました。
suburbanian 12/10 4:1	尾行をするには、相手の足を見て、歩幅を合わすこと。 そうすることで、人ごみでも見失わないし、自分の足音で気付かれることもない。 私の恩師の教えです。 カーキのパンツをはいてやってみてくださいね。
paco 12/10 5:54	身内の恋愛ネタってなんか気まずいですよね。 男性と違って女性なら妹に話してみてもいいような気がします。 実話なら。
橘 12/10 13:44	人には家の中と外の顔がありますよね。 姉が友達と電話で喋っているときの口調に少し驚いた記憶がありました。 二個上の姉ではなくて、女子大生でしたからね。 考えてみれば当たり前のことなんですけど、 上手く言い表せない心情が表現できていると思います。
daikonsalada 12/11 11:16	何故妹さんが家族の人に対して絶対ノーメイクなのかよくわからなかったが。文書を読んで、とても妹のことが好きだねという気持ちは伝わってきたよ。
イッパイアッテナ 12/12 7:51	＞私に妹がいる以外は全部フィクションです。 な、これ全部フィクションですか。 妹がいるという前提で、ここまで創作できる作者さんに脱帽。 ＞追記 感想をはじめ、「妹がいるということはフィクション」と読み間違えていたので、もっと作者さんにわくわくしてしまったのは、秘密秘密。

ＴＯＰへ

Yの悲劇

合計ポイント：14 Point
作者：kirie
作者コメントを読む

台所で一人、彼女は焦っていた。
「どうしよう、何か良い案は・・・」
そう呟いてため息をつく。と、彼女の脳裏にある考えが浮かんだ。
「そうだ、あれを作ろう！」
燃える瞳で、彼女は早速準備を始めた。

「・・・・・・何してんの？」
理沙は台所の惨状を見てそう言った。
甘ったるい酒とチョコレートの匂いはいいとして、それに混じるこの刺激臭は一体何なのだろうか？そして台所にいる妹の佳代は・・・全体的に煤けている。何故か洋服には所々焦げ跡があるし、黒いつややかな髪には、小麦粉か何かがはたかれたように付着していた。

「お姉ちゃん・・・」
ゆっくりと佳代が呟く。どこか放心した様子だ。
「ウイスキーボンボンの作り方って、知ってる？」
「ウイスキーボンボン？まあ、大まかなレシピなら・・・」
言いかけて納得する。明日は2月１４日、バレンタインデーだ。そしてこの惨状は、作り方を知らずにウイスキーボンボンに挑戦したしたゆえのことかと。ただし刺激臭の謎は残るが。

話を聞くと、佳代が明日チョコレートを渡す相手は山田君といって、成績優秀、スポーツ万能、容姿端麗。おまけにとても優しいらしい。となれば、大勢の女子が彼にチョコレートを渡すことは明白である。
だが、彼女には秘策があった。
「彼、物凄くお酒に弱いのよ」
去年の初詣で偶然会った時、境内で振る舞われていた甘酒を一緒に飲み、そのままぶっ倒れてしまったそうだ。
甘酒でダウンて。理沙は思わず突っ込みたくなったが、佳代は話を続けた。

要するにこういうことだ。放課後、二人っきりの状況を作ってチョコレートを渡し、彼にその場で食べさせる。そしてぶっ倒れたところを狙い、既成事実を作ってしまおうというのだ。
我が妹ながら何て馬鹿・・・もとい、無謀な作戦なのだろう。というか、ぶっちゃけ犯罪なのでは？
理沙は頭を抱えこんだ。

しかし、暴走した妹を敵に回したらどういうことになるか。
長年姉妹をやってきた理沙は、身をもって知っていた。少しでも計画の邪魔をすれば何日、いや何週間何ヶ月にも渡る彼女の復讐劇の餌食になってしまう。
理沙は頭の中の両天秤に、山田君と自分をかけた。そして悩んだ。

有望な若者の将来か、自分の安寧か。

ゴメンね、山田君。
即決だった。

作り方はわかった。材料も道具もある。そしてこの燃え盛る情熱があればやってやれないことはない。
理沙をアシスタントに据え、佳代は作業を再開した。
だがしかし。
「砂糖が無い・・・」
致命的であった。ウイスキーにどっぷり溶かし込まなければならない肝心の砂糖が無い。
だが、暴走した彼女の情熱はとどまるところを知らない。ここまできて諦めるなんて、彼女のプライドが許さない。
長時間の不慣れな料理で疲労困憊になっていた彼女にとって、もはやチョコレート作りは意地の作業になっていた。

「・・・ふっ！」
佳代はこの状況を鼻で笑い飛ばした。
同時に常識も飛んだ。

「お姉ちゃん、塩！！」
佳代の雄々しい声が響く。
その声に、「もう市販のチョコレートを渡すか、砂糖を買ってくればいいんじゃ・・・」と言い掛けた理沙は大人しく従った。

今の彼女に考えられるのは、味より何より完成を見ることだった。
というか、それ以外なかった。

山田君が悲鳴を上げるまで、もうしばらく時間が掛かる。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
わがし 11/26 15:15	妹というものをよく描けていると思います。お姉ちゃんも優しい。面白い。妹は、雄々しく叫んだりします。うん。
Bloomoon 11/26 15:49	私も、迷わず妹を助けると思います。 ってか、山田君の倒れるとこ見たいw
ノエ 11/26 18:57	読ませる文章ですね。。 厳しい目でみると、ちぐはぐな点に何箇所か気がつきました。 ・人称：最初は３人称だったのが、最後は１人称。 ・「そして悩んだ」とあるのに、「即決」 それと、ぶっ倒れた男を相手にどうやって既成事実を作るのだろう・・・・？ 想像すると・・・・「こわい」

茜 11/26 20:25	Bloomoonさんったら、何物騒なこと言ってるんですか。 って、ノエさんもそんなの想像しなくていいですからっ！！ ・・・・・それからわがしさんのなかの「妹」のイメージっていったい。 なんかもう山田君不憫ですね。 でもきっとめでたく結ばれると信じてます。 「ぶった押して介抱してやる」のかと思いきや、「既成事実作ってしまおう」という佳代ちゃんの暴走っぷりに拍手です。 ところで佳代ちゃん、なんとなく高校生っぽいなあ、と思ったのですが・・・・・高校生がウイスキー？ まあでも、そのくらい暴走してくれた方が楽しいですよね。
大黒様 11/27 1:41	山田くんが食べてどうなったかを読みたかったです。 女も男を酔わせてしまおうとか考えるんですね。。
インギリー 11/27 10:4	＞ノエさん わたしも「そして悩んだ」の次に「即決」ときたのが引っかかりました。
わがし 11/27 11:18	＞茜さん、 私は妹なのですが（次女といいたい）、これくらい暴走するでしょう。そしてそれに意を決してついていく姉。うん。いい姉妹だ。 妹のわけのわからなさ加減というのが、またいい。はっきりいって、山田君がどうなるかというのを、すでにもう何も考えてないのがいい。
イッパイアッテナ 11/27 20:32	タイトルを読んだとき、また大量の山〇たちが戦場に散っていく話だと思いました。 読み終わった後、なんで、山田くんしか散っていないのか非常に不思議に思いました。 とにもかくにも、女性って怖いな。っと僕のトラウマスイッチがonになりました。
茜 11/27 20:59	＞わがしさん あたしは長女で弟しかいないのであんまり妹ってどういうものなのか、イメージなかったんですが・・・・・そうですか。これは真実なんですか・・・・・（遠い目） あたしも、このむちゃくちゃな佳代ちゃん、好きです。 こんな妹がいると楽しそうですね。暴走の矛先があたしにさえ向かわなければ。
わがし 11/27 22:6	＞茜さん、 妹というのは、姉ちゃんの機嫌をそこなわないように、制御されているので大丈夫です、うん。 ・・・というか、姉ちゃんが無理してくれてんだと思う。たぶん。 すまん、姉よ。
ピチョット 11/28 16:35	昔うら若き頃、ウィスキーボンボンを作ったことを思い出しました。もちろん塩ではなく。 妹の暴走に姉としては手助けしてしまう心理は伝わりました。山田君の結末を知りたい衝動がわいてきました。
parakeet 11/28 22:31	お姉ちゃんひどいなぁ（笑） ある意味アシストしてるけど。 どうやって二人きりの状況を作るのかが気になります。
SAWAA 11/28 22:50	女の底力、ないし怖さ（？）がおもしろおかしく描かれていて、楽しく読めました。 タイトルがまた絶妙だと思います。 私も妹がいたらこんなやりとりをしてみたいです。
ながちゃん 11/29 0:24	怖えー怖えー姉妹だよお。 インリンと堀越のりみてえな奴らだあ（古いすかぁ？） 山田君、食べる前に金魚に与えてみな！ １分後に浮いてくるかもよ…
ほろほろ 11/29 2:1	わはははは、しょうがねえなあ。 とってもコミカルで面白かったです。 『塩』でオチというのが、良いですね。 さすがに『塩』はないわ、『塩』は。

ひぃ 12/2 17:13	最初のほうでインパクトを持っていた「刺激臭」が後半につながっていないのがちょっと残念。何かの伏線だったらもっとおもしろかったのに…。 「塩」から目的は「味」ではなくて「食べさせること」だという信念がありそう。 全体的なテンポはよくて読みやすかったと思います。 とりあえず、初詣の時に山田君が「無事」だったのかが気になる。
RIRI 12/4 17:11	妹は、山田君にアルコールを摂取させることを目的としているだけあって、チョコの形が出来てさえいれば構わない！というラストの強引さは良いですね。もはやウイスキーすら疑わしくなる。 山田君は悲鳴上げる暇も無いんじゃないかな。
茜 12/4 23:6	ＲＩＲＩさんのコメントを見て、思わず「メタノールは危ないからやめて」と思ったあたしっていったい。
Begonian 12/4 23:22	山田ぁーー！！ あれ、でも「Yの悲劇」って犯人が自分の仕掛けた毒で死ぬ話だった気が…… 佳代ぉーーー！！！
ロココ 12/9 15:15	こんな頼もしい妹がいたら楽しいだろうなぁ。是非とも山田君をゲットしてもらいたい！！
あゆむ 12/10 0:9	秘策を練らなければ迫れない彼女は、おそらくやさしい人なのだろう。作ってはみたものの渡せずおろおろしているか、もし、彼に食べさせるまで持っていっても、既成事実を作ることはできず、眠る彼の前でおろおろとしているだろう。姉も本当はそうなることを描きつつ手伝っている。あたしはそう思った。
鳥 12/10 0:37	佳代ちゃんものすごいぶっ飛びようですね。それがいいんだけどw ＞茜さん メタノールって……バクダン酒はさすがにいかんでしょうwww
Julio 12/10 2:11	姉に降り掛かっていたかもしれない復讐劇をもう少し描くことによって、普段の妹の暴走ぶりがより強調されていたのではないかと思いました。あと、人称が突然変わっているところも気になりました。あとは、テンポも良くて面白かったです。
まち 12/10 3:28	読みながら物語を想像して楽しむことのできる作品で、よかったです。 楽しんでしまっている私はそれでいいのかという疑問もあったりしますが。。。
す氏 12/10 3:55	ある程度の時間をかけて熟考するという印象を与える「悩んだ」という言葉を使って、人として悩まなければならない場面であることを表現し、その後に本来持ってこない「即決」という言葉が来ることで、妹の復讐のすさまじさが伝わり、これはこれで面白いと思います。 実際の妹は……、よく分かりません……。

ＴＯＰへ

メビウスの輪

合計ポイント：14 Point
作者：King　Power
作者コメントを読む

「スズカ！！あんた、またあご髭そり残してるって！！」「えっ！？ホントだ！！もぅ、どんだけーー！！」

「あんた、また胸でかくしたでしょ！？」「わかる！？こないだまた増やしちゃったんだ♪」

無理にはなにかけたかすれ声が響くこの場所は、舞台裏の控え室。
場所は、新宿二丁目。そう、ここにいるのは20人のニューハーフ達。
一時間後のショーに向け、皆、女（？）に磨きをかけるため、化粧にいそしんでいる。

そんな部屋の片隅で、今週店に入ったばかりのアミと、入って半年のエリカが話しを楽しんでいた。

「で、で、で、アミちゃんはなんでこの世界入ったんだっけ！？やっぱり昔から女の子になりたかったの！？」

「いや、そんな事無いんですよー。昔は普通に女の子とも付き合ってたんですけど、５年前にバイト先の渋い男の先輩に惚れちゃって。。」

アミは、説明を続けた。
その先輩には、美人の彼女がいた事。
先輩への気持ちを断ち切ろうと、何人か彼女を作ってみたが、諦めがつかなかった事。
先輩を得る為には、女になるしか無いと決心し、タイへ手術を受けにいった事。

そして、帰ってきた時、先輩の消息がつかめなくなっていた事。

「うわー、切ないね、それ。でもね、でもね、でもね、わたしもアミちゃんと同じ理由なんだよー。すっごいカッコいい男の子に恋しちゃって、思い切って手術したの。なんか、決心つかなくて、その男の子には、まだ会いには行ってないんだけど」

「そうなんですか！？お互いがんばらないとですね！！そういえば、、、エリカさんって本名なんていうんですか？」

「え、え、え、聞いちゃうの、それ？じゃあ、発表しちゃおうかな・・・織田真之介。」

（え！？先輩と同じ名前？？？あれ、あの泣きぼくろ、みたことあるような・・・）

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
Bloomoon 11/26 15:10	これで先輩のほれた男性が、現アミちゃんじゃなかったらまたまたフクザツですね……。 同じ言葉を繰り返すエリカさんと、ですます口調のアミちゃんの話し方がうまく書き分けられてて、台詞の多い文章でも分かりやすかったです。どちらもニューハーフっぽい台詞だしw
わがし 11/26 21:49	こここれはっ！！！！！　面白すぎる！！！ 一行目でやられました。うまい。
ken 11/27 16:42	面白いですね。ショートショートを読んでいるみたい。
みつきんぐ 11/28 12:34	面白かったです！上手い！！
ピチョット 11/28 14:26	面白かったです。 メビウスの輪ですねぇ。5年前は普通に男だった二人がお互いを好きで女になってめぐり合ったんですよね。これからアミが本名をいったらどうなるのでしょうか？
ほろほろ 11/29 10:48	ははははは！ タイトルが『メビウスの輪』ですから、 織田君はアミちゃんがきっかけなんでしょうね。 軽快な構成、良いと思います。 １行目がすばらしいですよね。 絶対にニューハーフ同士の会話だってわかりますもん。 『あご髭』と『どんだけーー！』で、 ああ、そういうことかと視点が定まっていく。 このつかみはすごい！
がらがらどん 11/30 15:32	どんだけーー。と言ってしまうくらい面白いです。 ２、３度読み返してしまいました。
イッパイアッテナ 12/2 16:34	えっ、えっ、えっ、えーーー ＞先輩の消息がつかめなくなっていた事。 あたりで、落ちが読めるんですけど。 ＞わたしもアミちゃんと同じ理由なんだよー。 あたりで、もう犯人はお前だ!?と確信できるんですけど。 正直、無駄に改行するほど、意外性のある落ちではないので、あまり面白いコメディではないと思うのですが。 (典型的なすれ違いギャグ。「賢者の贈物」を応用した古典的なお笑いですよ。) なんで、皆さんがバカ受けしているのかわからない。 っという否定的なコメントがあることも、コメディアンを目指す作者さんにはお伝えしなければいけないと思ったので、書いてみました。 エリカさんとアミちゃんの会話や、おかまバーの雰囲気はすごくでていたので、このレベルでとどまらず、もっと上のレベルの笑いを見せてもらえたらなぁっと期待しています。

イシルドゥア 12/2 20:9	僕もイッパイアッテナさん同様、コメディとしてはあまり面白くないと思っちゃった人かな。 こういうオカマバーみたいに引っ掛けられるところはついつい無駄に種明かしを焦らしちゃったりしますが、この設定が主題じゃないので、ほろほろさんの言うようにあっさり一行目でばらしたのはすっきり纏める上で英断だったと思います。 ただ、肝心の落ちがあまりに予測し易すぎて本当にあっさりと終わってしまった感がありました。 つかみもアミとエリカとの会話も面白かったので、あとはネタをもっと練ればいいものがつくれると思います。
Asagi 12/3 4:16	わかりきったオチなので、さっさと手の内を明かしてしまう思い切りがおもろしいです。 だからこそ文章力、構成力、演出力勝負になるのが難しいところ。 ラストをもうすこし緊張感あるところで終わらせたほうがいいと思いました。 あー！だめー！言っちゃだめー！と思わず叫んでしまうくらいの引き込みがほしかったです。 ・・・・それにしても、どんだけー。
あお 12/3 17:41	相当強引だけど上手くまとまってると思います。ばかばかしくて笑える。
紫雲 12/5 11:51	「どんだけー」っていう人はリアルオネエやゲイではないらしいです 実際2丁目では「どんだけー」とか言ってしまうと、ノンケが一発バレするとか (ソースは夕方のニュースワイド番組)
でもどり 12/5 16:57	ノリで最後までひっぱっていった印象ですね。 ですがそのノリ、笑えます。 「暴露→気づき」っていう落ちがうまい！
Begonian 12/5 18:38	先輩を得る為には、先輩を女にするしかないと決心し、嫌がる先輩をタイへ拉致して…… おっと、漏れてた。 あいや、面白かったですよ？普通に。 欲を言えば、もう少しドラマが欲しい、ってことですかね。
茜 12/5 19:32	うわあ……メビウスの輪かぁ……そっかあ…… 考えてみたらすっごい顛末ですよね。すれ違いって哀しい。 アミさんの説明の部分も、会話にしてしまってよかったかも、と思いました。ここで勢いをそがれてしまっている気がしたので。
てん 12/7 17:26	オチを頭で考える前に読み終えてしまう、スピード感がすごいですね。１分とかからない。 「織田真之介」の出所が気になります。
316L見習 12/7 22:11	さくっと読めて、落ちもすぐ分かるからこそ、裏切られることなく安心できる文章。ダラダラと状況説明をいれず、テンポのいい会話と効果的な行間のとりかたで一気に読み切らせる。いい手法だと思います。 面白いです（笑）
いそしぎ 12/9 20:11	絶妙なタイトル＆オチだったと思います。 ともすれば会話で全編進みそうなところを、「アミは説明を続けた」の以下四行で早送り。 スピード感のある展開がお見事でした。
paco 12/10 5:45	タイトルのセンスが好きです。 単純明快でいいと思います。

ＴＯＰへ

ないしょね　マミイ

合計ポイント：13 Point
作者：インギリー
作者コメントを読む

　母が倒れたと知ったのは、弟からの電話だった。バイトを終えてケータイを見ると、留守電に何か入っている。
「マミイが入院したから、すぐ帰って来て」

　そのまま電車に乗り二時間。病院に着くと母は集中治療室に入っていた。弟は、祖父、祖母と長いすに座っている。

　医師の話によると、母は予断を許さない状況で、この一日二日が山だという。脳の前頭葉に腫瘍があり、疲れがたまると悪さをするらしい。
「マミイ、マミイ…」
呼びかけても返事はない。弟もわたしも涙が止まらず、それまでの親不孝が悔やまれた。

　わたしたちの祈りが通じたのか、その後母の病状は快方へ向かった。入院して三日後には意識が戻り、だんだん起き上がれるようになり、歩いてトイレへ行けるようになった。そして、一般病棟に移った。父は、海外出張から帰り、祖父と祖母は家に戻っていった。

　結局、母は三週間入院ののち退院した。そして半年…。現在の母の生活は、毎日きちんと薬を飲むことと、規則正しい生活をすることが基本となっている。

　脳腫瘍は、定期的に検査をしているが、今のところ変わりなく薬が効いている。腫瘍とともに見つかった糖尿病の治療は、低カロリー、薄味の食事と毎日の散歩が必須だが、なんとか続いているようだ。

　以前はなんとも思わなかったことが、今は一つ一つ幸せなのだと感じる。当たり前のように出てくる温かい食事や気持ちの良いお風呂が、実は当たり前ではないのだ。わたしたち家族に、充実感あふれる以前と同じ生活が戻ってきた。

　でも、わたしは知っている。母の倒れた後、ある変化が生じたことを。

　身の回りに気を遣わなかった母が、一枚二枚とおしゃれな服を増やしていること。滅多に行かなかった美容院に、毎月行くようになったこと。そして母の手帳に、ある男性の写真がしのばせてあること。それが脳外科の担当医であること。

　結婚以来封印してきた女というものに、母は目覚めてしまったのだ。それがショックというわけではない。むしろ、わたしに干渉することが減って嬉しいくらいだ。父は、うすうす気がついているようだが、三途の川を渡りかけた伴侶が元気を取り戻したのが嬉しくて、何も言わない。

母は、倒れる前に比べてきれいになった。にこにこ笑う時間が増え、特に月に一度の外来予約日は、嬉しさで地に足がついていない。ひそかに診察室での彼の声を録音し、次の予約日まで何度も何度も聴いている。処方箋に書かれた医師のサインをコピーし、宝物が増えたと喜んでいる。

わたしがそれに気づかないふりをしているのは、ちらっと見た彼の写真が、とても素敵だったから。わたしだって、気を失って目覚めた時あんなハンサムが目の前に現れたら一目ぼれしちゃうと思うから。母の「女」の部分を見られて、とっても嬉しかったから。

マミイ、わたしが幼稚園の頃から外国と日本を行き来して大変だったでしょう。ずっとわたしたちの生活を支えてくれてありがとう。英語圏の生活であなたをマミイと呼んだのが帰国後も続いたのは、思い出がたくさん詰まった、その響きが大好きだから。

でもね、これからは自分の時間を大事に、女であることも大事に、自分の気持ちを大事に生きてほしい。そして、一人で歩いていけるようになったわたしを明るく送り出してほしい。

わたしはこれから家を離れ、遠い空の下で母の無事を祈るつもりだ。もう突然倒れることのないように。薬の飲み忘れがないように。今後の長い病との付き合いが、愛しの君とともに続くことを。

マミイ安心して。このこと誰にも言わないから。ずっと内緒にしておくから。ね。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
わがし 11/26 15:7	お母さんの恋バナがどうなるか、楽しみですなあ。最後から二段落目、ちょっとトーンが違う気がしますが、いかがでしょうか？？
ノエ 11/26 19:26	う～ん。語尾が変化することで、人格が定まらないような気がした。。（あ、わがしさんと同じ印象です） どちらかにあわせたほうがよかったかも。。 それと、家族が集中治療室に入るケースで、留守電というのは、ちょっと無理があるかなぁ。。
活 11/28 12:27	主題の「母の愛しの君の出現」が大分遅くて、 その前段の説明が、あまり母の心情につながっていないようで、 主題ボケ、してしまっている印象です。 １５００字程度のエッセイにしてはディテールを書きたいという意思が強く見られます。 ディテールのくっきりしている文章は美しいのですが、 もう少し一つ一つをくっきり書いたほうが、 きびきびした文になる気がしました。
ピチョット 11/28 16:46	わっかりやすい母だと思いました。死にかけた母は何をしても許されるという設定にもう少しひねりがあったほうが・・・。内緒といいながらお父さんも知ってるわけですよね。
ほろほろ 11/29 4:2	とってもほほえましい浮気、いいですねえ！ 『今後の長い病との付き合いが、愛しの君とともに続くことを。』 という描写は、今の旦那さん（主人公のお父さん）がさすがに浮かばれないと思いましたけれど。 野暮な指摘ですが、冒頭１行目 『母が倒れたと知ったのは、弟からの電話だった。』 これでは電話くんが主体になってしまいます。 『母が倒れたと知ったのは、弟のかけた電話からだった。』 が正しいと思います。

茜 11/30 22:51	マミイ。 素敵な響きだな、と思いました。この題名が好きです。なんだかとてもかわいらしくて、お母さんに似あってる感じです。 ただ、どうしても、「マミイ」という普段あまり使わない呼びかけが引っかかってしまいました。その理由は本文中に描かれているのですが、この説明がもう少し冒頭近くで出てきた方が、違和感なく読めたと思います。
Asagi 12/1 2:31	マミィ、っていう、ちょっと甘い響きが好きです。最初は違和感があったけれど、慣れると意外と作品の雰囲気にあっていていい感じ。 　時間軸をもう少し整理して、たとえばデートの用意に浮かれている母の姿を書き出しにして、病院の場面は回想シーンにするといったほうが、作品全体の統一感がでていいのではないでしょうか。 　最初の場面はあくまでその後につなげる導入部分ですから、あまり書き込みすぎると読み手にミスリードを起こす危険性があります。浮かれているシーンと病院のシーンの主従関係がはっきりしているので、それを意識したほうが、たぶん親切。
mu 12/2 13:45	マミイといいつつ、時々母がでてくるのがなんとも。 マミイという言葉で表したかったのは、作者の外国経験の話だけなのか、それともマザコン的な心境なのか。 彼の声を録音し、というお母さんも少しストーカーっぽいし、そんな母を見て見ぬ振りする息子も冷たいんじゃないかと思う。それ以前に一般病棟にうつるまで出張から帰ってこない父もどうなのという感じです。
イッパイアッテナ 12/4 17:18	マミィで、思わず吹いてしまってごめんなさい。 正直、この母親に感情移入できないなぁ。というか、こういう流れは断固拒否。母親である前に女って、違うと思うなぁ。 (こういう人は、夫が父親である前に男になって浮気しても平気で許してあげちゃうんだろうか。信じられん。) このこと誰にも言わないから。ずっと内緒にしておくから。ね。 が、最高に笑えました。(そう考えると、作者さんはブラックコメディを書きたかったのかもしれないんで、そういう意味で傑作な気がする。)
ひぃ 12/5 20:45	他の人が言うように少し文章中の「マミイ」に違和感ありですかね。 たぶんですけど、タイトルを考えたときに「マミイ」って音がよくはまったんで通したんじゃないのかなって気がしました。 内容については、どうやらダークな読みがあるようですが、そんな疑問も雰囲気に流されて無視したい気分。 ただ、これで作者の意図がそっちにあったらどうしよう…。
Azalea 12/5 22:28	いや、これはほほえましく見ていいのでしょうか。と、 ちょっと突っ込んでしまったんですけど・・・。 そんな問題でもないのですかね・・・。 あと、ほかの方のおっしゃるように、ちょっと微妙な構成でした。 文字数をうまく配分できればよかったと思いました。
ながちゃん 12/6 0:51	マミーが倒れてからの出来事を丁寧に追ってます。 構成もそれぞれにご意見は有るでしょうか、読みやすい作品です。 ただ、マミーの表面的な現象を追っているのは分かるのですが、いきなり病から回復して行動が一変することは有り得ない。 必ず伏線があって、その上で行動様式が変わるのは有り得ると思います。 『結婚以来封印してきた女というものに、母は目覚めてしまったのだ』 のは何故？その辺が虫食いだから、『担当医がハンサムだったから』というのは説得力薄いし強引に見えます。 夫と妻は何だかんだ言って子供には分からない絆があり、お互い何となく分かってしまうもんです。 話の流れから言うと、妻の一番の理解者はいい人過ぎる夫なんだ！と最後にしめると「分かってるヤン！」と成りましたがねえ… 病気に関して言えば、脳の腫瘍は一昔前なら死病ですよ！ 私が子供の頃、かれこれ３０年ばかり前、遊んで貰った近所のお姉ちゃんが脳腫瘍で死んでしまいました。 もし今なら、彼女は助かったかも知れません。

	昔に比べて医学の水準が上がったからと言って、爆弾を抱えたまま生活しているのに変わりは有りません。 だから《わたし》はもっと内面的に葛藤してもいい筈ですが、最初の方で泣いただけで後は淡々とし過ぎるのが気になります。 まさか、《わたし》は人生達観しちゃったのでしょうか？ あと突っ込むとすれば、わたしと父以外の家族とマミーとの関係が見えない処かな。というか影自体無い（苦笑）
鞦韆 12/7 16:54	『今後の長い病との付き合いが、愛しの君とともに続くことを。』ですか。 脳腫瘍が完治してしまったら、愛しの君との関係は終わり。病で死んでしまっても。 早死にせず、かといって完治もしない状況を望むなんて、複雑ですね。 脳腫瘍の治療費を捻出するために、いっそう仕事を頑張らなくてはいけない父が不憫で…。
てん 12/7 17:13	脳外科医のファンという程度だったら、父に隠す必要もない笑い話になりそうなところですが、どうやらその程度ではないようですね。 後半からは、「ね。」では済まされそうな印象を感じました。 勝手に展開を予想すると、 母と外科医加速→父限界・家族葛藤→母死亡→何がしかのエンディング 考えすぎな感は否めないですが、そう嗅ぎとった読者もいるということで。
ロココ 12/9 14:47	マミィも入院して、いろいろ考えたんでしょうね。私の人生は家族のものじゃない、私のものだって。ご飯つくって洗濯して掃除して家族の心配して、皿洗いして・・・毎日これの繰り返し。 女に戻ったマミィをみて、ちょっとホッとしました。そう、自分の時間を生きて！！って。
あゆむ 12/10 19:59	今回も夫ネタで来るのかと思ってましたが違いましたね。 作者コメントのはじめの方に実話と書いてあったので、昔話でもう内緒も時効なのかなとか思いましたが、なるほどそういうことですか。こういう打ち明け話を夫にしちゃうとこはさすがです。 個人的には日本人なのにママとかマミィとか言っている人たちはどうかと思います。
インギリー 12/11 7:19	>あゆむさん >今回も夫ネタで来るのかと思ってましたが違いましたね。 うーん、するどい突っ込み。まあ、今回は脇役っぽいけど実は主役だったりして…ね。 退院したばかりの頃は、夫は私が生きているというだけで信じられない思いだったようです。 ＞日本人なのにマミイというのはどうか… あゆむさんは、近い将来外国に住む予定がありますか。外国人と知り合って結婚するような環境にありますか。 親の都合で、あちこち渡り歩いた我が家の子どもたちは、自分のアイデンティティーにずっと悩んでいます。「私の故郷はどこなの？私は、どこの出身なの？私は何人なの？」って 国籍は日本だから、もちろん日本人なのです。（両親が違う国籍なら、もっと悩むと思います） 「日本人なのに…はおかしいんじゃないか。」と思う人は多いと思いますが、（新宿２丁目の話とか、「ベストフレンドのパートナー」の話とか）いろんな人生が認められつつある現代なのですから、ちょっと視野を広げて、うちの子供たちのような人生も認めて欲しいと思います。 親の我がままで…子どもたちには申し訳ないのですが。
あゆむ 12/11 18:7	そうですね、長い間外国にいるとそっちの文化が自分の中に入ってきちゃうかもしれないですね。 あたしが嫌いなのは外国にいったことない母親が自分のことママとか呼ばせてる人たちですね。西洋かぶれのほうがお洒落だと思われてるのが嫌なのですね。 う～ん、きっとあたしが古い人間なのです。

ＴＯＰへ

恋愛トラブルシューティング#153：彼女の機嫌の直し方

合計ポイント：12 Point
作者：わがし
作者コメントを読む

★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆
No.23215
恋愛トラブルシューティング#153：彼女の機嫌の直し方
★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆

はーい、お久しぶり！　ミナです☆

今回の講義テーマは、「彼女の機嫌の直し方」です。
これは男子にとって永遠のテーマ！？　なんじゃないかと思います。
ちょこっとだけ、Tipsをご披露。

☆Situation☆

どうも彼女の機嫌が悪い。理由を聞こうにも話してくれない感じ。

☆Goal☆

とりあえず機嫌を直してもらって、この不毛な時間を少しでも短くする。

☆★……★☆

☆Practice☆

1)「どうした？」

　　と言って彼女の目をじーっと見る

→彼女はぷいっと知らんぷりをして向こうを向くので・・・

2)「ん？　どうしたのー？」

　　1) を実行した後、様子を見てまだ直らないようなら、
　　こう声をかけて頭をなでなでする

→彼女はまだそっぽ向いてるけど、その瞳は涙でウルウル

3)「そっか、ゴメンゴメン、俺悪かったよな、ウン」

　　2) を実行した後、様子を見てまだ直らないようなら、

優しくこう言って、ふわっと抱きしめ、背中をよしよし
それがたとえ、電車の中であれ、学校であれ、どこであれ。
（注：会社内の場合は控えましょう。メールでフォローすべし。
「No.23211 社内恋愛の掟」#24-5を参照！
→配信希望の方はここをクリック！）

→彼女は完全に泣き顔になり、ゴメンゴメンと謝る（はず！）
不機嫌だった理由も、ぐすぐす鼻声でしゃべりだします☆

☆★……★☆

☆Today's Point☆

彼女の機嫌が悪いのに、どうして俺が謝らなきゃならないの！？　と思わないこと！

そうです、あなたは全く悪くありません。
しかし、今回の目標はただ一つ、「彼女の機嫌を直す」ことなんです。
そのためには、男たるもの、時には悪役にも徹しましょう。
わけわかんないけど、謝っとく。わけわかんないけど、抱っこしとく。←ここがポイントです。
女っていうのは、いきなり不機嫌になる生き物なんです。
朝着替えてたらストッキングが伝線した、とか、
マニキュアがどうもうまく塗れてない、とか
はたまた、一昨日した仕事のミスを、あなたに会ったとたん思い出した、とか。

あなたの前で不機嫌になるということは、
彼女はあなたに相当心を開いている、という証拠！
喜んでOK!

彼女の機嫌さえ直ってくれれば、あとはお好きに！
でも、彼女のご機嫌伺って、少しずつ少しずつ（笑）

では、今日の講義はここまで　(^_-)-☆

次回は、

恋愛トラブルシューティング#154：彼女が「両親に会って」という時！
配信は12/17の予定。

お楽しみに！！！

前回　恋愛トラブルシューティング#152：喧嘩の後の別れ際、はここをクリック

★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆
無断転載全然OK!
配信停止(T_T)はコチラへ
★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆//★☆

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
Bloomoon 11/26 16:6	「機嫌の直し方」の次は「両親に会って」って、 いきなりレベルUPしてません！？
ノエ 11/26 19:3	うんうん。面白い。。 でも、かなり男的妄想の世界。。 注意：単純に何でもいいから「彼氏を困らせる」など「怒るのが目的」の場合があるので、へんに機嫌をとらないほうがよい場合もあり。。
インギリー 11/27 9:17	「とりあえず機嫌を直してもらって…」がゴールなの？ 機嫌を「直してもらう」ってことは、あなたが何か悪いことをしたんだろうか。 「女っていうのは…」という書きかたも、内容も、まだまだ経験浅いなあって感じがします。
みつきんぐ 11/27 13:27	メールマガジンという発想が面白いと思いました。 全然思いつかなかったので。。。 でも、ノエさんが書かれているように、男的妄想の世界ですね＾＾； ＞わけわかんないけど、謝っとく。わけわかんないけど、抱っこしとく。 って・・・
parakeet 11/27 23:17	メールマガジンっていうか…。 普通に迷惑メールに見えたのは僕だけでしょうか？（作者さんごめんなさい） 下線でクリックできるように見せかけてるのは面白いですね～。
Eisen 11/28 6:34	導入部分のテンションは良いのですが、それが最後まで続いているかというとそうでもない。減速してしまっていて、ところどころ☆マークが浮いてしまっています。 　？とか！とか「っ」とか顔文字とかを使って、もっと「それっぽく」するともっと面白かったかと思います。 　なんて言うのは、この作品をちょっと気に入ってしまったから。メールっぽい雰囲気がよく出ていますし、とにかくアイディアが素晴らしいと思いました。ウェブコラムだからこそ、ですね。 　タイトルも面白いです。
ピチョット 11/28 11:44	内容はともかくメール形式の発想は楽しいと思いました。 内容はかなり軽い感じがしましたが、それは意図的なのでしょうか？
ほろほろ 11/29 0:43	ははははは！ 男性情報誌に載ってそうなネタをありがとうございました！ （でも、実はこれ、女性が書いたものなんじゃないかと思っています。 　男性情報誌は、もうちょっとエッチな事情に関わる話が多いんじゃないかしら？ 　「恋愛の駆け引きを楽しむ」というような発想はむしろ『anan』だと言えましょう） もし本当にこんなメルマガがあったら、 「これを書いている人はモテてるんだろうか！？」 って思うだろうなー。
バートルビー 11/29 13:16	「彼女の機嫌の直し方」が153回目に登場しているというのが気になります。前回が「喧嘩の後の別れ際」次回が「両親に会って」ということを踏まえると、多分この連載で「彼女の機嫌をどうやって直すか」というのは何度もでてくるテーマであるのでしょうか？

輝 11/30 12:36	こっまかいところまでよくできてますねえ。 、はここをクリック　とか。 すごいです。 「わけわかんないけど、謝っとく。抱っこしとく。」 いいではないですか～この男的妄想（byノエさん）の典型のようなべったべたな内容。 んで、マニュアル読者くんたち、そのまんま実行しちゃうぞ、なんて想像もふくらませてもらい、さらに笑えます。 経験浅いなあ、なんてご指摘もありましたが、そのベタなとこが作者さんの狙いなんでは？？ 迷惑メールに見えたParakeetさん、わかるわーーー わたしもこういうの来たら即、ゴミ箱送りといたしますよ。 でも、しつこいようですが、そこがこの作品の狙いなのではないかと。 　　って、作者さま、この講義内容、まさか「マジ」じゃないですよね？　　・・・ え、わたしの独り相撲・・・
紫雲 11/30 17:10	怒っている理由がただ構ってほしいだけだとしたら、機嫌を直すために悪戦苦闘した結果、goalではなく彼女のgaolに行くことになります。
インギリー 11/30 18:45	「ゴメンゴメンと謝る（はず！）」 ↑最後にこう書くんだったら、1番目2番目の答え方の最後にも（はず！）をつけるべきじゃないですか。
go19 12/1 18:36	意図して「安っぽい恋愛マニュアル風の文章」を書いてるのだとしたら、その味は出ていると感じました。 『彼女が「両親に会って」という時』が「トラブル」であるあたり、「安物マニュアルっぽさ」が出ていると感じました。 とりあえず go19 は、作者の方がこの文章の内容を、本気で実践すべきと考えてるわけではないと、読み取りました。
茜 12/2 1:11	それっぽさ、というのは、すごくよく出てると思うんです。 文章も読みやすかったです。恋愛マニュアルなんて「役に立たなさ」を笑うものだと思いますし。 そういう意味での完成度は非常に高いんですが、それゆえに、ただの迷惑メールといえば迷惑メールなんですよね。 これをネタとしてインパクトのあるものにするならば、きっともっとピンポイントな場面にしたりするといいんじゃないでしょうか。 「冷蔵庫のプリンを勝手に食べて怒らせてしまったとき」とか。（くらいしかぱっと思いつかないんですが、もうちょっと「それはないだろ」みたいな理由とかもってくると良いかも） でも、あくまでもリアルなメルマガを追求したのであれば、これは十分リアルでした。
mu 12/2 13:34	抱っこしておく、という動詞から、作者は男性だと仮定して（女の子ならぎゅっとするとか）ここまで、はっちゃけて書いた筆者はすごいと思いました。 困らせた時の相手のリアクションを観察するという行為は女の子なら誰しもやっていると思いますが、そのベタな解決策がうけます。実際にこんなことされたら鳥肌ものです。でも爆笑して機嫌なおるかも？？
けっちゃん 12/2 14:0	クリックしちゃいまいた。。。 完全なる作者さんの妄想ですが、いいんじゃないでしょうか。たぶん作者さん自身、こんなクサイことしたことないでしょう。いや、できないんじゃないんでしょうか。 メールマガジン風の体裁、すごいとおもいました。星とか結構時間かかりそうですよね。 もしかして日常的に配信してる？ な訳ないか。 ただ正直言うと、「parakeet」同様、迷惑メールっぽかったです。
vista 12/2 22:33	面白かったですw
あお 12/3 17:47	むしろ次回が気になる～

kunipi 12/3 21:22	メルマガのスタイルを選ぶ 作者さんのセンスに、まずは脱帽です。 この作品を 何回も読んでみて、浮かんだ映像は 「ムツゴロウさんが、 動物を手なずけるシーン」。 猛獣、なんですかね、女性は（笑）。 なでなでして、だっこした後に がぶっと噛まれないように 男性諸君、気をつけてねー♪
コーサク 12/3 23:7	遊び心のある発想と文章で楽しく読めました。 是非シリーズ化を！！
Asagi 12/4 0:35	わはは、一読しただけで大笑い。そっかー、「両親に会って」はトラブル扱いかー（笑） 　「わけわかんないけど、謝っとく。わけわかんないけど、抱っこしとく。」とか、なんかもう実感こもりすぎでほとんど悟りきっているところが笑いをとおりこして物悲しさを誘います。・・・・どれだけ苦労されてるんだろう、作者さん。 　機嫌をそこねた女の子はいつだって扱いにくいもの。でもそれをなだめるのはその子を選んだ男の役目、どうやって元通りにするかが腕の見せどころ。マニュアル頼りでは解決しません。だってマニュアルはあくまでマニュアルで、応用力だって試されるもの。 　世の中の男諸君、がんばれっ。
ノエ 12/5 12:22	多分、きっと、絶対にそうだ。。 本当にメルマガにしたら人気のメルマガになると思う。。 でも、参考にする人はいないだろうけど・・・・・。
Azalea 12/7 0:21	昔普通にメルマガを発行していた私として。 （通算で200号以上出しました。ニッチだったので、読者はすずめの涙でしたが） この手のものは、HTML形式じゃ受けないのでテキスト形式です。 ですので、ここをクリック、は駄目なんですね・・・。URL表記です。 細かいですが、まず気になりました。 あと、No.23215がなぞなのですが・・・。 どういうことなのでしょうか。登録者数2万超はありますが 配信数二万超はなかなか無いと思います。 ただ、リアルなメルマガ像はほぼ完璧（この方も配信経験がおありなのでしょうか） 頭をきちんとかいておいてあとはうやむやにするという、 「伸びる」書き方もしっかりと継承されていて これに相互紹介なんかがついていればもう完璧でした。 あと、皆様。 迷惑メールっぽいというのはまったくの偏見です。 メルマガは「とりたい人がとる」のが正常なスタイル。 迷惑メールの一部がメルマガの体裁のせいで、 そういう印象を受けたのではないでしょうか。 ・・・ということで、元配信者としてはちょっとみてていやでした
インギリー 12/7 8:17	私は現在メルマガを発行している立場です。 読者は40人足らずの細々としたものですから（最近遅れ気味なのは、この講座に夢中になってるから・・・というのは言い訳・・・です）身内受けするようなネタばっかりなのですが 続けると言うのは大変。 この作品のような軽い感じの内容なら、それだけ続くんでしょうね。
てん 12/7 15:53	面白いスタイルですね。 クリックしようとカーソルを移動させて、できるかいっ！と寸でのところでやめました。 迷惑メール説に同意です。 個人的には☆が並んでるだけで読む気が失せてしまう。

レロニラ 12/8 3:51	これ書いてる時、家族に見られなくて良かったですねー ハンパなテンションでは書けないのでは？ メルマガセンスは確かに脱帽。でも私も迷惑メール説に一票。 作者さんが本気でこうするべきだと思ってない事に期待したいです。
pooh 12/8 22:21	面白い。。 でも、終身適用のものであると思ってしまったら。。
作者 12/8 23:24	はーい、お久しぶり！　ミナです☆ ・・・すんません、これだけやりたかったです・・・☆
King　Power 12/9 1:29	このステップを踏むだけで解決できるなら、苦労しないんですけどね。。。
はつね 12/9 12:53	書き方の勝利だと思います。これは上手い！！ 女の恋愛は上書き保存、男の恋愛は名前をつけて保存というところでしょうか。 ところでこれでも機嫌が直らなかったらどうしたらよいのでしょうか。
tkm 12/9 13:38	メールマガジン(迷惑メール)形式を使ったところが独特。その点以外はコメントのしようが無いような。。。
ロココ 12/9 15:0	面白い！！次回がものすごく気になります。 「★」「☆」のマークがなんともウソ臭く見えてしまうのですが、それも作戦でしょうか。うまいなぁ。
いそしぎ 12/9 17:31	楽しく読ませていただきました。 媒体がウェブのときに、非常に有効なレイアウトですね。 これからも定期的な配信をよろしくお願いします。
ローズ 12/10 0:22	女を喜ばせることって意外に簡単なもんですね。幼稚な賛美語でも女は喜ぶんです。例え、嘘だということを知っていても．．．
ノエ 12/10 12:1	作者のコメントを読んで・・・ そっか、わがしさんでしたか・・・。 男的妄想がわかる女性は、多分、男にモテモテなんでしょうねぇ。。
わがし 12/10 13:24	＞ノエさん ＞モテモテ いえ、それが、全然モテません。 誰か彼氏くれーっ！
ノエ 12/10 20:28	わたしも一人身なので、誰か紹介してください。。（ぼそ）
わがし 12/11 9:48	＞ノエさん じゃあお互いよさげなのみつくろって 紹介しあうというのはどう？ 年齢とか他の条件なんかあります？ （ここだれもこないから大丈夫ですよ）
鳥 12/11 9:54	（ヲチ中）
ノエ 12/11 12:14	スノーボード好きな子がいいです（ぼそ）
わがし 12/11 12:17	ふむ、何才くらいがいい？ うち、22-28くらいまでいますよ。 誰ににてるのがいいの？

ＴＯＰへ

Women Only

合計ポイント：11 Point
作者：ピチョット
作者コメントを読む

　春さんは、朝夕の一定時間５両目が女性専用車両となる私鉄急行で通勤していた。
時々、おじさんが、その車輌に乗ってきたりすると
「ちょっと、女性専用車両よ」とおばさんに言われ、慌てて飛び出す様は笑える。
それが、イケメンだと誰もが知らん振りしているのはもっと笑える。

　僕は、春さんの手提げ袋にいる育成型万歩計。名前はこうちゃん。
これは初期設定でつけられた名前で、メタボ傾向の春さんが、今年の誕生日に夫から贈られたものである。

　都心への朝の通勤電車は混雑し、殺気立っている。
電車がホームに到着すると５両目停車位置に並んでいた女性達が席を確保する為に
身構える。ドアが開き、人が降りるのと同時に女性達がドッと車内になだれ込む。
さながらいす取りゲームだ。
座れた女性達は、満足げに化粧を始めたり、本を広げたり、早速自分の世界にひたる。
いす取りゲームの苦手な春さんは、おじさんとくっつく事のない点だけを満足することにして立っていた。

　ある日、春さんは、運よく座ることができた。
すぐに揺れの心地よさで寝てしまい、隣の若い女性によりかかってしまった。
するとその女性は、舌打ちして肘で押し返してきた。
春さんは、それ以来、座席の前ではなく、ドアの前のポール横に立つことにした。

　その日、春さんは、夕日でオレンジ色に染まった車内のいつもの場所に
立ったままで寝ていた。足が、コクッとおれた。
春さんは恥ずかしそうに立ち直って、僕のはいっている手提げ袋を網棚におき、
今度は両手でポールをもって、又こっくりこっくりし始めた。
下車駅が近づいてくる。僕は嫌な予感がした。「横浜～横浜～」
春さんはビクッと目を覚ました。でも僕の方をみていない。
扉が開いたと同時に改札へ走り出した。
「おい、おい、春さん！置いてけぼりかい。」

　僕は、網棚に置かれたまま終点についた。僕の隣にはブランドのバッグがいた。
その持ち主の女性は、僕のはいった手提げ袋も持って降りた。
「良かったぁ。届けてくれるんだ。」僕はほっとした。
いつもと違う歩調を感じた後、気づくと見慣れない部屋のソファーの上にいた。
ソファーには、猫の絵柄の手提げ袋、黒いカシミヤのマフラー、猫型の印鑑ケースが
散らばっていた。春さんは猫が好きらしい。

さっきまで一緒だった折りたたみ傘、印鑑、目薬は、スーパーのビニール袋に移されたようだ。
「このマフラー上等だわ。印鑑ケースもかわいいし、これっ、育成ゲームつき万歩計だぁ。貰っちゃおう。いらない物だけ袋に入れて、明日届けるかぁ。わざわざ届けるんだから、これくらいお礼に貰ってもいいよねぇ。」
彼女は品定めをして、満足げに微笑んだ。
彼女は、一人暮しらしく、テーブルにはスーパーの惣菜のパックが並んでいた。

　翌日は、土曜日だった。
昼近くに起きた彼女は、春さんの忘れ物の一部を駅へ届けた。
「これ、女性専用車両の網棚にのっかってましたぁ。」と差し出す。
駅員は、「ありがとうございました。お預かりします。」と受け取る。
彼女は良いことをした気分と、カシミヤのマフラーやかわいい小物をゲットして
得した気分になっていた。彼女の首には春さんのマフラーがまかれ、
僕はジーンズのベルトにぶら下がっていた。
僕は、春さんに会えないのが悲しかった。
嬉しそうに僕をみている彼女の目をみて「寂しい人なんだな」と思った。

　春は、電話で忘れた物が届いていることを知り、駅へ向かった。
駅員に「これです。」と渡されたものは、忘れた物の一部であった。
「忘れるのが悪い」と自分に言い聞かせながら、もやもやした気持ちで袋を受け取った。
春は、こうちゃんが戻ってこなかったことが心にひっかかり、「こうちゃん、ごめんね」と呟いた。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
Bloomoon 11/26 15:47	せーつーなーいーーーーーーーー！！ 別れたまま終わっちゃうのは悲しすぎます〜〜〜 読み終わった後、まさに春さんのように「もやもやした気持ち」になってしまいました（涙）
茜 11/26 20:39	とーどーけーてーーーーーーー！！ （ちょっと真似ちゃいました） ちゃんと届けてあげて下さいよ彼女ー。マフラー奪ってもいいからー。 こうちゃんが、「寂しい人なんだな」と思った理由はなんでしょう？ 人のもの奪うなんて「寂しい人」だって意味でしょうか？ 育成ゲームが欲しいなんてきっと「寂しい」からってことでしょうか？ このエピソードの中心がなんだったのか、よく分かりませんでした。 最初は、「女性専用車両の風景」だと思って、その次は「春さんの日常」かなと思ったのですが、最後は「こうちゃんの悲劇」。 あたしとしては、「イケメンだと誰もが知らん振りしているのはもっと笑える。」なんてくすっと笑えちゃう女性専用車両の風景についていろいろ話してもらえると、面白かったかな、と思うんですが。
わがし 11/26 21:14	なーんーてーこーとーーーーー！！ 淋しすぎる！　次作では、こうちゃんが、春さんのところに戻る話を期待します！！！ 確かに最後、こうちゃんの話になってしまいましたね。まあ、いいか。
インギリー 11/27 9:47	これが、どうして「女」というテーマなのか、よくわかりませんでした。 なんで女性専用列車でなければならないのかと思います。

みつきんぐ 11/27 16:38	読み終わったあとに、悲しい気持ちになってしまいました。 それにしても、こういう人はいそうですよね・・・ 是非とも春さんの元に戻って欲しい！
ほろほろ 11/29 2:17	こーわーいーーーーー！！ いやぁ、この事件が『Woman Only』っていう環境で起こったのは、 皮膚感覚としてヒリヒリと効いてきますね。 なんというか、 普通の車両よりも裏切られたという思いが強くなる気がします。
kunipi 11/29 20:15	どーろーぼーうーねーこーーーー！ 私は、春さんアイテムの「猫」が 気になります。 どんな伏線だろ？！わくわく。 それにしても、春さん 盗られたのが、ダンナさんじゃなくて よかったよ、ふう。
シマエナガ 11/30 13:58	ほんわかとした雰囲気の中に、かなり強烈な毒が秘められているように感じました。筆者は男性かな、と勝手に想像しています。女性には、不愉快に感ずる人がおられるかも知れません。 「こうちゃん」が拾い主の女性のベルトにぶら下がって春さんに再会する、という結末を想像してしまいましたが、安易すぎるでしょうか？
けっちゃん 12/2 13:20	てっきり女性専用車両で押し競饅頭にあう、こうちゃんの幸せな通勤生活の話になるのかと思ってしまいました。完全におっさんです。 どうしたら万歩計を主人公にした話をかけるのか。私には無い発想でちょっとうらやましいです。
プーギン 12/2 17:39	お話としてはほんわかして面白かったし、こうちゃんに感情移入してしまいますが、女というテーマで読むと複雑な気分になります。作者の方が何を「女」として書いているのか、と。
イシルドゥア 12/2 20:24	そーうーくーるーのーーーーーー！！ まさか、そんな方向に話が流れるなんて完全に予想外でした。ただ、いい意味で予想外ってわけでもなかった気が。茜さんの言うように、軸がぶれてるんですよね。僕も「女性専用車両」でのエピソードを期待しちゃったなぁ。 その日、春さんは、から始まる置き去りの話まではその方向だったから、「女性専用車両の風景」を書くつもりでエピソードに熱が入っちゃったのかな？ 立って寝て足がコクっとなったり、隣の人に寄りかかられたりする経験があるだけに、その辺は微笑ましく感じました。それにしても、肘で押し返すなんてなんと冷たい世の中だこと。
作者 12/3 13:53	みなさん、いろいろコメント書いてくださってありがとう！ただどうも物語だと読まれているようなので作者から一言！これは実話です。同じ女として見たくなかった一面をみせられたというそのときの作者のショックをこうちゃんに託しました。 ＞イシルドゥアさんへ 「女性専用車両の風景」を書くつもりでエピソードに熱が入っちゃったのかな？ のお答えになりますでしょうか？ ＞ほろほろさん 皮膚感覚としてヒリヒリと効いてきますね。 なんというか、 普通の車両よりも裏切られたという思いが強くなる気がします。 おっしゃるとおりです。

イッパイアッテナ 12/4 17:40	ざーけーるーなーーーーー！！ なんだろ、万歩計とかどうでもよく、女性にたいする嫌悪感が… 春さんとこうちゃんの悲しい別れの物語のはずなのに、そんなことより、女性に対する怒りが強くて強くて ＞「わざわざ届けるんだから、これくらいお礼に貰ってもいいよねぇ。」 いや、あんたのは窃盗だから。わざわざ家に持ち帰っている時点で有罪だから。 ……ちょっと、このオチは強すぎて作品そのものを壊しているような気がします。 ＞追記 駅とかの落し物の管理って杜撰ですよね。交番とかだと、拾った人の住所とか控えられるのに。
イッパイアッテナ 12/4 17:43	・・・すみません、実話でしたか。(作者コメ見落としていました。) 実話だったのかぁ....あぁ、余計やるせないや。 怖いですねぇ。女性専用車両には絶対乗りません。
紫雲 12/5 12:33	このタイトルって内容とはほとんど関係ないと思います
作者 12/5 13:7	紫雲さんへ 女性専用車両に「Women Only」とかいてあるので・・・関係はあると・・・
橘 12/6 19:23	「寂しい人なんだな」 この表現がとても上手いと思いました(・・*) 人が傷つくことをしても、それにはまるで気がつかずに、喜ぶことができる。 苦もなく物を手に入れることだけで、単純に喜ぶことができる。 この人は本当の幸せというものを知らずに生きていくんだな、という意味で、 「寂しい」という表現を使ったんだと思います。 細かいところを指摘させてもらいますと、最後の一文がもったいないかと…(・・;) 締めの文なので、「こうちゃんが戻ってこなかったことが心にひっかかり」とわざわざ説明せずに、 『駅の一室から出ると、ため息の後に春は呟いた。「こうちゃん、ごめんね」』 （これもまだまだ甘いですが…） のように、あえて春の内面を書かずにいた方が、後悔などの感情の余韻が残るように思えます(・・*)
茜 12/6 20:1	そっかあ、実話だったのですか。 で、表現したかったのはそのショック……でも、あたしは別にそんなにこの「彼女」に嫌悪感はなかったです。むしろあたしなら、自分が忘れたことのほうにショックを受けると思うので、てっきりそんな話かと…… 確かに、こんなことされたら嫌なのは分かるのですが、特に女だからっていう感覚が、あたしにはちょっと分かりません。言葉の上では、分かる気がするのですが。文章の問題より、あたしの感覚の問題なんだと思います。
ながちゃん 12/7 16:10	次回続編望む！
Azalea 12/8 1:26	う～ん、先に作者さんが実話であって、 伝えたいことも明かされてしまって・・・ コメントを見てしまったので読み方として 書きづらくなってしまったなあと思いました。 そのあたりは、作者コメントがあるので、 投票後に書いてほしかったなあと思いました。 なかなか難しいんですけどね、どこまで書くかとか。
インギリー 12/8 9:38	私もAzaleaさんに同感。 作者がここまで「ぶっちゃけ」てしまうと、想像の余地がないでしょ。 読んだ人たちが、ああでもないこうでもないと議論を交わすことが、この講座の面白いところなのに。 作者が書いていいのは、文字を間違えたくらいの最低限の修正じゃないでしょうか。。

ほろほろ 12/9 19:5	これはこの作品に限ったことではないですが、 僕も、Azaleaさん、インギリーさんに同意します。 作者さんのうずうずする気持ちもたいへんわかるのですが、 そこはぐっとこらえるようにしていただけると良いかと思います。 その分、コンテスト終了後では 作者コメント欄やここのコメント欄で存分に語ってください。
３匹ヤギの 12/10 1:23	なかなか深いですね。
あゆむ 12/10 20:4	置き忘れの一部だけが盗まれるなんてことあるんですか。 そういう人には会いたくないですね。 とりあえず、大事なものは網棚に置くなということですかねぇ。 あたしも置き忘れた経験ありますが、ちゃんと戻ってきました。 普通車両だったから？
ノエ 12/10 20:34	わたくし事ではありますが、旅行先の落し物で素敵な出会いをしたことがありますよ。。 リノのカジノで財布を拾って届けた数日後、自分が財布を落としてしまったときのこと。 拾った方が、家の前にある郵便受けに財布を拾った旨の張り紙をしていただき、その数件となりの日系の方が、持ち主（私）の名前を見て日本人、つまり旅行者だと云うことに気が付かれたみたいでリノ中のホテルに電話をかけて私を探していただいたことがあります。。 落し物が素敵な出会いとのきっかけだったらよかったのに・・・・
ノエ 12/10 20:35	あっ、今年の年末年始もリノへ行きます。。 コラムかけなかったらごめんなさい。。
kunipi 12/11 17:2	ピチョットさん ちわ。 ねこアイテムは、この作品の 隠れキャラです。。。。ニャーゴ。 それはさておき、この作品、のどに骨が ささったような気持になりますよね。 それが売りだと思います。 読みやすい作品よりも むしろ、後に魚の骨を残すような作品は 記憶に残ると思いますよー。 ニャーゴ。

ＴＯＰへ

漢字から読み解く「女」

合計ポイント：11 Point
作者：るらら
作者コメントを読む

女はそもそもどういう存在であったのでしょうか。

女性の社会進出、男女平等、働く女、女の時代・・・など、女の生き方の変革を謳う文句が飛び交う今日この頃。
でも、女自身はふっと、女としてのあり方に疑問を持つことがあります。

「女」を含む漢字には、その問いを考える上でのヒントが隠されています。あくまでヒントであって、正解ではありません。
ただ、漢字が発祥した古代中国から現代の日本まで、本質的には変わっていないと思われる、「女」に対する考え方を探ることが出来ると思います。

それでは以下に、「女」を含む漢字のなかで、私が面白いと思った例をあげます。

・委（ゆだね・る）
この字は、「禾（まがってたれたいね）」+「女」で、「しなやかに力なくたれる女」のさまを示しています。したがって、女は無理をせず男に任せる、つまり「委ねる」のが「女」という認識として解釈できます。男の手を借りずにがんばってしまう女性が増えている今日この頃ですが、女自身はそれが自立心ゆえの選択であっても、実は男性から見るとかわいく見えないこともあるということでしょうか・・・。

・媚（こ・びる）
この字は、「女」+音符の「眉」（細く美しいまゆ）から、こまやかな女性のしぐさのことを示しています。つまり、女性が自らをなまめかしく美しく装うことは、「媚びる」こととされていた、ということになります。飾りすぎる女は、男に媚びていると思われるということでしょうか、なんとなく分かる気もしますが、飾りすぎには要注意ということでしょうかね。

・安（やす・らぐ）
こちらは有名な例ですが、この字は会意文字で、「うかんむり（やね）」+「女」であることから、女性を家の中に落ち着かせたさまを示します。つまりは、奥さんは家にいるのがおだやかで落ち着く、ということです。働く女が急増する現代でも、男性はやっぱりこのように思うものなのでしょうか？

・嬌（きょう・たり）
喬（きょう）は、高の字の先端がなよなよと曲がった形で、曲線状にしなる意を含みます。嬌は「女」+音符の「喬」で、女がしなやかにからだをくねらせるさまを示しています。「嬌タリ」は、「なまめかしい。からだをくねらせて、こびを含むさま。なよなよとしてかわいらしい。」の意味であることから、女がからだをくねらせることは、かわいらしいということらしいです。
これとほぼ同じ意味で、「妖」がありますが、夭(ヨウ)は、細く体を曲げた姿のことであり、妖は「女」+音符

の「夭」で、「なまめかしくからだをくねらせた女の姿」を示すそうです。
女は、からだをくねらせるのがかわいらしく、妖しげということらしいです。女性の踊りが素敵に思われることとも通じますね。いわゆる“ぶりっこ”も正当な手段だったのだと、はっとさせられます。女としては“ぶりっこ”とまではいかずとも、やわらかいゆったりとした物腰を心がけるべきなのでしょう。

以上、わずかですが「女」を含む漢字の例でした。

予想するに、漢字の多くは古代中国において男性たちによって形成されたでしょうから、漢字から浮かび上がる「女」に対する考え方の多くは、男性目線のものでしょう。

もちろん女性には、女性自身の女性に対する考え方があります。それでも、女性を客観的に見てきたのは男性であり、その客観的な認識が慣習化することで、女性たち自身がそれらを内面化していった部分もあると思います。女性が自らの女性としてのあり方を考える際のヒントにはなりえるのではないでしょうか。

女性自身も、また女性の本質に興味のある男性も、「女」を含む漢字に出会ったときにその語源を調べてみたら何か発見があるかもしれません。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
活 11/26 18:8	前の防衛大臣は 「嫉妬を男ヘンにしてほしい。」と、 防衛省内部の人事模様を評して言っていました。 男ヘンのほうがしっくりする言葉、他にもありますよね。
わがし 11/26 21:52	ほう、なるほど。婚姻なんて、女が二つもはいっとるしねえ。嫁なんてそのままだわなあ。 そうか、男の人が考えたんだ・・・。
サンダーバード 11/26 23:44	女性に対する男性視点を漢字を使って表現しているところが面白いと思います。
みつきんぐ 11/27 13:46	興味深く読ませていただきました！ うーん、面白いです。
ながちゃん 11/27 17:18	面白いです。 お仕着せの解釈ではなく、作者の感性のフィルターを通して再構成されている。そこはかとなく漂う皮肉も効いてます。 「 奴」とか「姦」の解釈も機会があったら聞きたいです。
ピチョット 11/28 11:34	漢字による女を考える試みは面白いと思います。読者にそのおもしろさを提言しているところはいいと思いました。
ほろほろ 11/29 1:2	中身は面白かったのですが、 はじめに漢字の成り立ちを探ることで 『漢字が発祥した古代中国から現代の日本まで、 本質的には変わっていないと思われる、 「女」に対する考え方を探ることが出来る』 という理論展開はちょっと無理がありますよね。 現代の日本人は漢字を使うことはできても その成り立ちをいじることはできないわけですから。 作者さんも 『漢字の多くは古代中国において男性たちによって形成された』と 指摘しているとおり、 現代の日本においては、その感覚は相当変容していると思うのですが・・・・・・。 話の中身は面白いので、 読者さんをリードする部分を話の本筋に対応させると良いと思いました。

sum1 12/1 21:8	＞ほろほろさん 確かに、漢字の成り立ちと使われ方を一対一に対応させて、 「本質的には変わっていないと思われる、」といきなり結論づけている点は気になりますが、 著者の意図はむしろ、古来から伝わる漢字の「つくり」を現代ではどう解釈しているか、 という視点から考えることにあるのではないでしょうか？ ここで紹介されている漢字の成り立ちは、 あくまで「現代」において言われていることであって、 （辞書か何かを引っ張ってきたのですよね？＞作者さま） 実際にどのようなステップを経て形成されたかなんて、 タイムマシンでもない限り我々には知る術がない訳ですから・・・。
ほろほろ 12/2 17:36	＞sum1さん そうですね、 その漢字の成り立ちを推察することというよりは、 漢字のつくりから連想をする、という事ですね。 表意文字らしい面白い遊びですよね。
かちかち 12/2 19:20	とても面白い考察ですね。ところでジェンダー差別をなくすという運動の中で英語のchairmanがchairpersonと言い換えられたりしていますが、漢字でも女片を人片（イ）に置き換えようと運動している女性達がいるとのこと。皆さんどう思います。私には、中国文化圏の農耕民族の国が男性優位の社会であったとは思えないのですが。例えば、中国南部の少数民族のトンパ文字も象形文字ですが、女の方が大きくて男の方が小さいということで女性優位です。日本でも「お上さん」といいますしね。
イシルドゥア 12/2 20:50	漢字と言う大昔に作られたものからアプローチすること自体は漢字が表意文字であることからも良く見ることではありますが、作者のアプローチの仕方は結構面白かったと思います。 　ただ、どうせなら「安らぐ」のところで書いているような、現代言われるようなこととの比較をもっとやればもっと良かったんじゃないかなあとか。 ＞カチカチさん 　chairmanとか、policeman等のもはや定着してしまったような言葉に難癖つけるのはナンセンスな感じがする人としては、漢字を変えようというのもナンセンスだなぁと思いますね。馴染みすぎて使う側ももはや言われるまで意識してないようなことでしょうに。 　ただ、中国は男性優位だったと思いますよ。かなり後世の話ではありますが、纏足とか女性優位の社会で生じるような習慣とは到底思えません。
vista 12/2 22:31	やっぱり漢字を作った時の時代背景がみてとれますね。 漢字の意味を考えるのも面白いなと思いました。
茜 12/3 21:25	とても面白い着眼点だったと思います。 ただ、この着眼点、もっともっといじれそうな可能性を持ってるんですよね。 今はまだ、漢字の意味を比較的素直にもってきてますが、たとえば活さんのコメントに、某大臣の言葉が載ってますが、「嬲るの男と女を逆にすると・・・」とか、いろいろ遊べるんじゃないかな、と思いました。 ＞かちかちさん 漢字の成り立ちが男性優位でも、まったく問題ないと思います。 だからこそのこのコラムでしょう？あたしは素直に楽しめましたよ。なるほど、確かに作った人の目線なんだなあ、って。
イッパイアッテナ 12/4 17:5	昔から気になっていたのが、「姓」という漢字。 基本的に父親の「姓」を受け継ぐのに女性の字が用いられているのが引っかかっていました。 もしかしたら、男性の無意識な母親(＝女性)への感謝のしるしなのかもしれません。(まぁ、男生　って字は書きづらいし、気持ち悪いのですがね。) ＞合成漢字 男疾　男石(しっと) ……よく考えた見たら、嫉妬ってすごく男らしくないとされる行為なので、しっくりこないぞ。 女男女(なぶる) … なんだ、このハーレm(ry　いや、やっぱ修羅場だ。 男女男 … こいつら最低だ。 男男女 … 真ん中の男がかわいそすぎる。 男男男 … これが真実な気がする。 女女女 … かしましい!?

	＞追記 漢字の多くが男に形成されたっていうのは、漢字が統一された秦までの時代、女性が文字を書けなかった(＝そういう職に就けなかった。)っていうのが大きいと思います。 一方で、ひらがなやカタカナって女性の文字と言われていて、それゆえか、少し前までのギャル語とかは、基本的に漢字は使われてませんよね。(ちょっと、これは言い過ぎ？) ってな感じのことがふと読んでいて思い浮かびました。
pooh 12/4 18:59	「安」の字がこのような解釈はあんまり思ったことないです。 うん、面白いです。 漢字の世界が面白いです。
けろた 12/5 12:44	例にあげた「女」を含む漢字の数と、作者さんの見解などとのバランスがとてもよいかんじで、すーっと読み切りました。
Begonian 12/5 21:7	なるほど、面白い。 唯一、説得力がそれに負けてしまうという裏目が出てしまっているのが残念なところ。 全体的に完成度の高い作品だと思います。
Azalea 12/5 21:44	観点はとても面白く、一瞬思いつくところを 丁寧に仕上げていらっしゃるとてもよい作品だと思います。 とても面白く読ませていただきました。 もっと完成度を上げるには、例に挙げる漢字の並びで お話しを作っていけるとよかったのかもしれません。 今のままだと一つ一つが別々にたっているので つながるように例を並べていただくと、もっと読み物として 完成度は上がったかなあと。 私としては、別に漢字を創作するなどすると 説得力も下がりますし、こじつけくさくなりがちで うまく行かないかな後も思うのですが、どうでしょうか？
クリリン 12/5 22:19	面白かったです。 海援隊が聴きたくなりました。
316L見習 12/7 17:50	興味深いコラムでした。女や男に限らず漢字の語源を探ってみたくなります。 世代ごとで変化してきているであろう「男」「女」を含む一般的な漢字の解釈を、年齢別で見てみたいと思いました。言葉は、変わらない部分があり、同時に変化し続けるものでもあるのだなと改めて思いました。
桜子 12/9 14:0	女の本質、エピソードというより、その文字に焦点を当てているという見方が大変おもしろいと思いました。女を使用した言葉っていろいろあるんですね。漢字の成り立ちは、随分年を遡ると思いますが、現代のその言葉が示す意味と、漢字が作られた時の意味にギャップがるのが面白いとおもいました。
いそしぎ 12/9 19:56	とても面白い内容であり、結論も非常にスマートだと思います。 漢字があくまで男性目線であることを認めつつも、 女性に対するその客観的認識の影響を主張する部分が、 うまい言い回しだと感じました。
星イッテツ 12/9 22:31	面白かったです。 無意識に使ってた漢字にハッとしました。
あゆむ 12/10 0:7	女性としてどうあるかより、私としてどうあるかのほうがずっと重要なことじゃないのかしら。
ローズ 12/10 0:38	勉強になりました。 ちなみに、女子は好きになりますね。
まち 12/10 3:50	細かなことなのですが、 「・・・それでも、女性を客観的に見てきたのは男性であり、その客観的な認識が慣習化することで、・・・」 ここで「客観的」という言葉を使ってしまうと、男性による見方は普遍性をもっていたと承認してしまっているように思うのですが、どうなのでしょうか。 文章が意図しようとしていることはわかるのですが、別の言い回しが今ちょっと思いつかないので、指摘するだけで終わってしまいます。すみません。

ＴＯＰへ

まだ見ぬ娘

合計ポイント：10 Point
作者：go19
作者コメントを読む

結婚するとき、妻と「子供は三人くらい」とか、「できれば男の子と女の子の両方」とか話していた。
いま、幸いにして我が家では、妻と私と、その二人の子供が楽しく暮らしている。子供は二人とも男の子で、まだ幼児だ。二人ともとてもかわいい。さらに最近は、兄の方はだんだんカッコ良くも、賢くもなってきていて、親ばかの妻と私を喜ばせてくれている。

妻とは、子供の将来についてもいろんな話をする。子供がどんなことに興味を持つだろうかとか、親子でどんな楽しいことができるかといった話が多い。たまには、子供が将来どんな職業を選ぶだろうかという話までする。幼児のわが子を前に、親ばかな妄想は尽きない。

親ばか妄想は、まだ居ない娘にまで及ぶ。
妻は、娘と一緒に買い物がしたいそうだ。娘と母で洋服や靴や小物などを、おしゃべりしながら買い物したいと妻は話す。この妄想は「娘限定」で、息子と買い物ではダメなのだそうだ。他にも、子供と母で一緒にお菓子作りや、料理とかもしたいそうだが、これらは息子とでもかまわないとのことだ。
私は娘とデートがしたい。この妄想は当然に「娘限定」だ。平日の夜に待ち合わせして食事したり、休日に二人で水族館に行ったり、買い物もたまには良いだろう。

もちろん、息子の将来については、もっとはるかにたくさんの妄想話が、妻と私の間で湧いて出る。今のところ「娘限定」の妄想話は前述の物ぐらいだ。「息子限定」の妄想もいくつかあり、その中には妻による「息子とのデート」も、当然に含まれている。しかし、親ばか妄想の大半は男の子でも女の子でも、どちらでもかまわない物だ。

「娘限定」の親ばか妄想がわずかとはいえ、妻と私は実現する気満々だ。今は、三人目の子供を授かることを、二人で祈っている。
もし三人目の子供を授かることがあり、その子が男の子だった場合は、四人目の子供を授かることを祈る予定だ。さらに、もし四人目の子供を授かることがあり、その子が男の子だった場合は、五人目の子供を…（以下九人目まで続くが省略）

どうやら、我が家は（いろんな意味で）幸せな家庭のようだ。

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
ノエ 11/26 22:21	まぁ、生まれてしまえばどちらでもかわいいのでしょうが・・・
みつきんぐ 11/27 16:51	なんかいいですね、こういうの。 ほんわかしてしまいました。
インギリー 11/28 8:46	小学生の時、同級生で5人兄弟の長男という子がいました。 女の子が欲しかったようですが、結局あきらめたみたいです。 うちの近所に、6人姉妹の家がありました。 男の子が欲しかったけど、結局女の子ばかりでした。 我が家は、私が2人姉妹の長女で、私の母が4人姉妹の長女なので、もう男の子は生まれないんだと周りも思っていたのですが（実際、一人目は娘だったし）、どういうわけか二人目が生まれてみたら男でした。 父は、夢のようだと喜び、実家近くの山で花火をあげました。 生まれてしまえばどっちでもかわいいんですけど、待望の女の子だったら、それ以上に嬉しいんでしょうね。 幸せが伝わってくる文章でした。
ピチョット 11/28 16:50	幸せの家庭での会話が聞こえたようでした。 ほのぼのしました。
ほろほろ 11/29 4:20	幸せ語り、ごちそうさまでした。 末長くお幸せに！ 欲を言えば、もう少し 「子どもを持たない人にはわからない、 　親ばかっぷり」 というのがあると、より楽しめたと思います。 そういうトピックが、きっとあると思うんですよね〜。
ひぃ 11/30 21:1	＞親ばか妄想の大半は男の子でも女の子でも、どちらでもかまわない物だ この言葉に包容力のある温かさを感じました。 「娘限定」の親ばか妄想は生まれてきたらきっとまた増えるんでしょうね。
茜 12/2 17:6	なんというか、他人の家の家族計画って、聞いてしまうとどーしようもない部分があるような気がします。微妙に生々しいというか。ご夫婦のプライバシーですから、もうどうぞご自由に、としか言えない部分はあるわけですが。 子供への妄想は尽きないのでしょうね。その一つ一つがとてもあたたかい期待なので、読んでいてあたたかくなります。 「重たい期待」ではなく「あたたかい期待」ってのが、きっとポイントですね。 その尽きない妄想を、もっとどとーの如く並べていただいても良かったかもしれません。 その方が、「ああ、ほんとにいくらでも出て来るんだぁ」と、実感できたかも。
プーギン 12/2 17:8	親の気持ちをとてもよく表していると思います。 まだ子どもが小さいのでそういうこともないのかもしれませんが、こんなに親が思っているのに、憎たらしい！　というエピソードも、あると面白いと思いました。

Asagi 12/2 23:8	ほのぼのした話で、いいですねー。よし、ちょっといじわるを言っちゃおう。 男の子の将来についての妄想もしてるんだよ、というフォローを、わざわざ本文のなかでする必要はなかったように思いました。 まだ見ぬ娘に対する妄想爆発の親ばかっぷりを楽しんでいるところで、「男の子でも女の子でも、どちらでもかまわない」と言われてしまったので、あれ？と。 その部分だけ、「娘に対する妄想」ではなく、「子供に対する妄想」になってしまっている。だから、ちょっと水をさされてしまった気がしたんです。娘さんがほしいんじゃないの？と。 だから、あんなことしたいなーこんなことしたいなーという親ばか妄想を、次から次に膨らませては挙げていくだけで押し切ってしまったほうが、テンポは良かった気がします。「まだ見ぬ娘への妄想は尽きない。」と。ご夫婦の妄想話みたいに。 もちろん、あまりに娘一辺倒な話では、もしも男の子が生まれたらどうなっちゃうんだろう？という不安と疑問を読み手さんに抱かせてしまう危険性もあるとは思います。ですが、この作品を書かれた作者さんなら、多少息子さんをおいてけぼりにしても、暗くてネガティブな印象にはならないと思ったので。 ・・・・まあ、息子さんはちょっとかわいそうですけども。 なにはともあれ、ほのぼの親ばか話、楽しませていただきました。どうぞお幸せに。
あお 12/3 17:53	・・・御健闘をお祈りします
ハイパー・ワイハー 12/4 13:40	女の子しか生まれなかったら、「息子とキャッチボールがしたい」となる気がしますね？ないものねだりなのか！？
イッパイアッテナ 12/4 17:11	父母男男男男男男男女 素晴らしい家族構成(汗 兄による壮絶な妹の奪い合いが起きないことを祈ります。
ながちゃん 12/4 18:9	お幸せな親ばか妄想、ごちそうさまでした。 生命倫理だの何のと難しい理屈をこね回さず、どこの夫婦でも通り抜ける’あるある’な感じの出来事に限定していて、読みやすくてほんわかした気持ちにさせて頂きました。 女の子が産まれたとしたら、男親は娘が嫁ぐ日が来ることを覚悟しなければ…まあそれも幸せな妄想ですね。
316L見習 12/4 23:49	読んでとてもいい気分になれました。ありがとうございます。 私の両親もこのように考え、男の子を願ったり女の子を願ったりしたと聴いています。子供が生まれる前に楽しみにして男女両方の名前を考えていたそうです。
インギリー 12/5 10:52	男の子が生まれると「次は女の子がほしい」と思い 女の子が生まれると「次は男の子がほしい」と思う。 親って、そうなんでしょう。 幸いなことに私の子どもは女の子と男の子ですので どちらの幸せも味わっています。 でも、同性同士のきょうだいも、またいいものです。 大きくなっても一緒にお風呂に入ったり 大きくなっても一緒に寝たり 恋人のことノロけあったり 恋愛の相談したり 旦那の悪口言い合ったり 嫁の悪口言い合ったり 小姑の悪口言い合ったり 小さい時は喧嘩ばかりしてても 大人になったら良い話し相手になるもんです。 私は息子とデートしますが 夫は娘とデートしません。 （もちろん小さい頃は、娘はお父さんと出かけたりお風呂に入ったり、べったりでした） 息子は高校生になっても父親とお風呂に入ってるし 男の子の方が優しいのかな。 うちの息子が特別なのかな。

	きっと反抗期が来ると思いますが その日まで、幸せを味わいます。
スマイリー 12/6 14:2	少子化の時代に９人まで子どもを望むのはすごいことですね。ただ、産むのは女性。そのご苦労も分かち合いたいですね。
Begonian 12/6 17:0	最後の一文だけが、なんだかなぁ。 これだけ親ばかぶちまけといて、「ようだ」で締めるのはどうなんでしょ。
イシルドゥア 12/9 21:24	もし将来子供が出来たとしたら絶対親ばかになるんだろうなぁと想像できてしまう僕ですから、なんかもう共感と言うか、いっそ羨ましい。 　茜さんの言うように、怒涛のように妄想が書き並べられた段落が一つあるとなんというか迫力が出たかも。テンション高くずだだーっと書きまくって、こほんと無理やり落ち着く感じ。本当に親ばか万歳って雰囲気が強調されそうな気がします。 　でも、これでも十分。とりあえず、親馬鹿万歳！

ＴＯＰへ

男のプライド

合計ポイント：10 Point
作者：コーサク
作者コメントはありません。

ずっと昔から、女は家に留まって家庭を守り、男が外へ食糧を調達するというスタイルが確立されてきた。その男の出先で形成されたのが社会であり、社会は男によってのみ形成されてきた。

しかし今では時代は変わり、女が家に留まり続けて家庭を守らなければならないような危険な世の中ではなくなった。家にこもる必要が無くなった女は社会進出を始めた。これが現在の社会の状態である。

男によってつくられた社会は、当然男にとって都合のいい状態にある。女が社会進出を試みてまだ間もない。この状態を改善していくには時間と労力がかかるのは必至である。

だがこの短い間に、女は社会にとってのその地位を着実に確立していっている。

その一因として、これまで書いたことへの一つの疑問がある。それは家庭は社会ではないのかということである。家庭は社会の一員である男が必ず帰る場所である。その家庭の中では女が実権を握る（そこまでいかないまでも家庭という場を掌握する術を知っているのは女である）。女は男をコントロールする術を潜在的に知っているのかもしれない。家庭という社会の中で男という生態を理解してきた女は、実社会に出て男をコントロールすることなど容易いのかもしれない、現段階では単なる数的不利な状況にあるというだけで。

女の社会進出は確実に達成されていっている。いつか社会は女のものになるかもしれない。しかしそれでも男はどっしり構えていよう。たとえそれが女の手のひらであっても。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
ken 11/26 14:18	作者は「男はこうあるべき」という哲学を持っているのでしょうね。それをプライドと表現している。ちょっと違和感があります。女性の社会進出というより、「男はこうあるべき」という価値観が崩れているのでしょう。しかし、個人的には作者が「情勢の社会進出」と言っている傾向、賛成です。
Bloomoon 11/26 15:4	最後の一文は、「男がどっしり構えている所が、たとえ女性の手のひらの中であっても」ということでしょうか。 男らしい文章が、かっこいいと思いました。 これで作者さんが女性だったらどうしよう・・・

ピチョット 11/26 15:31	社会が男のも女のものと決め付ける必要があるのかなと思いました。どちらも必要でそのバランスの問題ではないでしょうか。確かに女性の社会進出がめまぐるしいといわれますが、家庭を形成しない女性がふえてきているのも現実。「家庭という社会の中で男という生態を理解してきた女は、実社会に出て男をコントロールすることなど容易いのかもしれない」というところは少し無理やり感をかんじました。
わがし 11/26 15:50	そうですねえ、「女の手のひらであっても」と言えてしまうあたりがすでに、男性優位な余裕さえ感じてしまう、というのはきっと、やっかみです・・・はい、すみません・・・。男女問わず、住み心地のいい社会を作りましょう！
貧保 耐三 11/26 19:41	男性に肉体力を与えるかわりに、女性には精神力が与えられたという話をきいたことがあります。うまく社会の中で分担することができるとよいですよね。
茜 11/26 20:50	・・・・・あのあの、世の男性としてはそれでよろしいので？ わがしさんの言うように、「男性優位な余裕」なのかもしれないのですが、どうにも根拠のない余裕というか、もしかしていっそ白旗あげちゃってるかのような・・・・・ 前半ほとんど、女性の社会進出の話をしながら、最後の２行だけで「男はどっしり構える」って言っちゃっているので、そこに対する根拠みたいなものがないんですよね。 だから、「え？いいの？女のものになっても？」って感じがしてしまったんです。 女性が社会に出てきて、社会で地位を獲得してきたというのなら、男の人は、変わりゆく社会でどんな地位を獲得していくのでしょうか？ そういった部分を議論したりしながら、「それでも男は」と結論に結ぶのであれば、「なるほど、それが男というものなのか」と、納得できたのではないでしょうか？
大黒様 11/27 1:38	男は女から女から生まれてきたのだから、いつまでも男は女には頭が上がらないなぁと思わされた。
みつきんぐ 11/27 13:40	後半ちょっと無理矢理感が・・・ 男も女もそれぞれ尊重しあって社会を作っていければいいと思います。 また、家庭も男と女で作っていくものですよね！
kirie 11/27 21:32	男性、女性というより、一人一人適正な役割がありますよね。まあ何にせよ、お互い仲良くやりましょうよということでひとつ。
インギリー 11/27 22:51	この方、女性の役割を一つ書き忘れていますね。 「子どもを生む」ということです。 女性には、不妊症の人を除いて、子どもを生む機会が与えられています。 今は、避妊が可能になり、生むか生まないかを選べる時代になりました。だから仕事を持つ女性が増えたのですね。 男性は、妊娠のとき一瞬関わるだけから、男性が書いた文章には出産のことはなかなか出てこないのかもしれません。 妊娠してから、悪阻と闘い、10ヶ月かけて自分の体の中で一つの命を育むのは女性。 出産は、命がけです。女は自分の命と引き換えにしてでも、我が子をこの世に産み出すのです。だから、たとえ家庭にとどまっても女性は威張っていられるのです。 スウェーデンの国会議員は半分女性です。それでも出生率は上がっています。小学校時代から、男女関係なく一人で生きていくための術を勉強します。
茜 11/27 23:2	＞インギリーさん 余計なことかもしれないのですが、ちょっとだけ、引っかかってしまったので。 インギリーさんのおっしゃること、とても大事な女性の役割の一つだと思います。あたしを生んでくれた母を含めて、世界のたくさんのお母さんたちを尊敬する気持ち、忘れてはならないと思います。 でも、この話をあまり強く持ち出しすぎてしまうと、いろんな事情で子供が産めない人に対して、ちょっと、配慮に欠けてしまうかな、と思ったのです。 男でも女でも、子供が埋めても産めなくても、ひとりの人間として、胸を張って生きる権利はあるはずです。子供を埋めるから、威張っていてもいいとか、そういう問題じゃないと思うんです。 まだ子供のあたしが、こんなこと言うのも、変なんですけれど。

インギリー 11/27 23:18	茜さん 私の書きかたが悪かったですね。 「子どもを生めるから威張る」のではなくて 「子どもを生んだことに対して、もう少し自分を主張しても良いのでは」と思ったのです。 子どもを生めないことに関しては、私も2人目がなかなかできなくて、まわりから随分言われたので、よくわかります。 流産の経験もあるので、子どもを亡くした人の気持ちもわかります。
わがし 11/27 23:30	＞インギリーさん、 おっしゃりたいことよくわかります。 茜さんのもよくわかる。 故に、この議論はここまでにしてほしい。 いろんな意味で、胸が痛みますから。
茜 11/27 23:32	＞インギリーさん 失礼しました。あたしなんかよりずっとよくご存じだったんですね。 つらい話をさせてしまって、ごめんなさい。 「子供を産む」ってことも、社会の大事な役割の一つとして、ちゃんと認識されていいはずのことだと、あたしも思います。 あたしもできるなら、いつかそういう役割を担いたいです。
茜 11/27 23:33	＞わがしさん ごめんなさい、時間差で書き込んじゃいました。 なんか、謝ってばかりですが。 ここまでにしますね。この作品とも、ちょっと離れた話ですし。
ほろほろ 11/29 11:2	ジェンダーの問題は いろんな立場や状況が入り乱れた複雑なものですが、 その複雑さをシンプルに捉えて書いていただいたように思います。 そのおかげで明快な文章になってはいますが、 いくつかの立場を切り落としてしまっているわけですから、 「そんな単純なものではないだろう」 という批判が出てしまう。 う～ん、難しいところですね。
hanson 11/29 20:44	内容は議論を呼びそうなテーマですね。 文章に関してですが、別に数えた訳ですけど、文字数に余裕がある印象なので、具体的な話を入れたほうがよかったのではないかと思いました。 序盤、社会を今と昔との対比で作者の解釈を示しています。ただ、社会という対象も、今と昔という切り口も非常に抽象的であり、そこに疑わしさを感じてしまったため、その後の展開が無意味なように感じてしまいました。
ながちゃん 11/30 22:22	中学時代に無理矢理読まされ、レポート提出を強要された某新聞の社説を思い出してしまいました。男の私さえ、何か古くさいステロタイプの文章にしか読みとれないのですが… 果たして『昔は男性社会→今は女性が社会進出して云々、は本当に正しいのでしょうか？』 卑弥呼の国は？東日本の縄文文化では？ 明らかに身分が固定された江戸時代においても、士農工商のあいだでは？女性の社会進出の光りと影…とか、時代を追って、ご自分成りに考証した上で論陣を展開なさった方が、作品としては２ランクは上がったと考えます。 男としての確固たるスタンスをお持ちなのが行間から読みとれるのに、誠にもって残念です。
ながちゃん 11/30 23:4	論陣は展開するではなく張るの誤りでした。 あああ下手こいたあ（苦笑）

sum1 12/1 17:45	うーん・・・、よく分からなくなってしまったのですが、 なぜ女が家庭において男をコントロールしていたということが、女性の社会進出につながるのでしょうか？ 伝統的な社会においては、 女が「家庭」の実権を握り、男をコントロールする術を身に付けていたというのであれば、男は「社会」の実権を握り、他の男（と少数の女）をコントロールしてきたことになりますよね？ （「社会」というものが混沌としていて、誰が誰をコントロールすることもない 状況を想定しているのであれば話は別ですが・・・） 著者の社会観（特に「家庭」と「社会」の違いについて）が聞きたいです。
イッパイアッテナ 12/2 17:2	なんか、いろいろ書きたいことがあってうまくまとまらなかったんですけど、まぁ、簡単にまとめると、 男としてのスタンスは提示できているけど、そこにプライドってものが見えなかった。 に集約される気がします。 スタンスはしっかりしていたけれど、そこに男の誇りが見えなかった。だから、議論がふわふわと浮いているように見えた。そんな気がします。
めふめと２世 12/4 20:31	家庭が社会に内包されているのでは？という気付きはなるほど！と思いました。皆さんがおっしゃってるように、社会という言葉の範囲があいまいになってしまったのが残念ですね。「ずっと昔から」という始まりが良くなかったのではないでしょうか。社会と言う言葉を最近の「企業社会」ぐらいなものとして理解した方が、はっきりしてくるのかな。 >>sum1さん おっしゃるように、社会のある一部を握ってる点で、男と女は対等ですよね。「家庭」とそれ以外の「社会」の違いというと、家庭は両者が一緒にいるのに対し、それ以外の社会では男が女を排除（いい言葉が浮かびませんでした）してきたというとこなのでしょうか。
bagi 12/4 21:22	話は分かるんですが、なぜ男のプライドというテーマにしたのかよく分かりませんでした。
スマイリー 12/6 14:23	「世界を動かすのは男だ。男を動かすのは女だ。したがって世界を動かすのは女だ。」という３段論法があります。男は所詮女の手のひらの上で生きているのかもしれませんね。
sum1 12/6 22:1	>>めふめと２世さん 私も社会として「企業社会」をイメージしていましたが、家庭は「男は女の手のひらの上」という状況だと思い込んでいたので、「家庭は両者が一緒にいる」という見方には正直はっとさせられました。 家庭が男女で成立するのと同じように、社会も男女がそれぞれ存在しないと成立し得ないのだから、男はたとえ女に実権を奪われたとしても、社会のためにあえて甘んじようではないか、というのが著者のいう「男のプライド」なのでしょうか。
３匹ヤギの 12/10 1:22	短くまとまっていて良い感じだと思います。
Julio 12/10 3:16	家庭を社会と考えたのは、面白いと思いますし、内容も良かったです。ただ、逆に男が主夫として家庭という社会の実権を握ったとしても、変わらず男は女の手のひらのような気がします・・・。
suburbanian 12/10 3:57	女性の方に言いたい、 最後の文章は決して男の嘆きではないということ。 そんな状態がいいという男もいるということ。 という文章を前に読みました。
橘 12/15 17:16	ハッキリ言ってしまうと、女性は強いです。 というか、大人ですよね(・・*) 同年代の子と話していても、やっぱり女性の方がしっかりした考えを持っていて、 男の方が考えが幼いように感じるのは自分だけでしょうか？^ ^; といっても、まだ２０年しか生きていない自分では、そんなことは判断できないのですが…

ＴＯＰへ

私は爆弾？

合計ポイント：10 Point
作者：活
作者コメントを読む

「わたし、どうして彼氏ができないのかしら。」
「君はでっかい爆弾だからね。」
「・・？？、でっかい爆弾？？」

仲の良い女の子から、恋愛の相談を受けた。
彼女は穏やかで明るく、同姓の仲間は多い。容姿は華がある方ではないけれど色白で整っている。あまり色気は無いが、ふと見た横顔はかわいらしい。彼女を好む男は多いのに、親しみがありすぎて踏み込むことができない。彼女も「かわいいね」と言われ慣れている。なかなかスイッチが入らないという。

「起爆すれば、必ずみんな吹っ飛ばすよ。」
「そうかしら・・・？！」

ほどなく彼女は友人に紹介された年上の男性を吹っ飛ばし、寿退社をキメた。

○「でっかい爆弾」＝なかなか起爆しないけれど爆発したらみんな吹っ飛ばす。

++++++++++++++++++++++++++++
「また別れちゃった、どうしてあたし、長く続かないのかしら・・・」
「君がピストルみたいだからじゃない？」
「どういう意味よ！」

彼女からこの相談を受けたのは何回目だろうか。結婚願望があり、出会いを求める場にはマメに顔を出す。普段から明るく楽しそうだ。流行の店に詳しく、鮮やかな新しい服装は職場でも目をひく。彼氏ができた！と嬉しそうな報告を受ける。しかし、いつも後一歩のところで別れてしまい、また新しい出会いを求め始める。

○「ピストルみたい」＝容易に発射できるが、急所に命中しないと殺傷力が弱い。連発できる。運搬が容易。

++++++++++++++++++++++++++++
こういう話は男同士で盛り上がるものだ。「そういえばあいつはマグナムだ。」　「俺はナイフみたいな女がいい。」　「同期のA子、あいつは核兵器だね。」　「太郎はいつも火縄銃にやられてる。」

○マグナム＝破壊力、機動性にとむが重くて、持っていると目立つ。結構重い。反作用が大きい。
○ナイフ＝姿かたちが美しく、いかにも鋭利で、怪我をしやすい。持ち歩いたりアクセサリーにする人も多い。
○核兵器＝あまりにもすごいエネルギーを持っていることが明らかなので、誰も起爆させようとしない。
○火縄銃＝　・・・　ご想像ください　・・・

そのほかにも
〇棍棒＝重くて使うにはかなりの体力がいる。やられると頭がへしゃげるほどダメージが大きい。
〇手榴弾＝早く投げないと自分が吹っ飛ぶ。しばしば不発がある。
などなど

++++++++++++++++++++++++++++
よくしゃべる割に近しい同性の友達が少なく、彼氏がいるような気配はないが、おタカクとまっていて出会いを求めるそぶりは見せない。容姿も整っていて男好きのするプロポーションなのだが、機嫌を損ねると攻撃的で心が休まらない。

そんなB子は、評して「大量破壊兵器」

そのココロは・・・・・
いかにも危なそうだけど、ホントに存在するかどうか疑わしい。捜しに行くと面倒なことになる。

作品印刷　　コメント印刷
作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
わがし 11/26 15:19	「同姓の仲間は多い」→「同性の仲間」ですよね。山田さんだらけ、みたいな？？ うまくまとまっているのではと思います。 さて私は何だろう、としばし考えます。っていうか、男の人はみんな、こうやって女を種類分けしてるってこと！？　お勉強になる・・・。
みつきんぐ 11/27 13:43	例え方が上手いと思いました。 まとめ方も上手い・・・ 男の人って、こういう話してるんですか？ 種類分けの対象にすらなっていなかったら悲しいと思ってしまいました。
ピチョット 11/28 12:5	なるほどぉという内容でなぞかけみたいで面白かったです。自分は・・・？
Begonian 11/28 18:22	う～ん、ちょっと破壊力が足りないかも。 第三節での駆け足は、確かにこの手の作品にはもってこいです。 ですが、この駆け足がヒットするにはそれより前に読者のテンションが一定以上必要で、その点前の二節ではちょっと威力が不足してるかなと思います。
ほろほろ 11/29 2:54	女性タトエ、 僕はやりませんけど、しばしば男性のみの集まりで聞きますね。 僕はやりませんけど、光源氏もやってましたよね。 僕はやりませんけど。……って、言い訳がましいわい。 僕を含めた男子諸君は、 えてしてこういう話を世に出すことは憚られるのですが、 この作品は堂々とそれをやってのけているのが偉いですよね。 ついつい「火縄銃って・・・・・・・？」って考えちゃいますもんね。
輝 11/30 12:45	へえええええ、と思いました。 わたし、異性をこういう（楽しい♪）カテゴリー分けしてみた記憶、ありません。 面白いですねえ、このクリエイティブなセンスに（実話？）一票。 ただ、女カタログ的おもしろみのみで、以降の展開がなかったのは残念です。 前説だけで終わってしまった感もあり・・。

Asagi 12/1 2:16	・・・・「連発できる。運搬が容易。」が、せつない。 中盤までのリズムは良かったんですが、最後のインパクトが不足気味。綺麗ではあるんですが。 おあとがよろしいようで、じゃ、ちょっとものたりません。 ということで、最後は相談役さんが落とされるに一票。 「でっかい爆弾」が好きだったので、ラストで相談役さんに爆発させちゃいましょう。
茜 12/2 1:36	じゃあ、あたしはなんなんだろ？ なんかこう、質問をＹｅｓ・Ｎｏでたどっていくと、それぞれのパターンにたどり着くみたいな奴、作ってくれたら面白そうです。 「男の人ってこんなことしてるんだあ」と、楽しく読ませていただきました。 でもきっと、女の人も似たようなことはやってるんですよね。そっちは、なんだか容赦なくて怖いことになりそう・・・・・ 追伸。 すごく気になったので、「あたしはなに？」って聞いてみたら、「Ｎ２地雷」だと言われました。 ・・・・・思わず納得してしまった自分が哀しい。
mu 12/2 13:57	火縄銃ってなに？ 自分はどんな？ 気になる内容です。
イッパイアッテナ 12/4 17:23	うーん、あまり捻れていない気がする。 (酒の席での馬鹿話に近い感じかな。) 別に男全員がこんな感じで、女性を見ているわけではないけど、 確実にこういう話題で盛り上がってしまう生き物だとは思う。 (しかし、武器で例えるセンスは上手い。女性って、いろいろと殺傷力高いですよね。)
316L見習 12/4 22:14	男性のみの集まりで、例え話を酒の肴にしてる感じの文章…いやあ面白いですね。 武器や兵器に例えているので、説明なしでは即座にイメージしにくいですが、こうして説明をつけていただけると分かりやすくいです。 本文とは関係ないですが、自分にとって大切な存在になればなるほど、こういったカテゴライズのできない特別な「人」になっていくのだろうと思います。
けろた 12/5 12:1	おもしろいです。というのも、「爆弾」とか「ピストル」が何を意味するか、これはそれぞれに持っているバックグランドによって正確に伝わらない方が多いと思ったからです。特に「男」と「女」が平均的に持っている「コード」の差というんでしょうか。 そういう意味で、それぞれのたとえに、きちんと解説がなされていて、わかりやすくまとまっていると感じました。 それにしても「火縄銃」、全く想像がつきません・・・。
紫雲 12/5 12:28	女を何かに例える話って普通の男はするんでしょうか
鞦韆 12/7 16:36	うーん…。火縄銃について、ご想像くださいと言われて、いまいち想像したいと思えませんでした。 茜さんの言うように、Y/N Questionを繰り返して、最終的に自分がどこに属するのかを判定してくれる分類機を作ると面白そうですね。
pooh 12/8 22:13	女性の例え方をたまたま聞きますが、この中の大半は初めてです。兵器に詳しい人じゃないと面白さが理解できなさそうですね。勉強になりました。
ロココ 12/9 15:24	異性から見られると全て見抜かれてしまうんですね。同性から同性をみても、そこまで判断できないです。
イッパイアッテナ 12/12 8:0	＞男性って、女性をこんなみかたするのですか？の回答 ようは、男性は女性しか見ていないよぉって解釈でよろしいでしょうか。 なんか、すごく適切な気がします。

ＴＯＰへ

女

　えー、あの作者さんがこの作品!?
　な、なんと前回の覇者さんが単独最下位！
　あちこちに驚きの花が咲く、うるわしの女コンテストでした。

　さて、まじょコメント、行ってみましょー。
　前回もご案内したように、ここは個々の作品を掘り下げるというより、全体をマッピングするのが目的です。
　どうぞご自身の作品の位置づけの参考に。
　それと、これも前回にご案内しましたが、みなさま「せんせーの言うことは絶対」と信じる年頃はとっくに卒業しておられますよね。まじょコメントもあくまで一つの読みに過ぎません。ゆめ絶対視することのないよう。

　世の中には男と女しかおりませぬ。
　その組合せで予想される事態とちょっと異なり、今回のマッピングは、なぜか４パターン分類に落ち着きました。

パターン１　男→女
　　男の立場から女を語ったもの。

パターン２　女→女
　　女の立場から女を語ったもの。

パターン３　女→男
　　女の立場から男を語ることで、自身の女を語ったもの

パターン４　中性→女
　　男女の性差を感じさせない立場から女を語ったもの

パターン３はちょっと亜種ですね。
メダルがパターン１・２・４の各ジャンルからそれぞれ１つずつ出たのも、この３ジャンルがそれぞれに成熟したものであることを物語っているかと思います。

では、各作品のなかみへ。

パターン１　男→女

　男性が多数派というこの場の特性からみて当然のことながら、このパターンがいちばん多くて17作品を占めました。もちろん、女性の作者さんの作品もあります。

靴

　男の子にとって最初の女性は「母」。
　くりたりくの「なんだか名前も一緒に泣いているみたいだった」を経て、「栗田になってから気づいたのだが、母さんは、驚くほどよく笑う女性だった」へ。
　ストーリー自体は、予定調和の（特に最終段落の「かわいい靴」は言わずもがなの感）おなじみの展開でしたけれど、「泣かない記録更新中だったのに」とか柿沼先生のぐりぐりしてくれる手とか、細部の描写がほんとにていねいに行き届いていて、しっかりしんみり浸ることができました。
　納得の首位ですね。おめでとう!!

異国の母たちへ

　こちらも息子から母への視線でした。
　列車に揺られてぎこちない会話が動き出すうちに、ぱっとサクラの花が咲く。
　体験談らしい飾り気のなさはよいのですが、人物描写をもっと工夫したいです。「眼鏡をかけ、着ている服はお世辞にも綺麗とはいえないが、顔立ちははっきりしていて、気品が感じられる。」ああもう、どこかのゲームかラノベに出てきそうな言い回し！
　このストーリーでは彼女が主役なのですから、こんな類型的な描写にせず、もっとしっかり個性を持たせてあげてくださいな。

　母から恋人へ。ただいま思春期まっさかり。
　まずは二次元からスタートするのがお約束（ほんとか？）

筆者は病んでいない

　がんばれ恋愛ゲーマー！　辣腕ネタ師の作者さんが敢えてネタを封印して、論理的に語ったところ、彼にしては珍しいなあとRIRI作品５年越しの愛読者である私は眺めてました（タイトルだけが彼っぽいけど）。それだけ、熱い思い入れがあるならば、やはりAsagiさんご指摘のように、もっとおもしろさをストレートパンチでかまして欲しかった。架空の反論を設定してのシャドーボクシングでは、パンチの迫力がないのです。

女の子ってムズカシイ

　ぽいっ。容赦なくこの場所に入れちゃいます。
　だってこれ、明らかにも・お・そ・お！
　理由は、作者さんのお人柄を知ってるから……じゃなくて、彼女のどこに引かれたか、彼女の魅力がなーんにも書いてないから。これでは、のろけにすらなりません。ニヤニヤしつつ彼女さんを暴走させてる作者さんのはずむ気分はしっかり伝わってきますけど。

　そして、頭でっかちな少年はマニュアルもいっしょうけんめいお勉強（ほんとか？）

恋愛トラブルシューティング#153：彼女の機嫌の直し方

　わはははは。わがしさん、やりましたね〜。夏以来のわがし作品ファンのほろさぽず一同含め、さすがにどなたも見抜けなかったでしょう。
　こんなの絶対役立たないよね、宴会の話題にする以外には、というメルマガの安っぽさ、しっかり出ていました。「両親に会って」との連続性がもっとうまく取れると、次回への期待をもっとふくらませられたか。「続きを読みたい」と思わせるのもメルマガに必要なテクニックですよね。

　頭でっかちだから、行動より前に、あれこれ考え込んじゃうのです。

　まずはじっくり品定めを３連打。かの光源氏もなした古典的な儀式。まあ、女の子たちも修学旅行の夜とかにやってますけどね。

女をえらぶ基準

「うなじ」でそそっておきながら、「別れは一瞬」に反論が集中してしまいましたね。こめられた意味は、ていねいに作り上げていっても壊れるのは一瞬、という脆さだったでしょうか。
　そのあたり「別れ」経験ありと見た！

いい女って？？

　おぃ。３条件提示して、さて、と腰を据えて本論に入るのが定石じゃないのかい！　と、それまでの積み上げ無視の最終行の投げやりさを測りかねています。
　そっか、つらつら考えているうちに、ほんとに「いい女」が現れて、そそくさと書きかけの文章を切り上げて、付いて行っちゃったんだ!?

私は爆弾？

　これは比喩が効いた個性派でしたね。爆弾遊びは楽しかったのですが、構成の悪さが気になりました。その１その２その他とあって、その３が唐突に来た印象。「大量破壊兵器」が不発だったのが大きいです。

　そしてそして好奇心の対象は、まっしぐらに「性」に向かいます。勇気を出してくぐってみようナワノレン（違

AVを借りに行ったときのことである

　ちょっとした小ワザで引き込み、
　　「恥じらいを、表現しなければならない」　これは政治的な戦いなのだ。
　と進軍ラッパを鳴らして、と、そこまでは快調なのですが、「女教師」で落とした考えオチがよく分かりませんでした。それもまた「受け」の立場で作られているから？？
　どうもこの作者さんは、御自身の文章について、まるで推理小説の犯人明かしのように一義的な解釈を求めておられるようで、レベルの高さは認めつつも、そこがちょっと気になりました。「最後の一文はキーです」とまで宣言されてしまうと、ちょっと反発したくなったりします。キーは読み手によって、多様でありうるし（私にとっては「政治的戦い」がキーでした）、そうした包容力が文章の懐の深さにつながるのではないの？
　と。

サドルになりたい

　タイトルとのミスマッチが議論の対象になってましたが、そこが実は狙いかな、と読みました。
　男って、マジメに考察してるように見えて、こーんな単純にして〇〇〇（←自主規制）なことを頭の半分では、いっつも考えてるんだよー、と。

　いやいや踏みとどまって、健全男女交際、行きましょう。

　＃＃＃　品切れです。＃＃＃

　おやまあ、ないんですか。
　ということで、二次元とAVでお勉強したあとは、いきなり家族もの３連打と参ります。

まだ見ぬ娘

　若いういういしい家庭の、親ばか妄想を衒いもなく披露したところが好感を呼びましたね。
　結婚式スピーチなんかに似合いそうだけれど、あまりに無色没個性な夢なので、この「親ばか妄想」自体が作者さんの妄想なのかもなあ、と少し勘繰ってしまいました。

　お待たせ、生まれたよ。

我が家の天使

　これは、うまかった！　言葉の省略のワザが、ありありと光景を見せてくれて、「ウサコちゃん。一緒。」のひとことで、でっかなミッフィーがぽわんと浮かんで、もう作者さんの術中です。
　ただ、前作と同じく飛びすぎで、読者さんを置いてきぼりにした感。「かつての天使」だけで、じゅうぶん効くので、「死神」や「閻魔大王」はやりすぎだったきらいが。

　夢見た通りになんかいかないものさ。

息子へ

　これも、うまかった！　さびしすぎるよお父さん。イビキに寿司屋、フリーペーパー。道具立てがここまで典型的だと、あからさまにフィクションっぽいですよね。どうなんでしょう。

　こうして人生の甘いも酸いも（←順番に注意）体験したあと、人は定年に、もとい諦念に立ち至るものであります。以下、一般的な「女」論を、ラストは四連打で。

Lessons Learned

　Lesson 4 「ないと生きていけない」のくだりに人間観察が光ってましたが、あとはわりあいよく聞く話ですよね。
　そこをもうひとひねり、Lesson化してほしかった。

現代「魔女」物語

　「物語」じゃないし（シリーズもの？）。100万人コード違反だし。
　魔女を拠点にジェンダー・ニュートラルのいかさま性を撃つ！　という勇ましい仕掛けにしていただければ、不肖「まじょ」としても拍手喝采できたのですが、その気配だけで弾けずに終わってしまった感。

注：初耳のかたへ。100万人コードとは、100万人くらいはその話題を理解できる人がいると前提して書いてくださいね、という楽屋落ち回避のために定められたコードです。

男のプライド

　おぉ、暴論だ。女の社会進出が早いのはなぜか？　じつは家庭＝社会なのだ。だから、女にとって家庭も社会もやすやすとコントロール可能なのさ、という組み立てですね。
　暴論なのですから、もっと堂々と行ったほうが潔いでしょう。
　「その一因として、これまで書いたことへの一つの疑問がある」。――この１フレーズのぎこちなさから推して、作者さんはこうした文章に不慣れな感がするのですが、たとえばここを「なぜだろう。それは社会というものの定義を我々が間違えていたからなのではないか」くらいに開くと、もっとすっと論旨が流れると思います。
　その上で、男と女のどちらを味方にするか（どちらもは不可能）、ターゲットをきっちり定めて暴論を撃つと、どちらかの陣営が拍手喝采してくれるはず。

女のカンと男のサガ

　いやもう、ラストの「どうもありがとうございました」がインパクトのすべてですね。落語という声が出ていましたが、むしろ漫才のノリか。
　何なんでしょう、この「たくまざるユーモア」としか表現しようのないおかしみは？

使ってみよう！

男→女パートはこれにて終了です。
結論、男は女が好きなだけ。
どうもありがとうございました。

パターン２　女→女

興味しんしん、女たち自身の語る女とは？　10作品エントリーでした。

まずは、きちんと自分の内部を見据えて。

女のチカラ

自分の今の位置を、言葉にすることでしっかり踏みしめてゆくような共感を誘う語りでした。
「ふとしたときに母の行動を思い返すと、涙が溢れてくる」――その「ふとしたとき」を具体的に２－３行でも見せていただくと、もっと共感度が高まったかなと思いますが、読み終えて、たぶん誰でも作者さんを応援したくなるのは、作者さんのお人柄に備わった「チカラ」ですよね。ぜひ、たいせつにされてください。

素敵な人

同じように自分史を振り返る観点から。
「緒方貞子さんに偶然会った！」興奮をじつはもっと書きたかったのでは？　男だ女だの、みなさまもう聞き飽きた地平から離陸して、その人物の大きさに少し翼を伸ばせば、もっと魅力的なメッセージになったと思います。
いっそ緒方貞子さんを最初に登場させちゃって、それを契機に自分史へ戻ってゆくという組み立てにしたら、「素敵な人」イメージがふわっと咲いてくれたのでは。

女性にとって母の発言力の大きさを痛感させる２作を経て、こんどは友人の存在へ。

かしましツアー

いいですね。旅行の話というと、これでもかと珍しいもの展示に走って聞き手を辟易させることが多いのですが、ここは３人の〈関係〉を描くのが目的だから、と見極め、「四国」「香港」と記号だけの提示に終わっている抑制ぶりが好感を誘います。
それにしても「姦しい」、漢字で書くとネガティブな印象なのに、ひらがなで「かしましツアー」とすると、すっと入れるのが不思議。

母・友人。親しい人たちから学ぶのと同じように、ああはなりたくないな、とイヤな女たちからも学びます。

雨ニモマケズ

完成度高かったです。
これはもう女を揶揄したというより、人間の愚かしさそのものを揶揄してますね。
人ガシアワセノトキハクヤシガリ
　　不幸ノトキハコッソリワライ
すべての人にあてはまりそう。だからこその「あたしはなるまい」。日々の精進、しっかり気持ちが伝わってきました。
「ワタクシ」を内側に秘めた結果が表彰台ですよ作者さん、おめでとう!!

文学モノをもう一つ。

漢字から読み解く「女」

　ていねいに調査して珍しい話題を提供した姿勢はよいけれど、たくさんある女ゆかりの文字から４つを選んで提示するには、「面白いと思った」という理由だけでは不足かなと思います。昔と今で、変わったもの、変わらぬもの。それらを腑分けして組み立ててゆけば、いい論説が仕上がってゆく。そのメモ段階かなと読みました。
　あと「目線」はまだまだ口語なので、この文体の中なら「視線」のほうが収まりがよいのでは。

　来し方を振り返りつつ、エッセイ風に語ったものの次は、ストーリー仕立てを４作品まいりましょう。

Yの悲劇

　お、クィーンかっと思わせて。
　キッチンは女の戦場（いくさば）。暴走妹のそれっぽさが恰好の舞台を得て弾けます。
　もし、Begonianさんのコメントの「山田ぁーー！！ /　あれ、でも「Yの悲劇」って犯人が自分の仕掛けた毒で死ぬ話だった気が……　/　佳代ぉーーー！！！」という結末までタイトルで暗示してるとしたら、なかなかに周到な仕掛けですが、さて。

ないしょね　マミイ

　病気をきっかけに、頭の中にも心の中にも「ばくだん」を抱えてしまったというシリアスな状況なのに、娘（たぶん）の「わたし」が「母（←マミイとあるべき？）の「女」の部分を見られて、とっても嬉しかった」と、にこにこ喜んでいるだけというのが、だいじょうぶかおい、と読み手をかえって不安にさせます。
　母への肯定的な思いを描くことが主題であったのなら、もう少しおだやかな設定にしておいたほうが良かったのでは。

Women Only

　実話宣言が途中で出てしまいましたが、「春さん」視点から見えるのは忘れ物をして、その忘れ物が部分的にしか返ってこなかった、という事実だけですよね。「ブランドバック」の持ち主さんが犯人かどうかも分からないわけで。さらに言えば、犯人が女性かどうかも確定ではないわけで。
　途中で宣言するくらいなら、最初からここは実話、ここは自分の想像、ときれいに分離してエッセイとして語ったほうが執筆意図が明確に読み手に伝わったかなと思います。

あのね崩壊序曲

　群像劇。とても上手に流れが作られているので、うんあるあると納得しながらはまって、人間喜劇の一面を軽やかに見せていただいてありがとうと席を立とうとしたら、なにこのよけいな「注」は？　と。
　最初私も「注は蛇足だっ」と思った派ですが、これだけの手練れの作者さんがこんなところで考えなしの注を付けるはずはなし、「注は敢えての逆説」というひぃさんピチョットさんの洞察に一票。
　それにしてもあのねというネーミングと表記に斜体を選ばれた（人に寄り掛からないと生きていけない感）センスに脱帽！

　ラストに怪作を。

田舎のバス待ちの女達

　わはははは。まあ堂々と言ってくださってるじゃないですか。民俗学の世界ですね。もっと過激でも、たぶんだいじょうぶですよ。この船の乗客・乗員は、みんな18歳以上ですから。

　で、この女が女を語るパート全10作品のうち、男性作者の執筆になる作品は２作品だったもようです。さて、どれとどれ？　作者コメントを眺めつつ想像してみてくださいませ。

パターン３　女→男

　ちょっとひねくれます。女の立場から男を語ることで、自身の女を語ろうという意図の作品たちを４つほど。
　何だか無茶な設定のものばかりですが、もともとがひねくれ発想ですから、ご容赦を。

パートくのいち・静香奮闘記！！

　まずは忍者ではっちゃけて、と。
　おばさま忍者に弱点２つ。かわいい息子のまーくんと、Mの男に弱いこと。
　心配なのは、まーくんの将来ですね。このままだと、「この仕事やらないと、ママにしかられるんで…す」の道、まっしぐらですよ。

告白

　こちらも住居侵入のムチャ設定。
　女王さま強し。
　ラスト１行が「好きです。付き合ってください」に古典的に着地するのでなく、「べ、別に・・・」と頬染めて言い出すと、また大騒ぎになって、より楽しかったかも!?

裏切りの果てに

　これって小学生だよね〜、という茜さんのご指摘に一票。
　まあ長い人生、ごゆっくりどうぞ。

　ラストは、ムチャでない作品を。

引力

　「引力」という比喩がとても良く効いているなあと読みました。ふだんは意識しないけれど、しっかり自分に働いている力。遙かな高みから自分を呼ぶ力。まさに「舞台上の彼」ですね。
　振り回されたりしませんように。

パターン４　中性→女

　さあ最終コーナーは10作品。
　男女どちらともつかない視点から投げられたメッセージは、どうやらまだまだメッセージ未満、受取手に届きにくいことも多いようで。

ブルーな空

　「青空」ではないのですよね。ブルーな空。アンニュイ？
　街角での一瞬の思い。光景はくっきり切り取られているだけに、「人間らしい」という、それ自体では何も説明していることにならない安直な言葉に逃げ込まずに、もっと掘り下げてほしかったです。

空白の女

　これもコラム未満のひとりごと、といった趣です。
　「人間らしい」という便利すぎる用語が、「ディスクール」という、やっぱりそれ自体では何も説明していない安直な学術用語に替わっただけの感。

　手を伸ばすと砕け散るもどかしさは、イッパイアッテナさんご指摘のように、生とは死とは、命とは、とあらゆる大きな問いに共通の特徴ではないでしょうか。

努力に果てに

　タイトルの謎？　重要な意味を持ちそうにないので、やはりミスでしょうかね。他にも推敲不足のところがあちこち目に付きますし。
　で、人間、努力したら負けだとでも？　いや、敢えてぐだぐだな思考をぶちまけることで、こんなぐだぐだな思考は、彼女にばしばし反論してほしいなあと、書き手自身が心ひそかに待っているような。

サザエさん

　こちらはコラムというより論説未満のひとりごと、でしょうか。
　「ふと思う」「気がする」とおぼつかなげに結んでいる語尾が内容に裏打ちされた堂々たる言明に変わってゆくと、論説の形ができてゆきそうです。

ー内なるあなたとー

　猫かな～赤ちゃんかな～。
　漢字1文字であらわすなら「母」というような、おだやかなぬくもりが象られてはいるのですが、これは何？　が気になるのが読者の性（さが）ですよね。もう少し見せてほしかった。

妹よ

　姉かな～兄かな～。これも議論が割れましたね。それが作品の読みを深めるなら、ぼかす手もありですが、この場合は、性別がくっきりしてたほうが「妹への思い」というテーマがより浮き出ると思うので、作者さんの書き落としか？
　うーん、東工大生って、性別を特に書かなければ男と思ってくれるだろうという思い込みがあるからなあ。
　家族は知らない妹さんの別の顔。ちょっと広がった世界を「カーキ色のパンツ」に象徴させて、と組み立ては良かったので、あとは細部の仕上げに手をかけたい。

　男と女の二分法。ちょっと待て！　こういうかたがたもいらっしゃることをお忘れなく、と提起した作品を３つ。

ベストフレンドの「パートナー」

　先入観はいけないよ。いちばん主張がくっきりしていましたね。
　たいせつなクリスの思い出、キャンドルライトに照らされて実感こもって読めました。

メビウスの輪

　あーあ、というショートショート。
　人は強く願うものほど手に入れられない。新宿二丁目から人生の悲哀のひとこまをお届けしました。ツッコミを入れる間もなく去る、そのスピード感が痛快です。

差出人は言えない。かもしれない。

　これは仄めかしで終わってますが。
　新・罰ゲームが流行して、今年の忘年会で犠牲者さんが出ませんように。

　さいご、おだやかに終わりましょう。

アルカイック・スマイル

　縦書きで、しっとりと読みたい文章。旅ごころを誘われます。
　ご自身の体験がしっかり踏まえられての語りなのと、にもかかわらず、こうするといいよ、というような年長者にありがちの教訓を一切まとわず、ひたすら真向かいの仏様に小さな自分をさらけ出してゆくような文体なので、こうも心に響くのでしょうね。
　典雅、という言葉を、この作品の前に差し出したいと思います。ありがとう。